

**魚沼市 福祉に関するアンケート調査
報告書**

令和2年3月

魚 沼 市

目次

調査概要.....	1
調査結果.....	2
■ 調査対象者本人について.....	2
問 1 調査票の回答者.....	2
問 2 年齢.....	3
問 3 性別.....	4
問 4 住んでいる地区.....	5
問 5 同居者.....	5
■ 介助について.....	6
問 6 日常生活での介助の必要性.....	6
問 7 主な介助者.....	11
問 8 主な介助者について.....	12
■ 障害の状況について.....	13
問 9 障害者に関する手帳.....	13
問 10 主たる障害.....	14
問 11 指定難病受給者証.....	14
問 12 発達障害.....	15
問 13 高次脳機能障害.....	15
問 14 医療ケア.....	16
■ 住まいや暮らしについて.....	17
問 15 現在の暮らし.....	17
問 16 将来、地域で生活したいか.....	18
問 17 地域生活のための支援.....	18
問 18 主な収入.....	19

■ 日中活動や就労について.....	20
問 19 外出の頻度.....	20
問 20 外出時の同伴者.....	21
問 21 外出の目的.....	22
問 22 外出時に困ること.....	23
問 23 日中の過ごし方.....	24
問 24 勤務形態.....	25
問 25 就労希望.....	26
問 26 職業訓練.....	27
問 27 就労支援について.....	28
■ 障害福祉サービス等の利用について.....	29
問 28 障害支援区分.....	29
問 29 介護保険サービスの利用.....	30
問 30 要介護度.....	31
問 31 サービスの利用状況と利用意向.....	32
■ 相談相手について.....	65
問 32 相談相手.....	65
問 33 福祉サービスなどに関する情報.....	66
■ 権利擁護について.....	66
問 34 障害による差別.....	66
問 35 差別された場.....	67
問 36 成年後見制度の認知度.....	68
問 37 成年後見制度の利用について.....	69
問 38 障害に対する周囲の理解.....	70
問 39 理解が進んでいないと思う理由.....	71
■ 災害時の避難等について.....	71
問 40 一人で避難できるか.....	71
問 41 助けてくれる人の有無.....	72
問 42 災害時に困ること.....	73
問 43 災害時避難行動要支援者名簿.....	75

■ 趣味や余暇の過ごし方.....	76
問 44 趣味や文化・スポーツ活動.....	76
問 45 やってみたいと思うこと.....	77
問 46 できない理由.....	78
■ 自由意見.....	79
■ 調査結果のまとめ.....	81

調査概要

【調査目的】

本調査は、令和3年度を初年度とする魚沼市障害者計画・第6期魚沼市障害福祉計画・第2期魚沼市障害児福祉計画の策定に向け、障害がある方の障害福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるための基礎資料として実施しました。

【調査内容】

- 調査月：令和2年（2020年）2月
- 調査基準日：令和2年（2020年）2月1日現在
- 調査対象者：身体障害者手帳をお持ちの方
療育手帳をお持ちの方
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
障害福祉サービス・障害児福祉サービスを利用されている方
精神障害にかかる医療費助成制度を利用されている方
指定難病、発達障害等により特別な支援、援助を必要とされる方
- 配布・回収方法：郵送による配布・回収

【有効回答数】

配布部数：1,000部
回収部数：606部
有効回答数：603部
回収率：60.6%

【報告書の見方】

- ①報告書中の「n」の数値は、設問への回答者数を表します。
- ②回答の比率は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって、回答者比率の合計が100%にならない場合があります。
- ③回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答（「あてはまるものすべて」等）の設問については、全ての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ④クロス集計の算出は、無回答を除いている場合は、単純集計と数値・%値が一致しない場合があります。
- ⑤設問により平成29年に実施した前回調査結果を比較したグラフを参考に表記しています。

※クロスグラフの回答数（n）が少数の場合は、その傾向に注意が必要です。

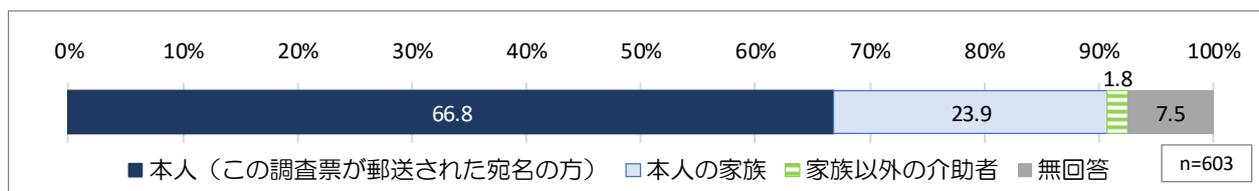
調査結果

■ 調査対象者本人について

問 1 調査票の回答者

お答えいただくのは、どなたですか

「本人」が66.8%となっています。

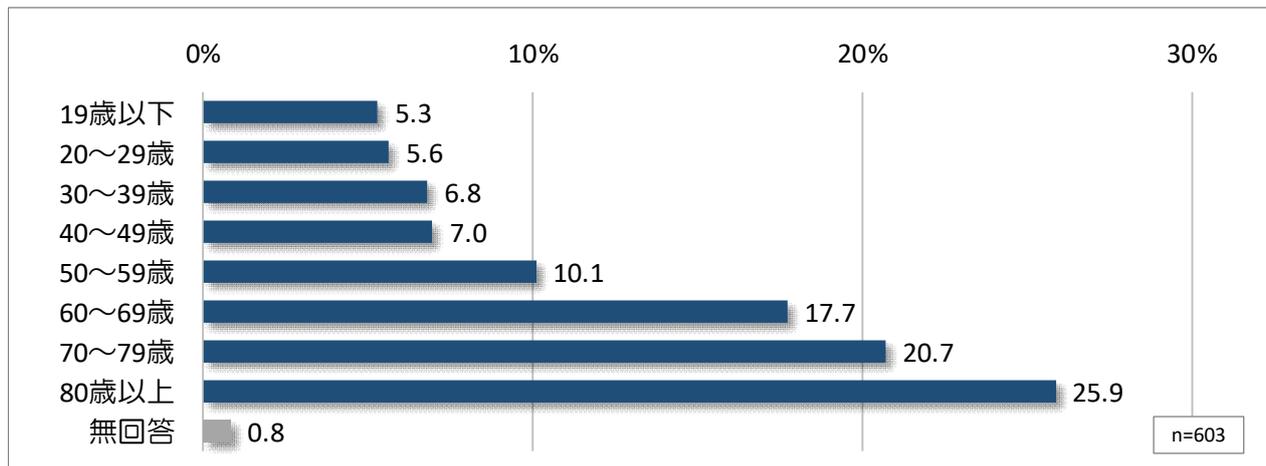


問2 年齢

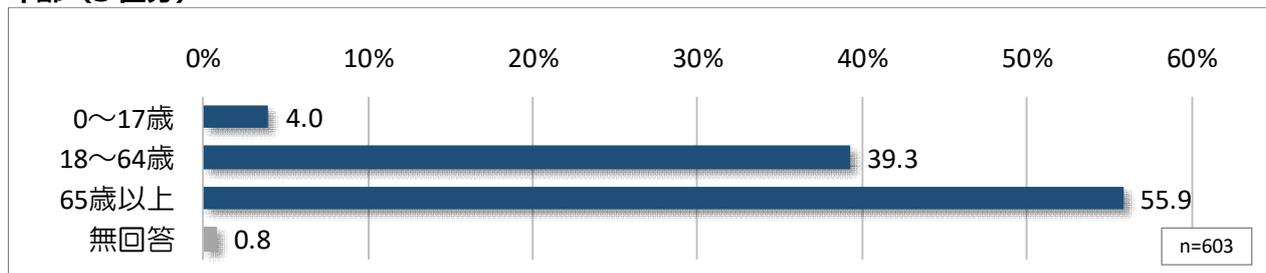
あなたの年齢をお答えください

「80歳以上」が25.9%と最も高くなっています。

年齢を3区分にすると、「障害児（0～17歳）」が4.0%、「障害者（18～64歳）」が39.3%、「障害者（高齢者）（65歳以上）」が55.9%となっています。



年齢（3区分）



障害者に関する手帳の所持別 年齢

	合計	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
全体	598	32	34	41	42	61	107	125	156
	100.0%	5.4%	5.7%	6.9%	7.0%	10.2%	17.9%	20.9%	26.1%
身体障害者手帳	366	9	12	2	9	28	62	109	135
	100.0%	2.5%	3.3%	0.5%	2.5%	7.7%	16.9%	29.8%	36.9%
療育手帳	76	16	16	11	11	6	11	5	0
	100.0%	21.1%	21.1%	14.5%	14.5%	7.9%	14.5%	6.6%	0.0%
精神障害者 保健福祉手帳	75	5	8	16	11	15	14	4	2
	100.0%	6.7%	10.7%	21.3%	14.7%	20.0%	18.7%	5.3%	2.7%
もっていない	66	3	2	11	12	13	17	6	2
	100.0%	4.5%	3.0%	16.7%	18.2%	19.7%	25.8%	9.1%	3.0%

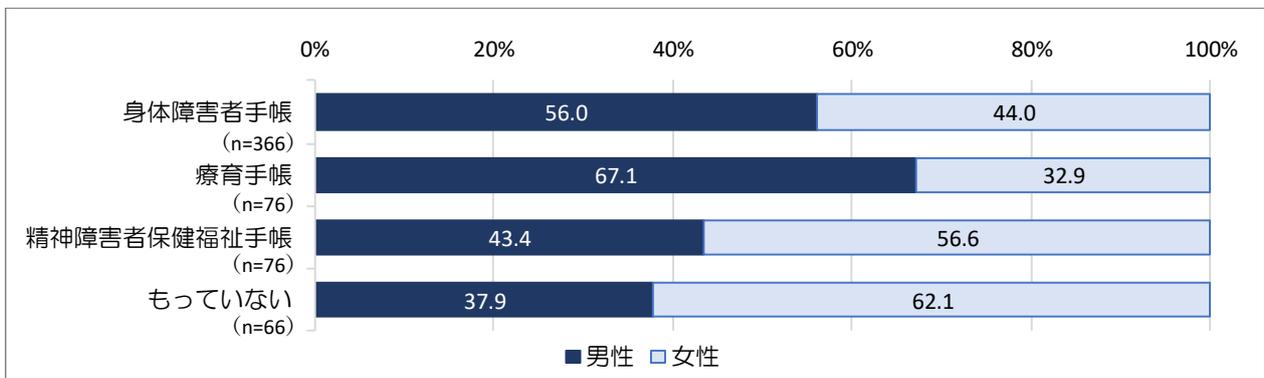
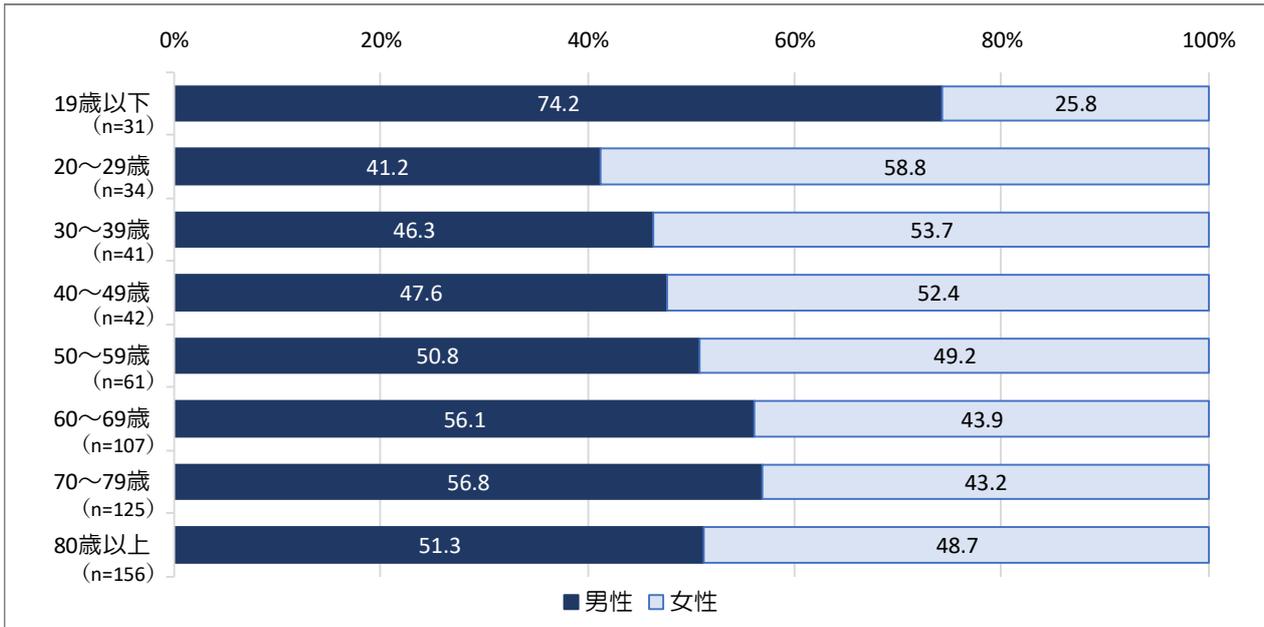
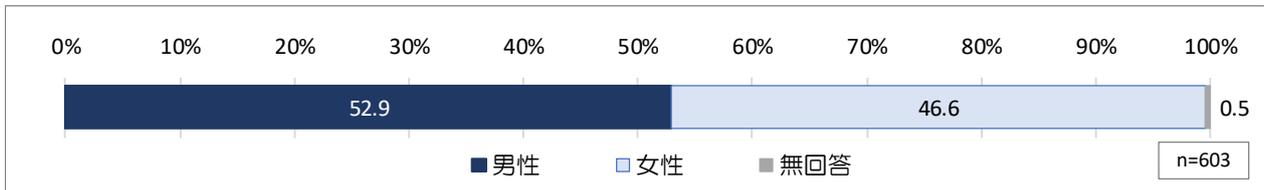
※手帳の所持で、「もっていない」とする回答については、「障害福祉サービス・障害児福祉サービスを利用されている方」「精神障害にかかる医療費助成制度を利用されている方」「指定難病、発達障害等により特別な支援、援助を必要とされる方」です。

※手帳の種別については、重複回答者を含んでいるため、全体の合計と一致していません。

問3 性別

あなたの性別をお答えください

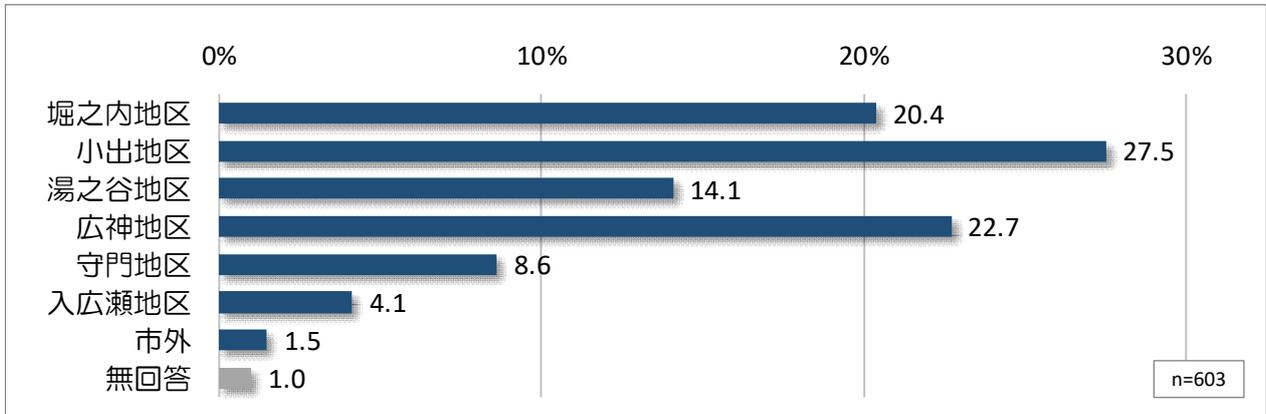
「男性」が52.9%、「女性」が46.6%となっています。



問4 住んでいる地区

あなたがお住まいの地区はどこですか

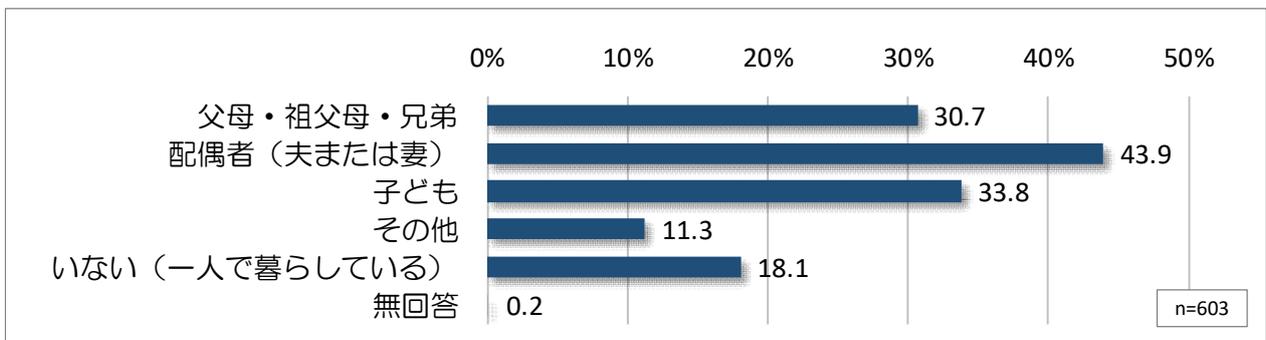
「小出地区」が27.5%、「広神地区」が22.7%、「堀之内地区」が20.4%などとなっています。



問5 同居者

現在、あなたと一緒に暮らしている方は、どなたですか（複数回答）

「配偶者」が43.9%と最も高く、次いで「子ども」が33.8%、「父母・祖父母・兄弟」が30.7%となっています。一方で「いない（一人で暮らしている）」が18.1%となっています。



* 「いない（一人で暮らしている）」には、グループホーム、福祉施設等を利用している方を含みます。

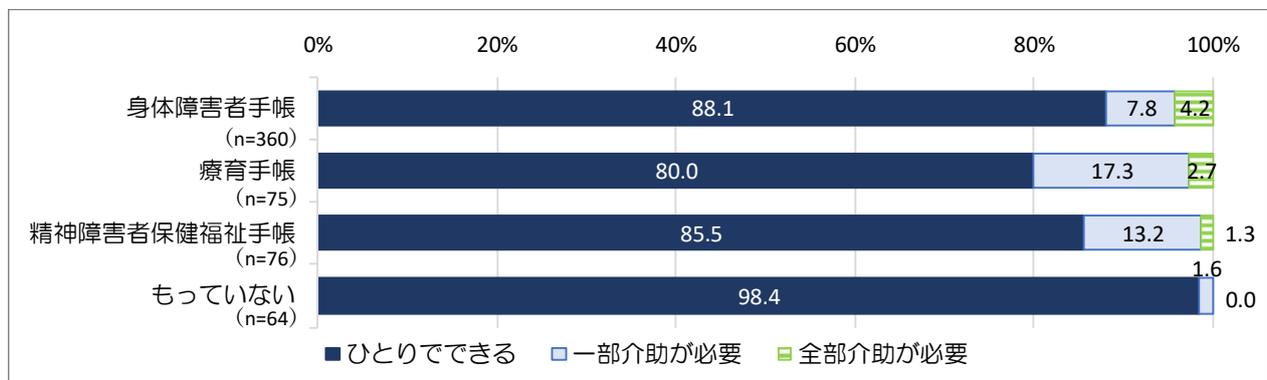
■ 介助について

問 6 日常生活での介助の必要性

日常生活で、次のことをどのようにしていますか

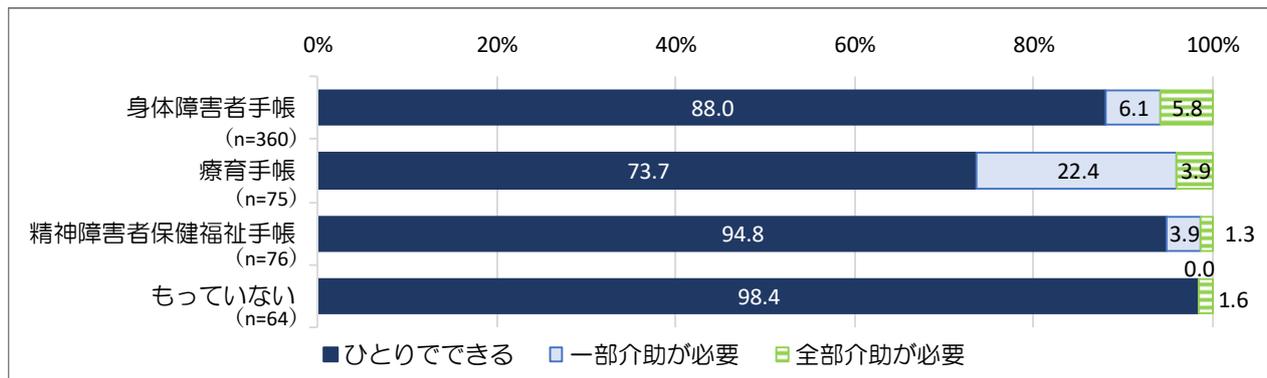
① 食事

「一部介助が必要」が8.1%、「全部介助が必要」が2.8%となっています。



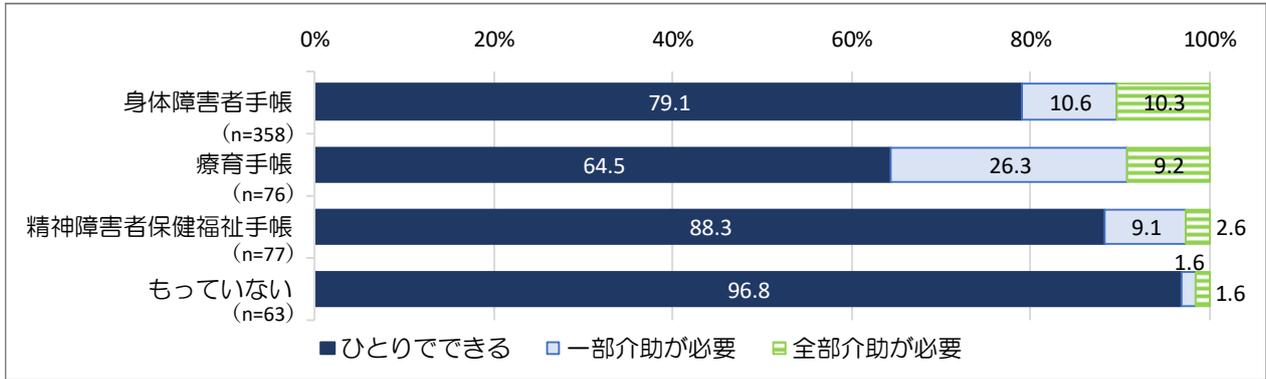
② トイレ

「一部介助が必要」が6.5%、「全部介助が必要」が4.0%となっています。



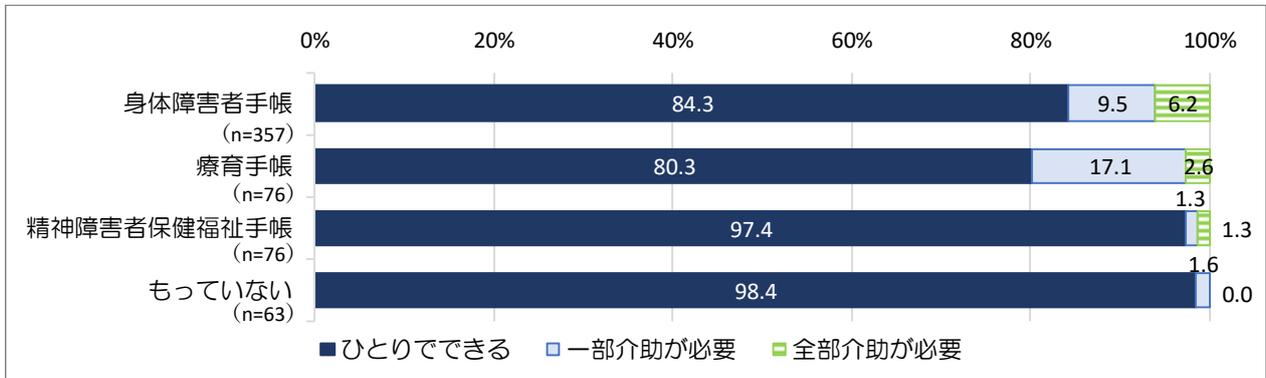
③ 入浴

「一部介助が必要」が10.8%、「全部介助が必要」が7.6%となっています。



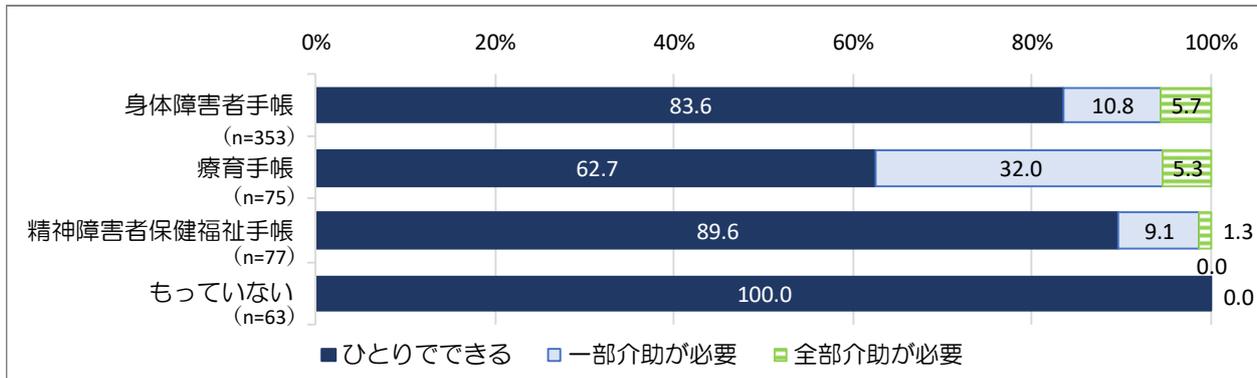
④ 衣服の着脱

「一部介助が必要」が8.5%、「全部介助が必要」が4.0%となっています。



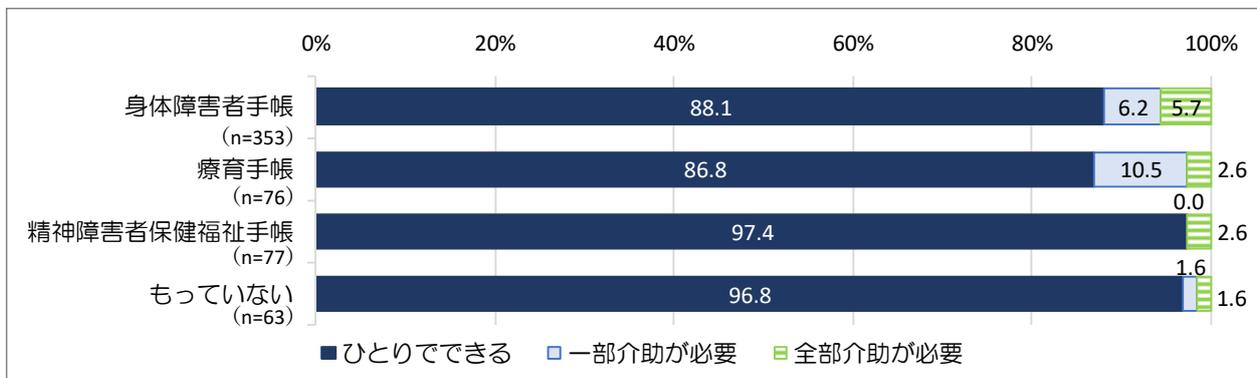
⑤ 身だしなみ

「一部介助が必要」が11.1%、「全部介助が必要」が4.1%となっています。



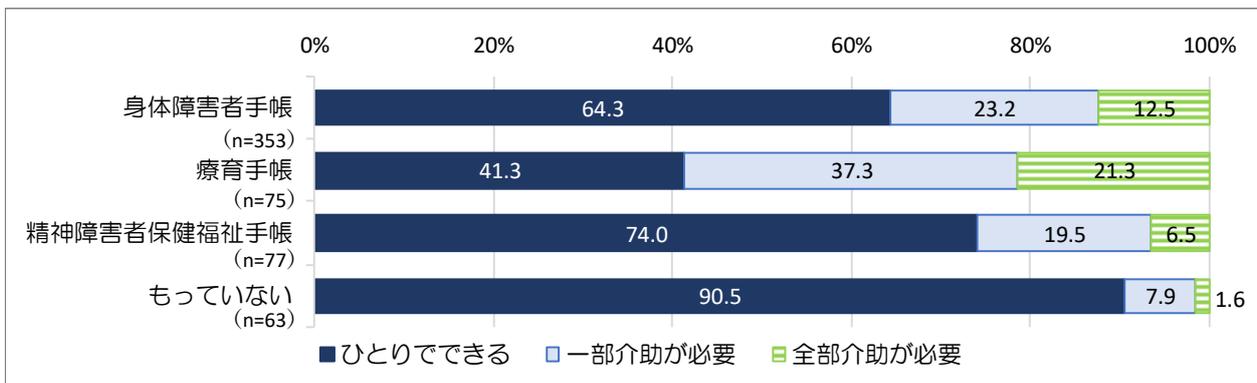
⑥ 家の中の移動

「一部介助が必要」が5.3%、「全部介助が必要」が3.8%となっています。



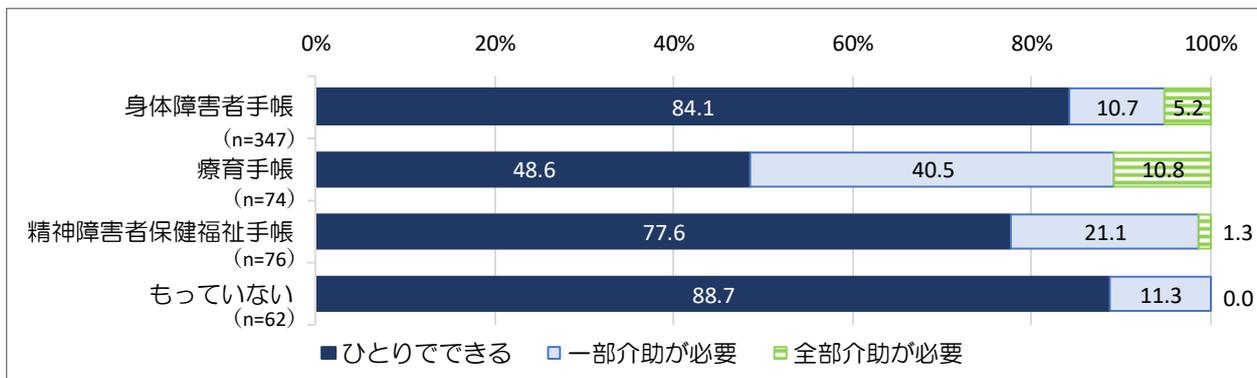
⑦ 外出

「一部介助が必要」が21.4%、「全部介助が必要」が10.9%となっています。



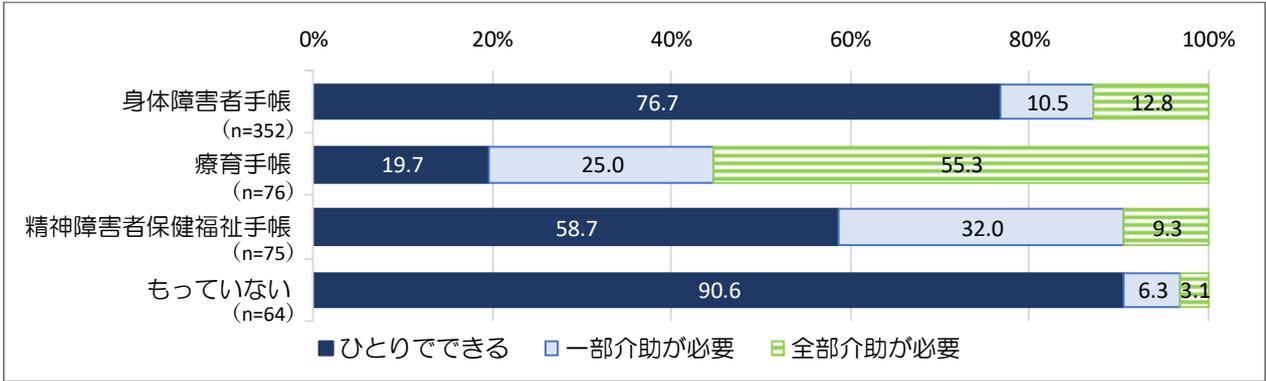
⑧ 家族以外の人との意思疎通

「一部介助が必要」が15.1%、「全部介助が必要」が4.5%となっています。



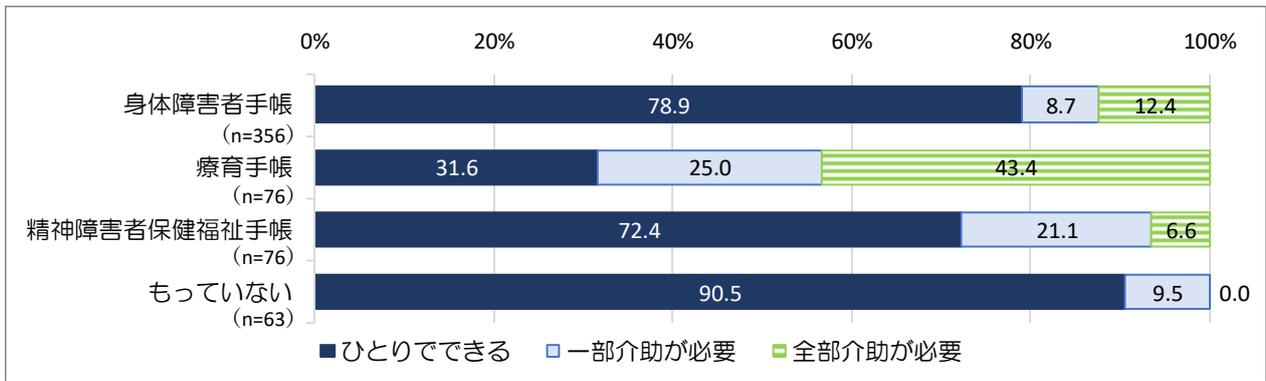
⑨ お金の管理

「一部介助が必要」が14.1%、「全部介助が必要」が15.8%となっています。



⑩ 薬の管理

「一部介助が必要」が12.1%、「全部介助が必要」が13.6%となっています。

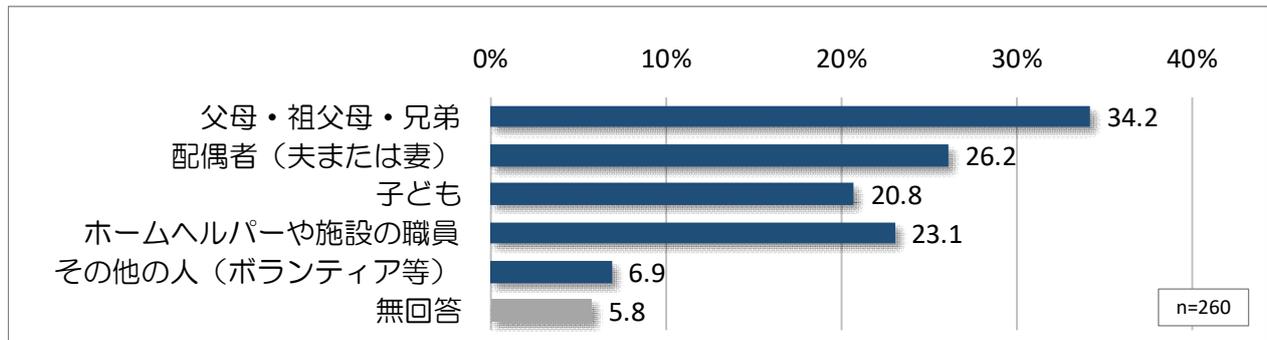


問7 主な介助者

問6で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答した方にうかがいます

あなたを介助してくれる方は主に誰ですか（複数回答）

「父母・祖父母・兄弟」が34.2%と最も高く、次いで「配偶者」が26.2%、「ホームヘルパーや施設の職員」が23.1%となっています。



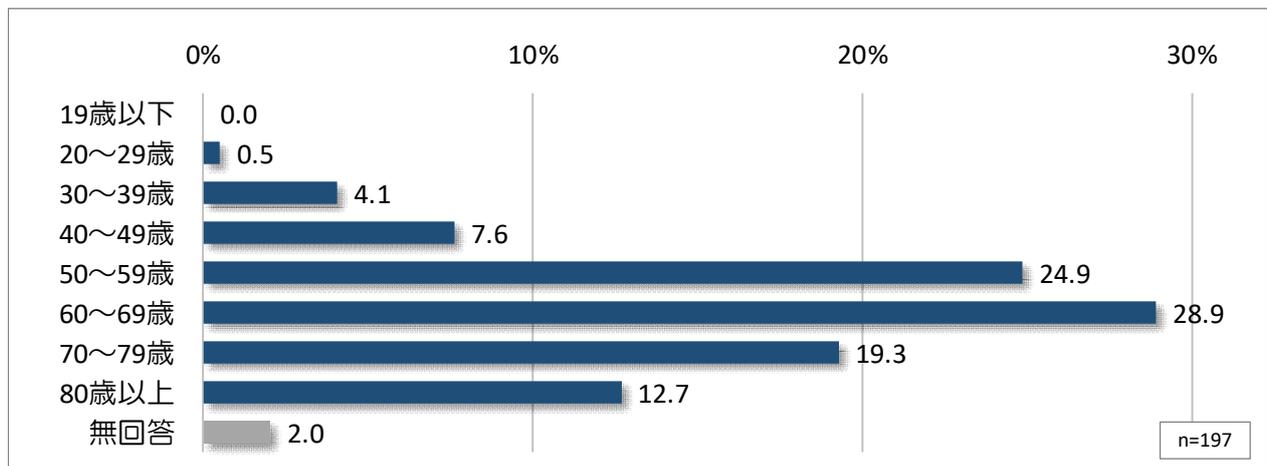
	合計	父母・祖父母・兄弟	配偶者	子ども	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人（ボランティア等）
全体	245	89	68	54	60	18
	100.0%	36.3%	27.8%	22.0%	24.5%	7.3%
身体障害者手帳	138	28	52	45	32	14
	100.0%	20.3%	37.7%	32.6%	23.2%	10.1%
療育手帳	61	43	0	0	26	1
	100.0%	70.5%	0.0%	0.0%	42.6%	1.6%
精神障害者 保健福祉手帳	33	18	7	0	7	2
	100.0%	54.5%	21.2%	0.0%	21.2%	6.1%
もっていない	13	7	6	1	0	0
	100.0%	53.8%	46.2%	7.7%	0.0%	0.0%

問 8 主な介助者について

問 7 で「父母・祖父母・兄弟」、「配偶者」、「子ども」のいずれかに回答した方にかがいます

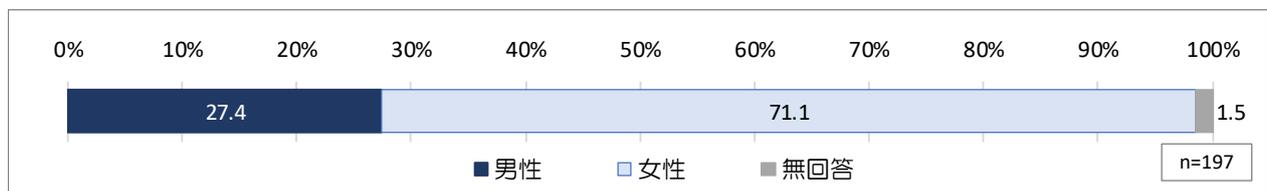
① 特に中心となる介助者の年齢をお答えください

「60～69 歳」が 28.9%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 24.9%となっています。



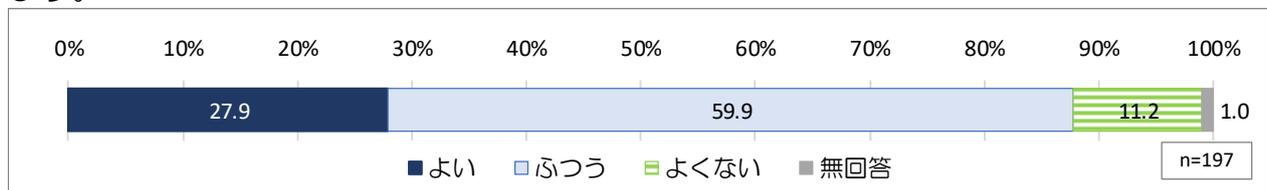
② 特に中心となる介助者の性別をお答えください

「男性」が 27.4%、「女性」が 71.1%となっています。



③ 特に中心となる介助者の健康状態をお答えください

「ふつう」が 59.9%と最も高く、「よい」が 27.9%、「よくない」が 11.2%となっています。



■ 障害の状況について

問 9 障害者に関する手帳

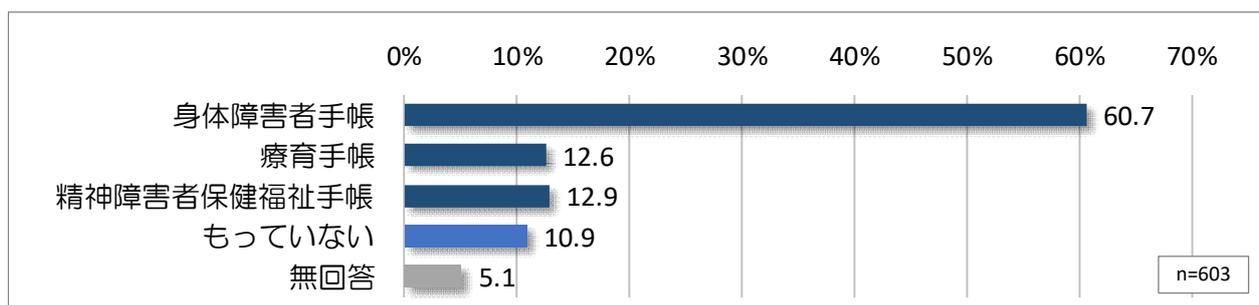
あなたは障害者に関する手帳をお持ちですか（複数回答）

「身体障害者手帳」が60.7%、「療育手帳」が12.6%、「精神障害者保健福祉手帳」が12.9%で、「もっていない」は10.9%となっています。

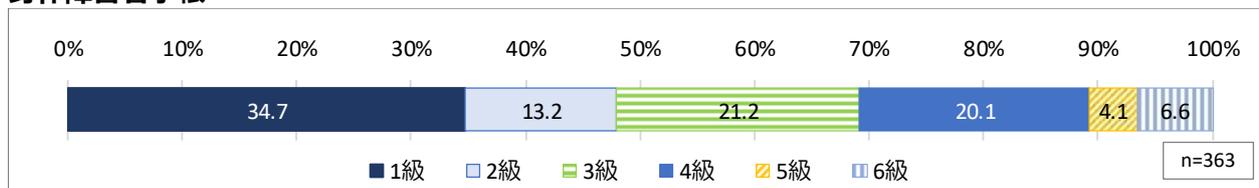
身体障害者手帳の等級は「1級」が34.7%と最も高くなっています。

療育手帳は「A判定」が39.5%、「B判定」が60.5%となっています。

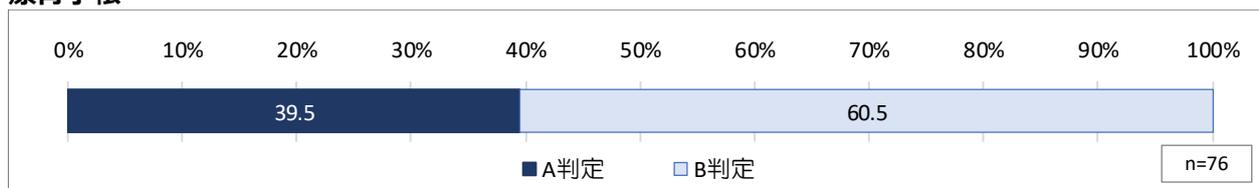
精神障害者保健福祉手帳の等級は「2級」が82.1%となっています。



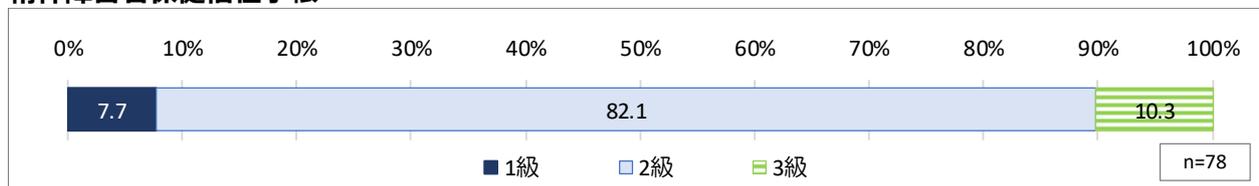
身体障害者手帳



療育手帳



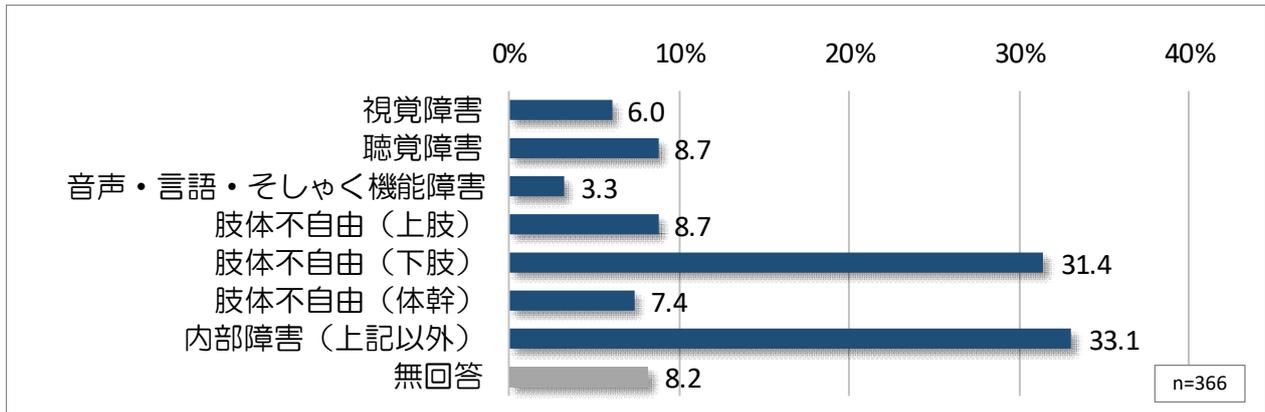
精神障害者保健福祉手帳



問 10 主たる障害

主たる障害をお答えください（複数回答）

「内部障害」が33.1%と最も高く、次いで「肢体不自由（下肢）」が31.4%となっています。

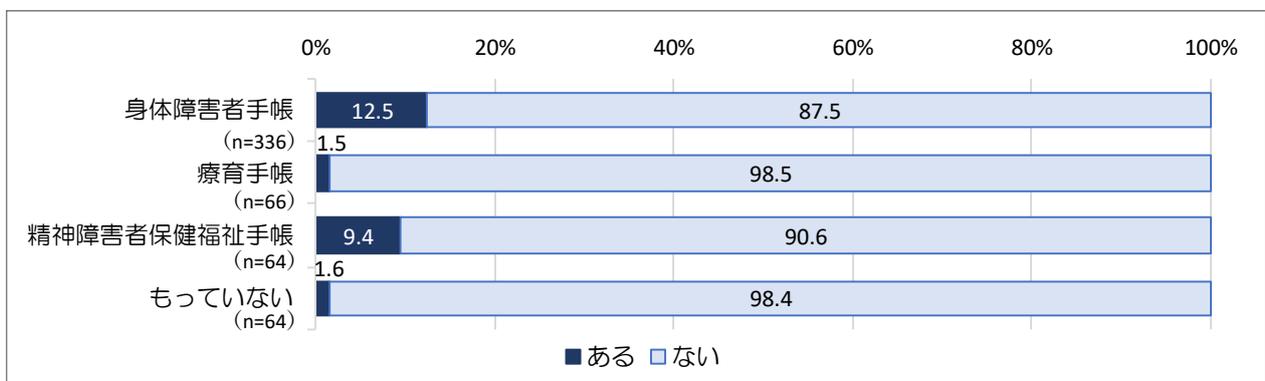


※調査票では「○は1つだけ」となっていたのですが、複数回答が多かったため、「複数回答」で集計しました。

問 11 指定難病受給者証

指定難病受給者証をお持ちですか

「ある」が8.3%、「ない」が79.8%となっています。

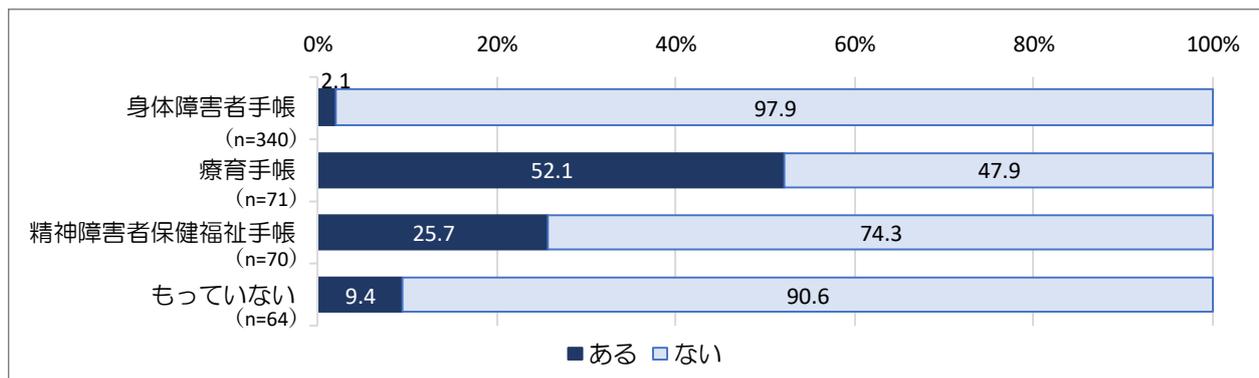
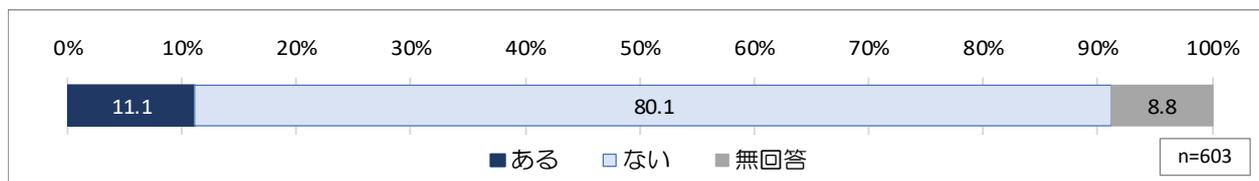


※指定難病受給者証とは、原因が不明で治療法が確立していない指定難病に罹患し、一定の基準を満たしていると認定された場合、医療費の一部を負担する制度です。

問 12 発達障害

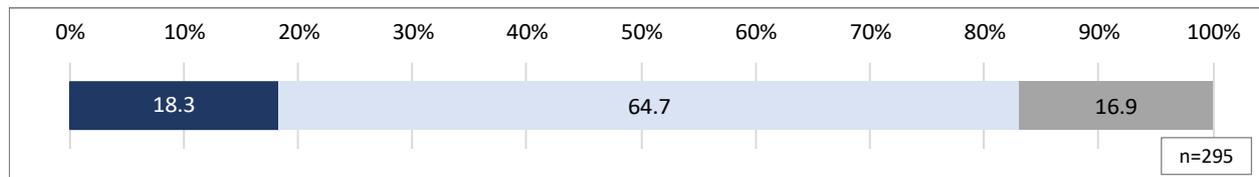
発達障害と診断されたことがありますか

「ある」が11.1%、「ない」が80.1%となっています。



※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

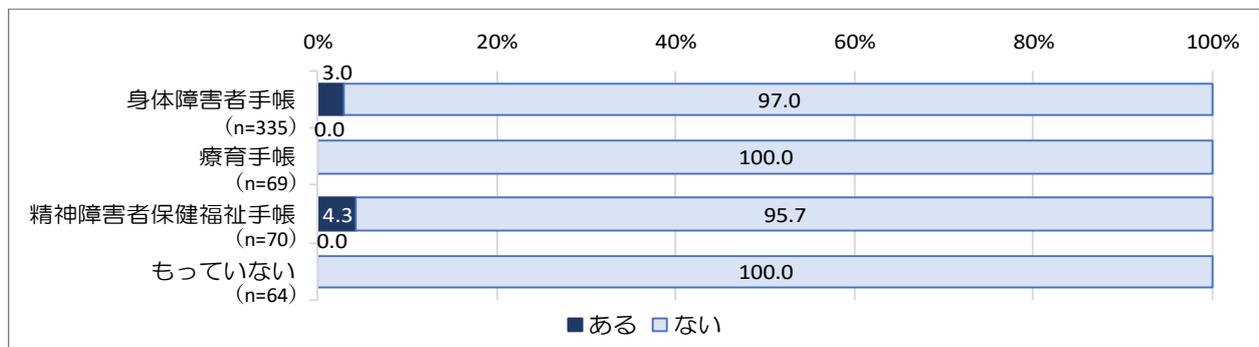
■前回調査（参考）



問 13 高次脳機能障害

高次脳機能障害と診断されたことがありますか

「ある」が2.5%、「ない」が88.6%となっています。

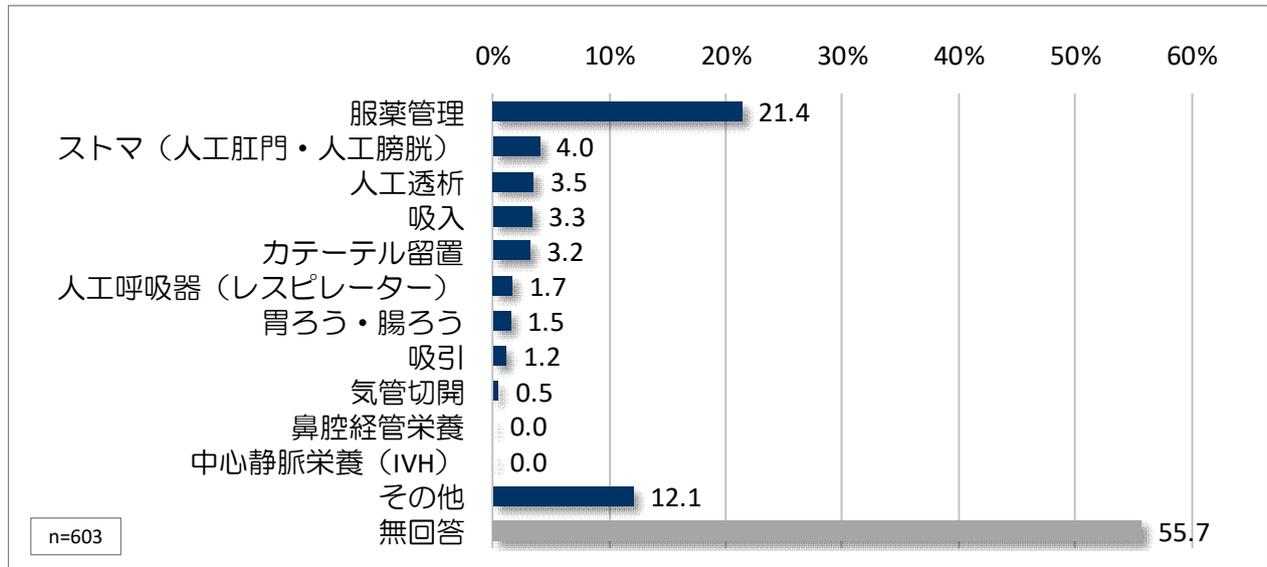


※高次脳機能障害とは、交通事故などによるけがや脳血管障害により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指すものです。

問 14 医療ケア

現在受けている医療ケアをご回答ください（複数回答）

「服薬管理」が21.4%と最も高くなっています。「その他」で多かったのはペースメーカーでした。「無回答」が多くなっていますが、医療ケアを受けていない方が含まれていると考えられます。

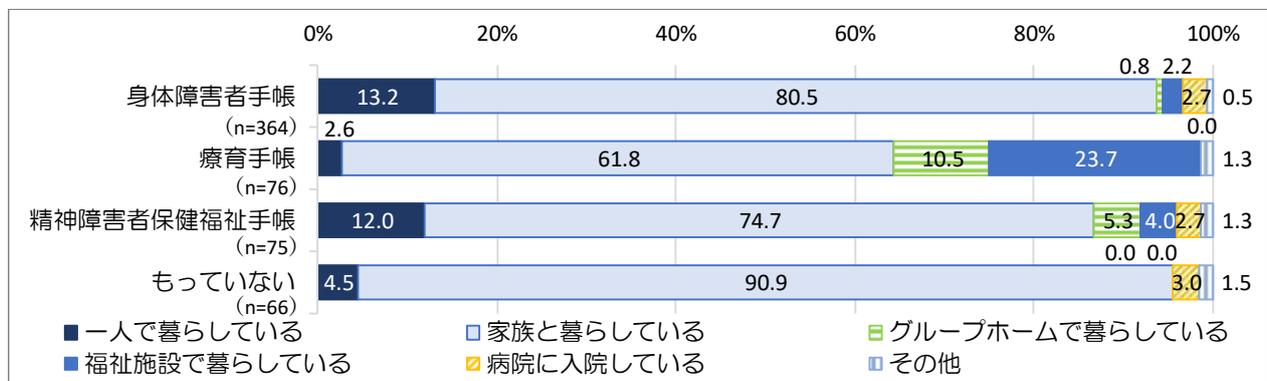
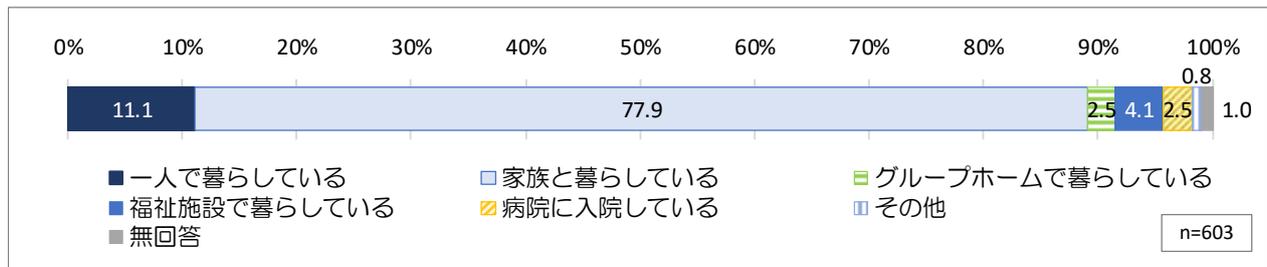


■住まいや暮らしについて

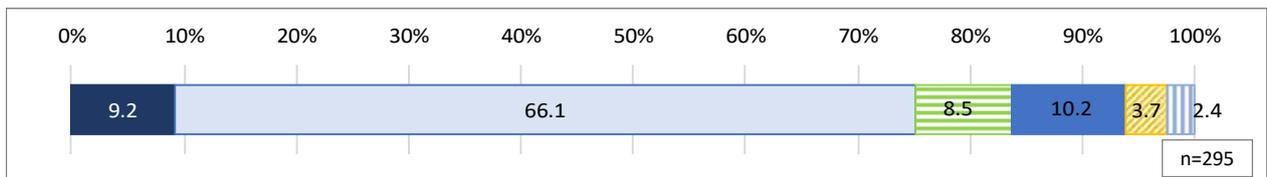
問 15 現在の暮らし

現在どのように暮らしていますか

「家族と暮らしている」が77.9%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」が11.1%となっています。



■ 前回調査 (参考)

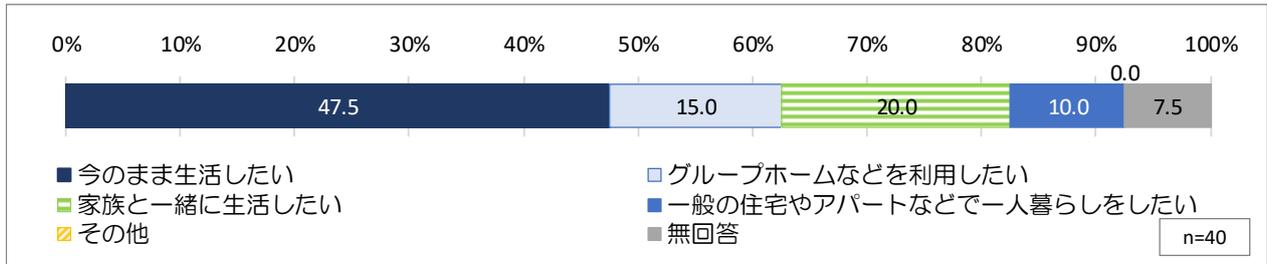


問 15 で「福祉施設」または「病院に入院」と回答した方にかがいます

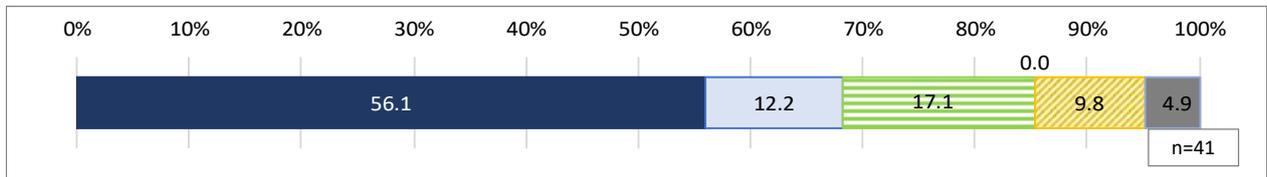
問 16 将来、地域で生活したいか

将来、地域（施設や病院の外）で生活したいと思いませんか

「今のまま生活したい」が 47.5%、「家族と一緒に生活したい」が 20.0%、「グループホームなどを利用したい」が 15.0%などとなっています。



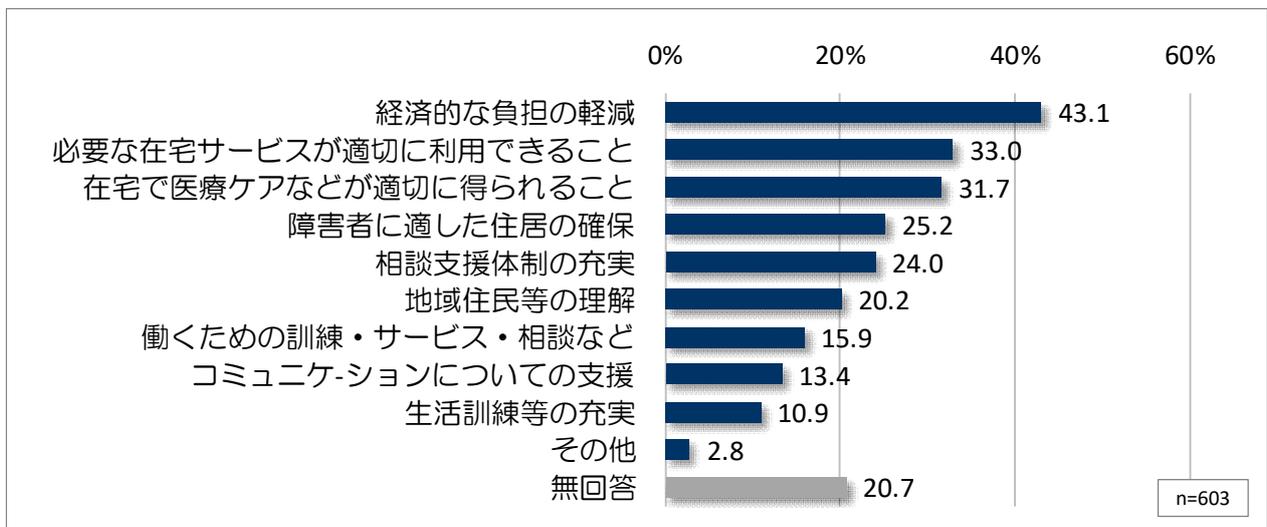
■前回調査（参考）



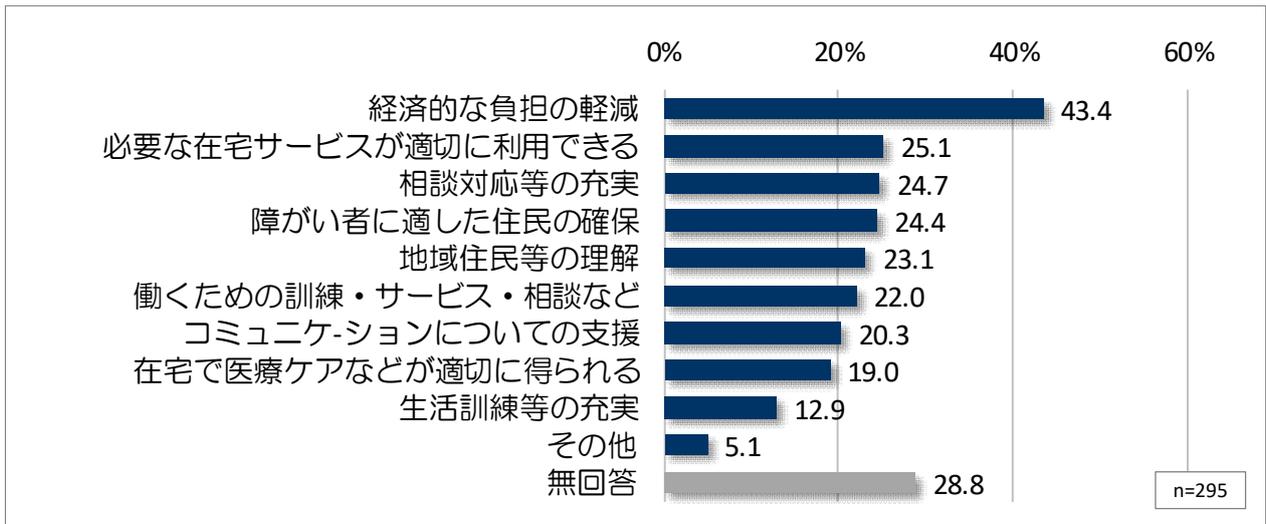
問 17 地域生活のための支援

地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いませんか（複数回答）

「経済的な負担の軽減」が 43.1%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 33.0%、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が 31.7%となっています。



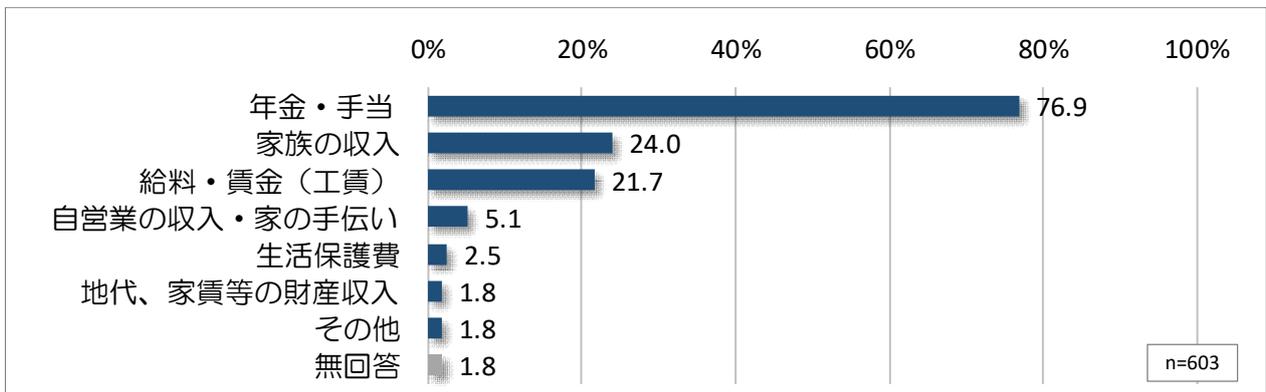
■ 前回調査（参考）



問 18 主な収入

あなたの主な収入について教えてください

「年金・手当」が76.9%と最も高く、次いで「家族の収入」が24.0%、「給料・賃金」が21.7%となっています。

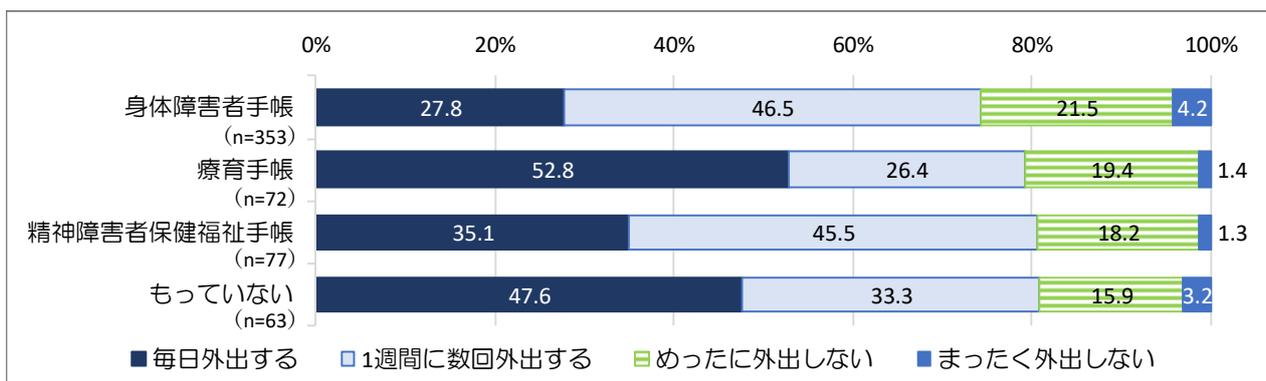
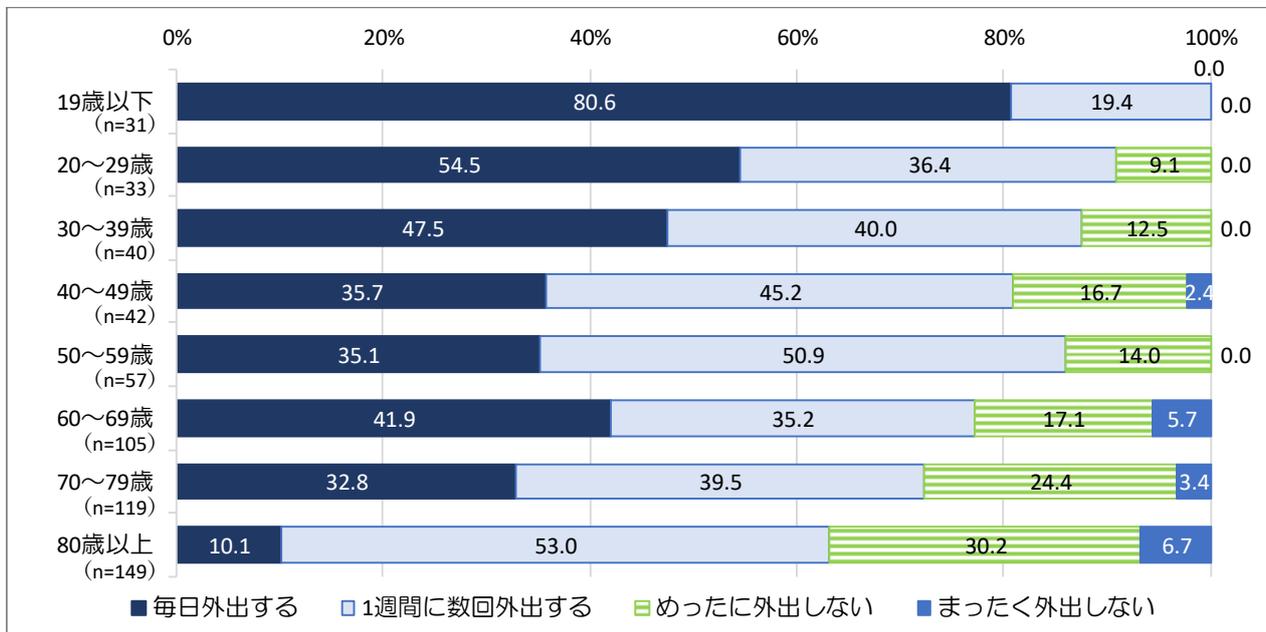
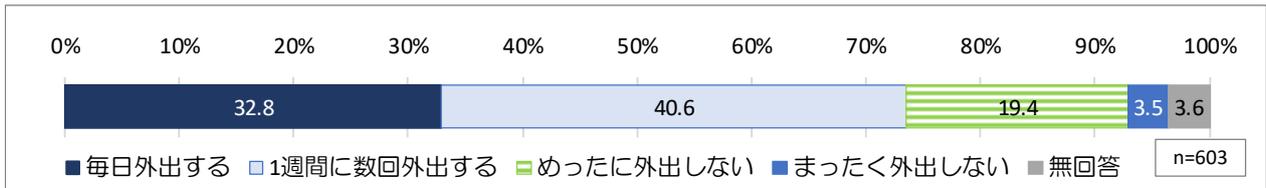


■ 日中活動や就労について

問 19 外出の頻度

1 週間にどの程度外出しますか

「毎日外出する」が 32.8%、「1 週間に数回外出する」が 40.6%となっています。一方で「めったに外出しない」と「まったく外出しない」を合わせると 22.9%となっています。

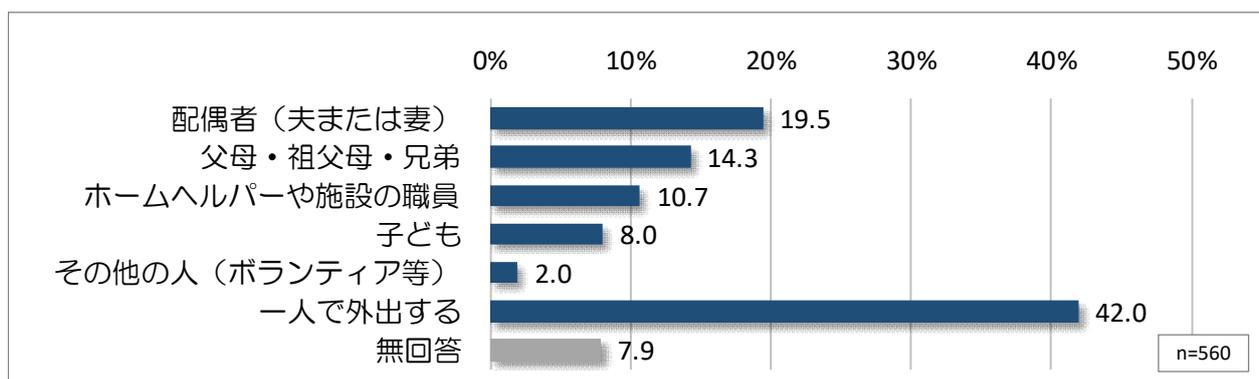


問 19 で「まったく外出しない」以外を選択した方にうかがいます

問 20 外出時の同伴者

外出する時の主な同伴者は誰ですか（複数回答）

「一人で外出する」が 42.0%と最も高くなっています。主な同伴者は「配偶者」が 19.5%、「父母・祖父母・兄弟」が 14.3%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 10.7%などとなっています。



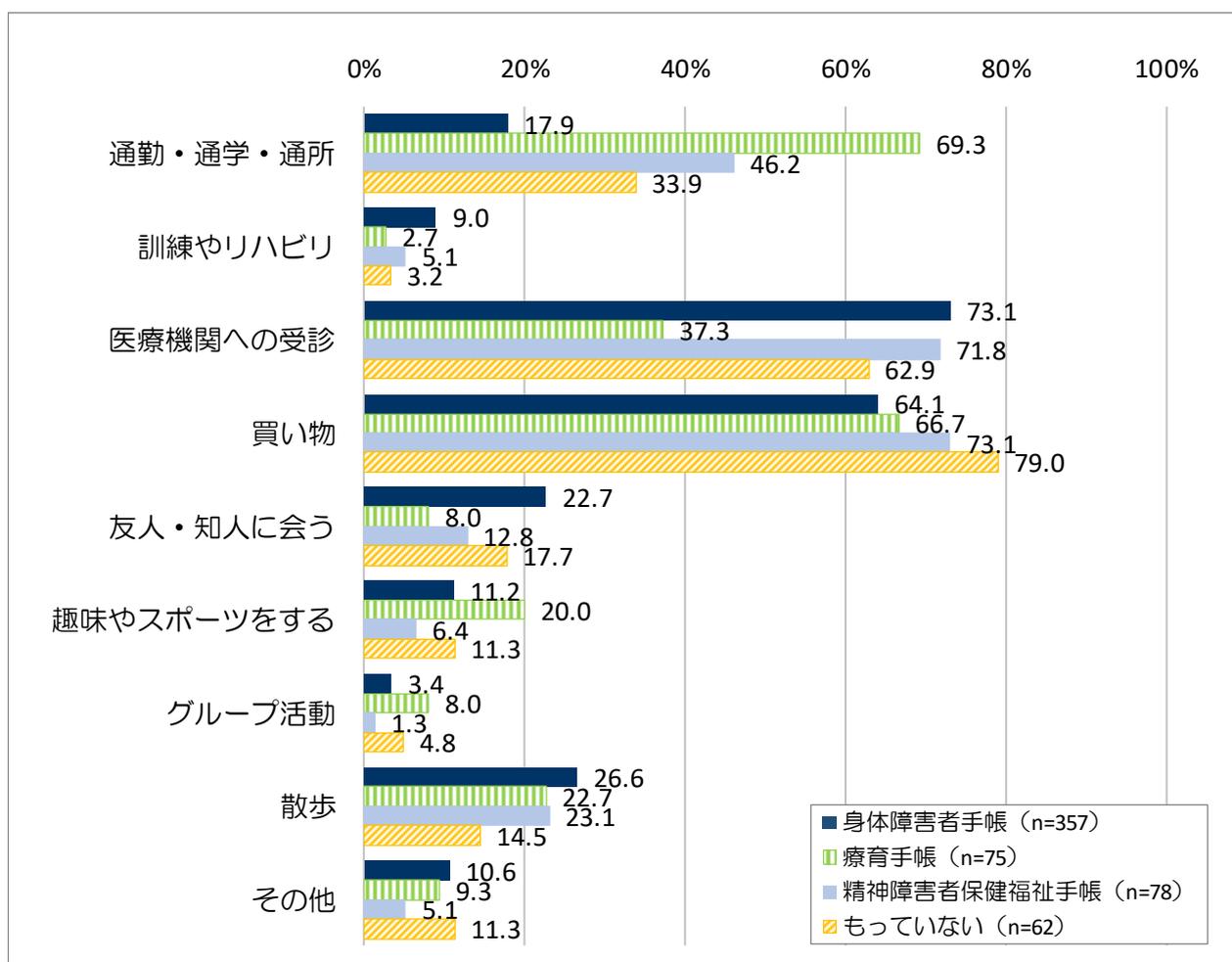
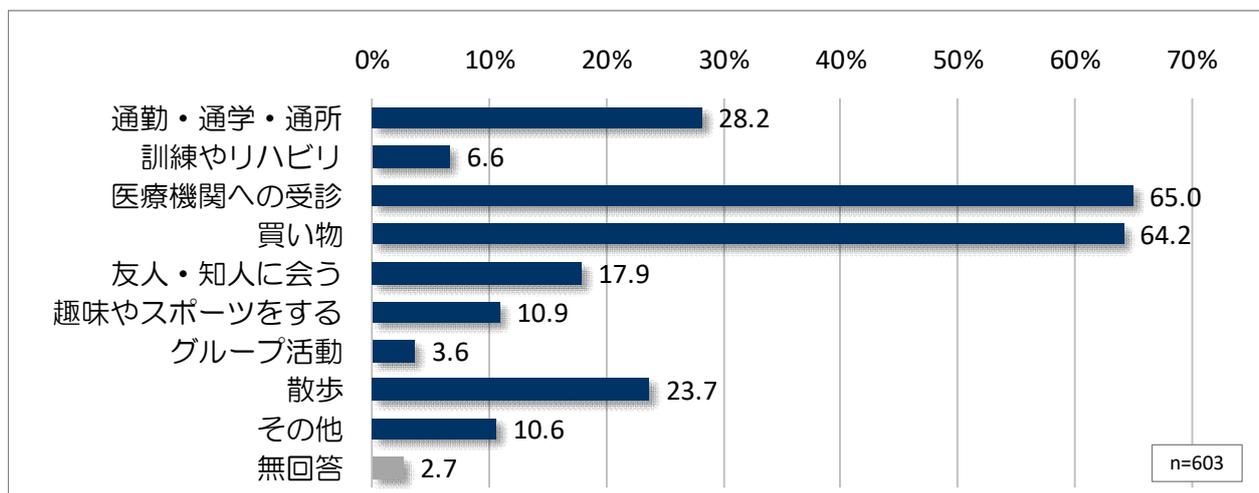
※調査票では「〇は1つだけ」となっていますが、複数回答が多かったため、「複数回答」で集計しました。

問 21 外出の目的

どのような目的で外出することが多いですか（複数回答）

「医療機関への受診」が65.0%、「買い物」が64.2%などとなっています。

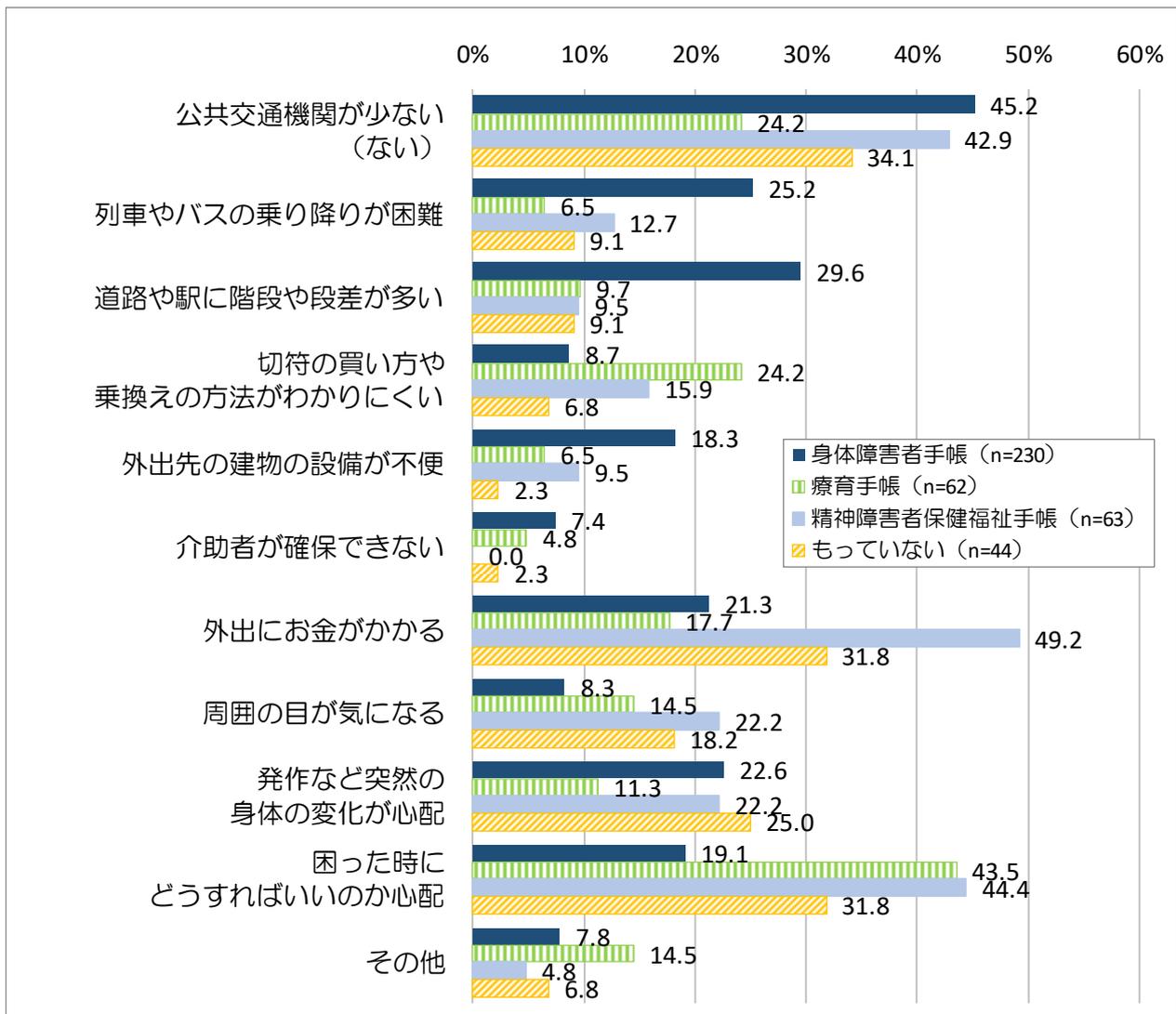
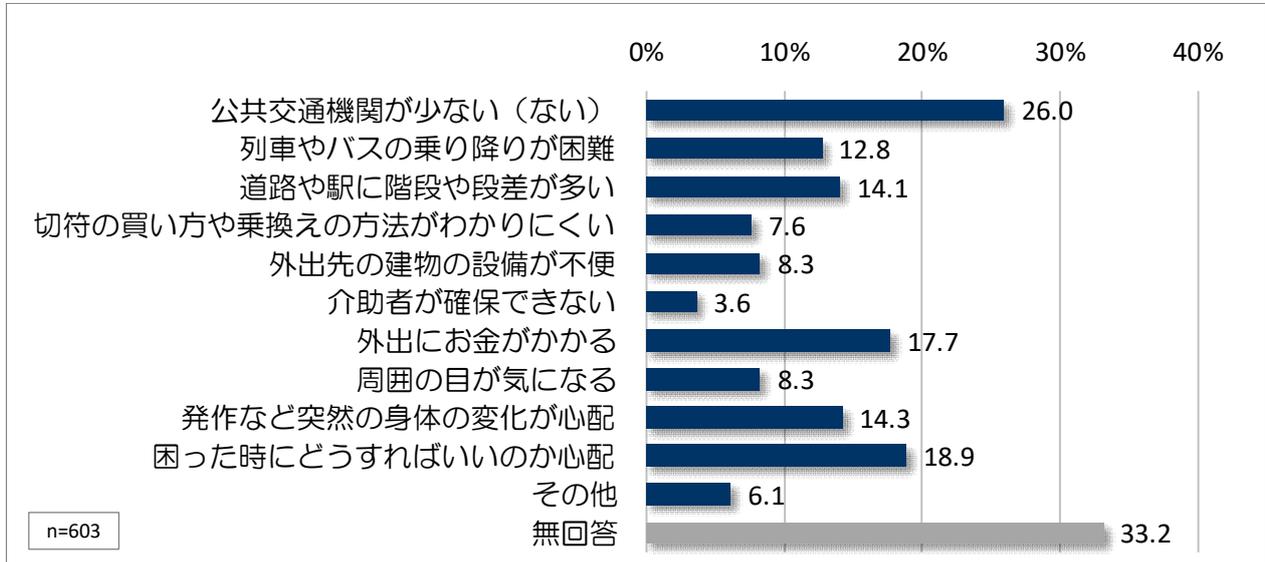
療育手帳所持者は「医療機関への受診」の割合が低く、「通勤・通学・通所」の割合が高くなっています。



問 22 外出時に困ること

外出するときに困ることは何ですか（複数回答）

「公共交通機関が少ない（ない）」が26.0%と最も高くなっています。



問 23 日中の過ごし方

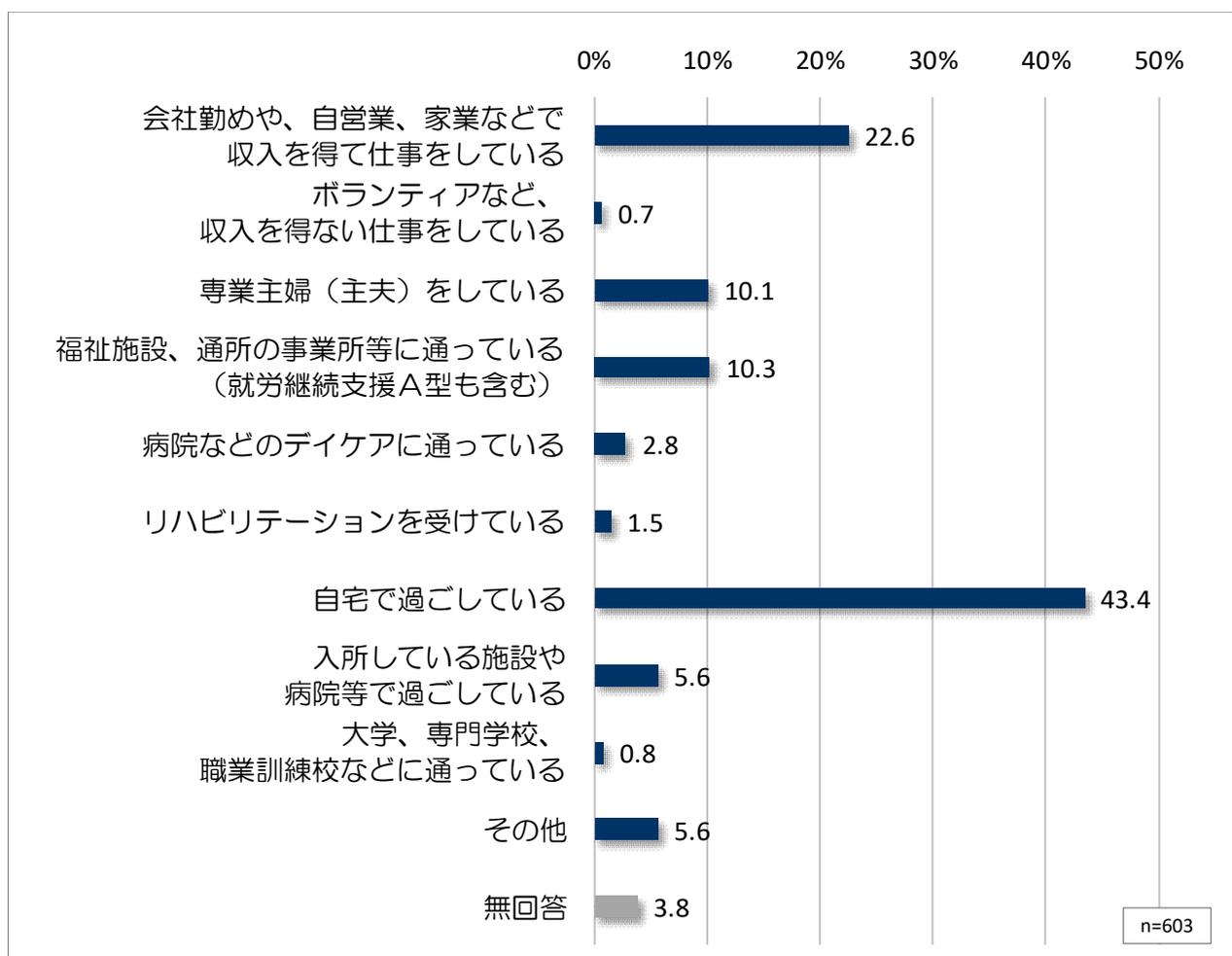
平日の日中をどのように過ごしていますか（複数回答）

「自宅で過ごしている」が43.4%と最も高くなっています。次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が22.6%、「福祉施設、通所の事業所等に通っている」が10.3%、「専業主婦（主夫）をしている」が10.1%などとなっています。

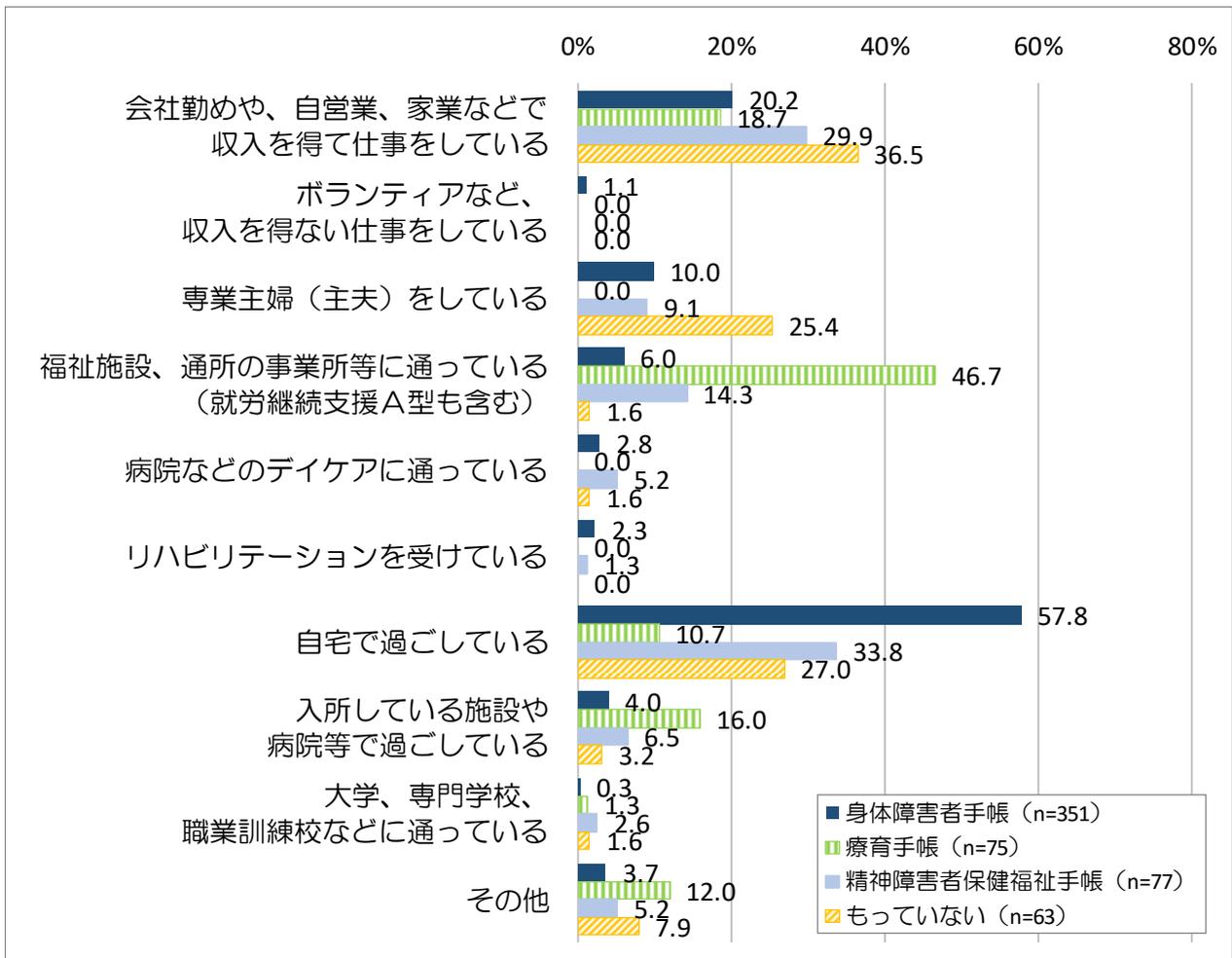
身体障害者手帳所持者は「自宅で過ごしている」割合が高くなっています。

療育手帳所持者は「自宅で過ごしている」割合が低く、「福祉施設、通所の事業所等に通っている」割合が高くなっています。

手帳をもっていない方と精神障害者保健福祉手帳所持者で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」割合が高くなっています。



※調査票では「○は1つだけ」となっていますが、複数回答が多かったため、「複数回答」で集計しました。

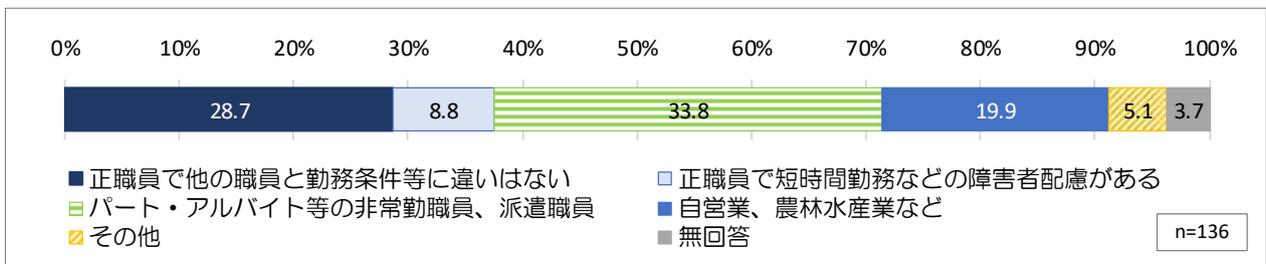


問 23 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」を選択した方にうかがいます

問 24 勤務形態

どのような勤務形態で働いていますか

「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 33.8%と最も高く、次いで「正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 28.7%、「自営業、農林水産業など」が 19.9%などとなっています。

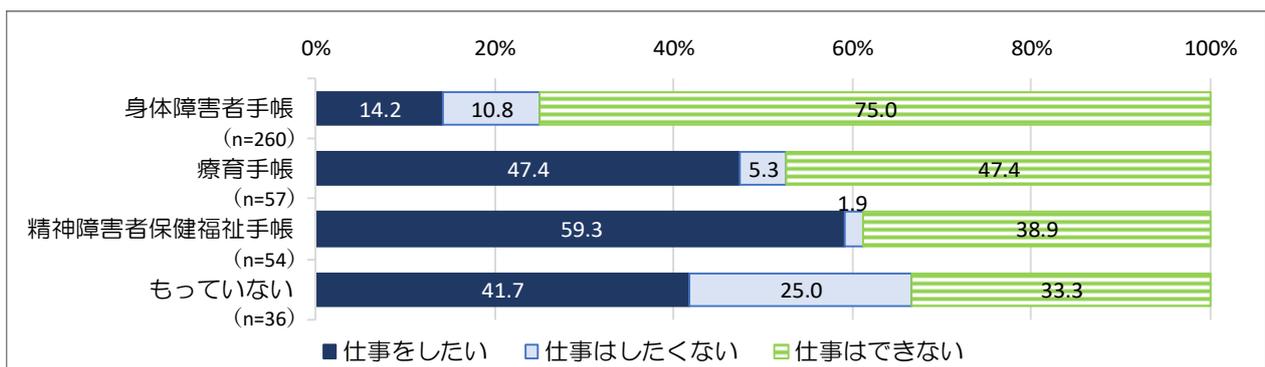
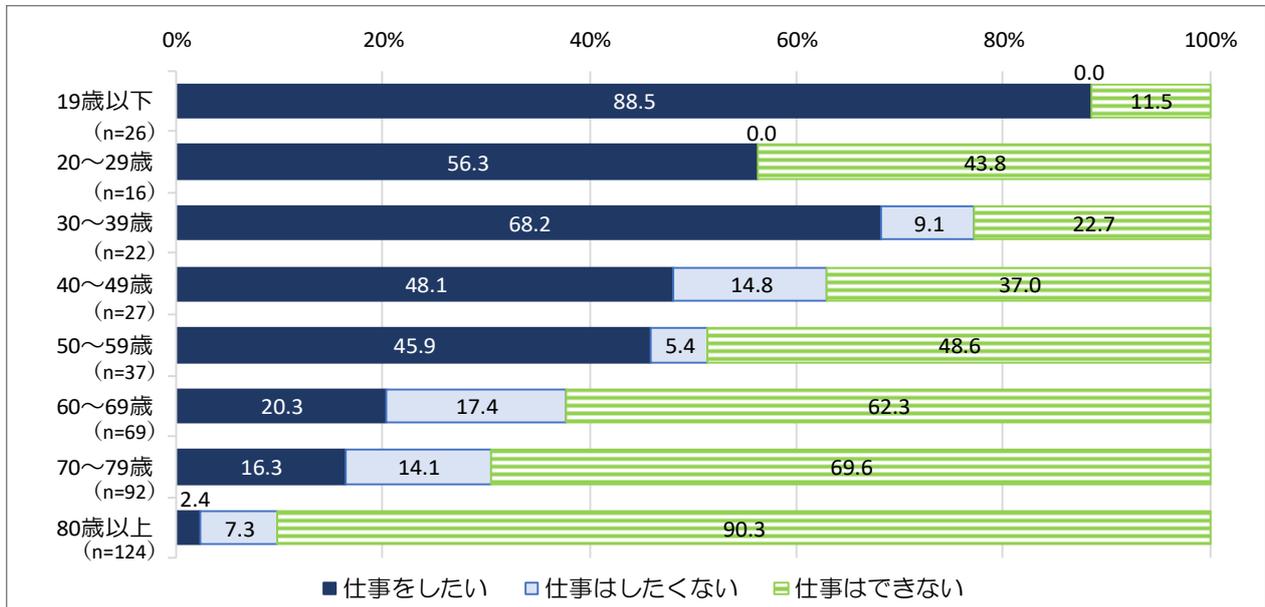
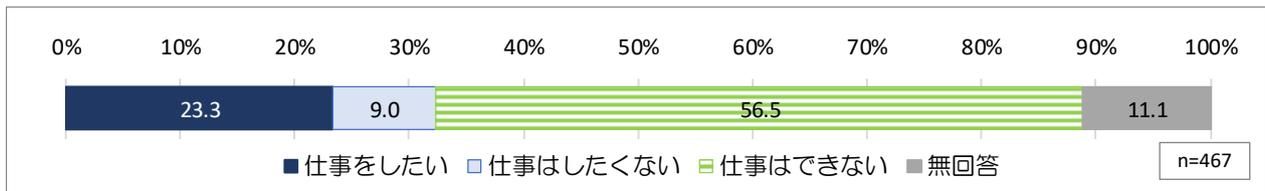


問 23 で「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外を選択した方にうかがいます

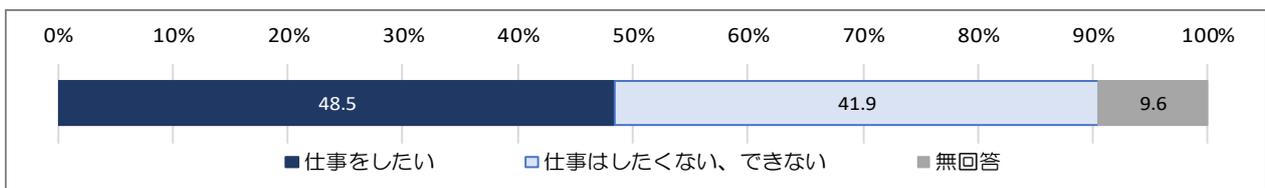
問 25 就労希望

今後、収入を得る仕事をしたいと思えますか

「仕事をしたい」は 23.3%、「仕事はしたくない」は 9.0%で、「仕事はできない」が 56.5%となっています。



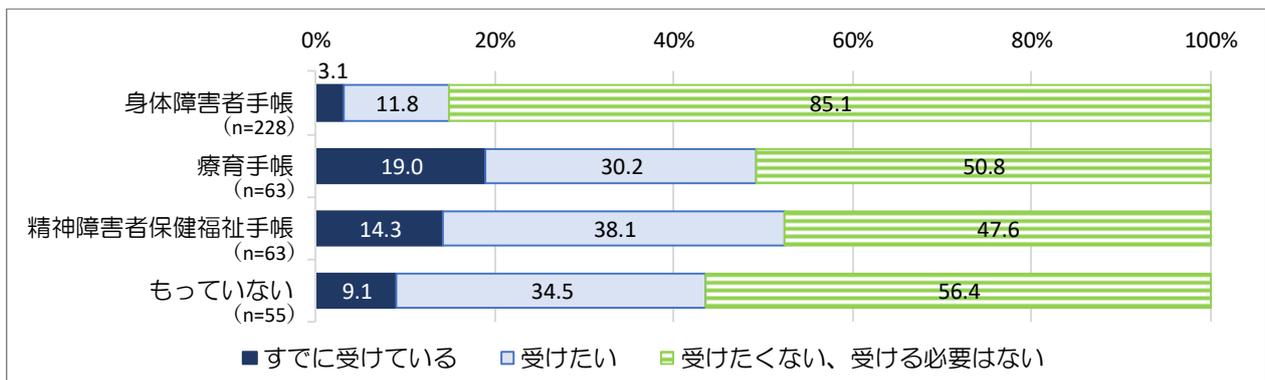
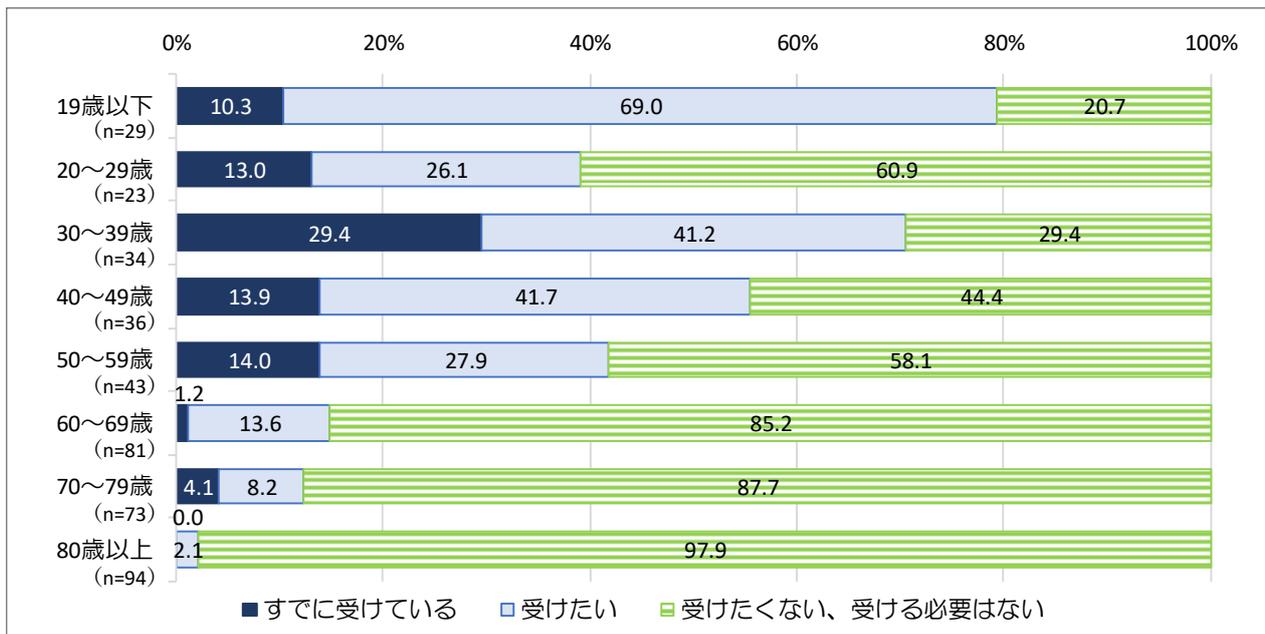
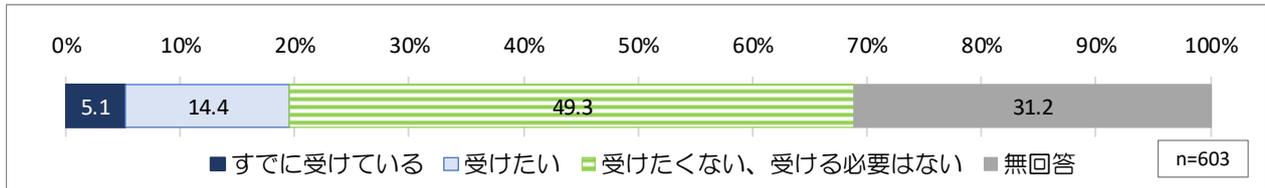
■ 前回調査 (参考)



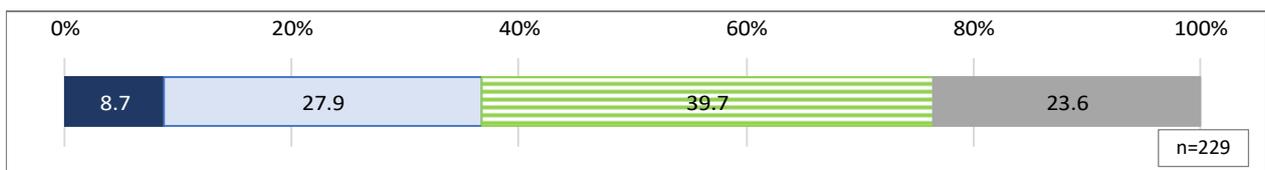
問 26 職業訓練

収入を得る仕事に就くために、職業訓練などを受けたいと思いますか

「すでに受けている」は5.1%、「受けたい」は14.4%で、「受けたくない、受ける必要はない」が49.3%となっています。



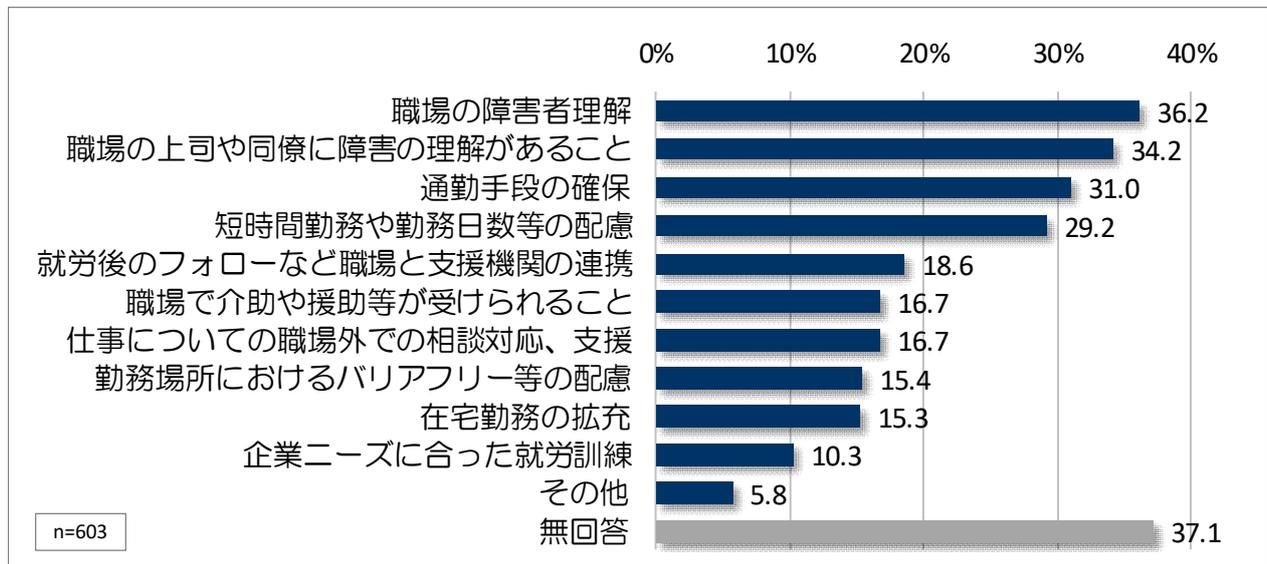
■前回調査（参考）



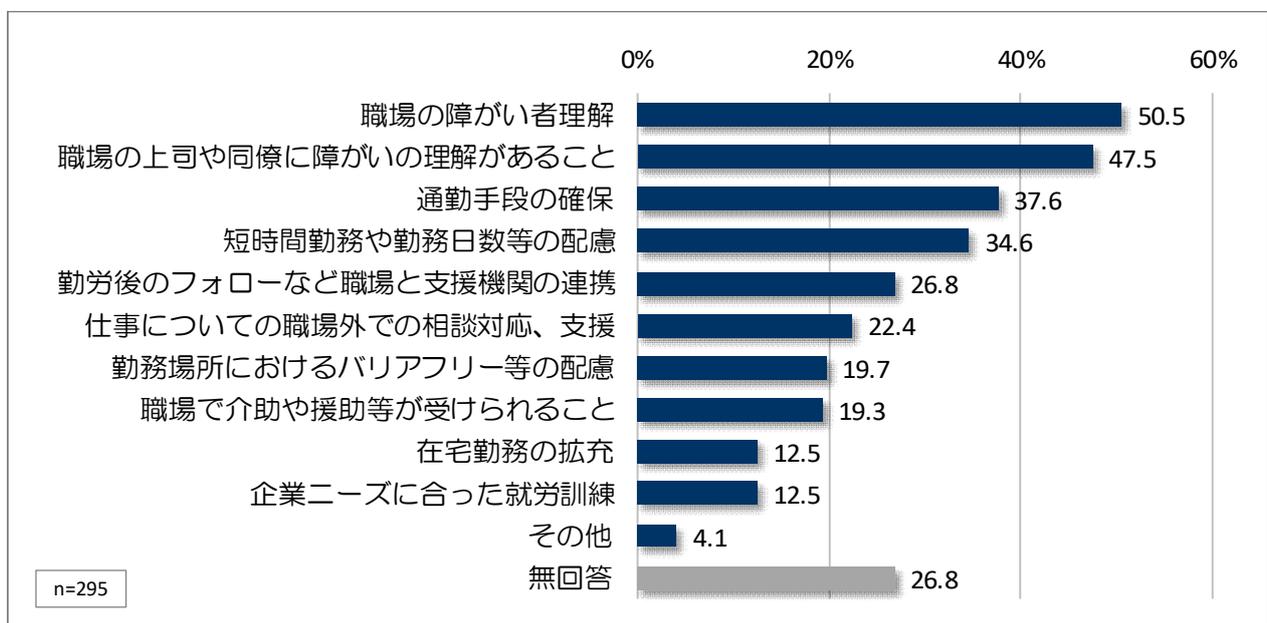
問 27 就労支援について

障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか（複数回答）

「職場の障害者理解」が36.2%と最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が34.2%、「通勤手段の確保」が31.0%、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」が29.2%などとなっています。



■ 前回調査（参考）

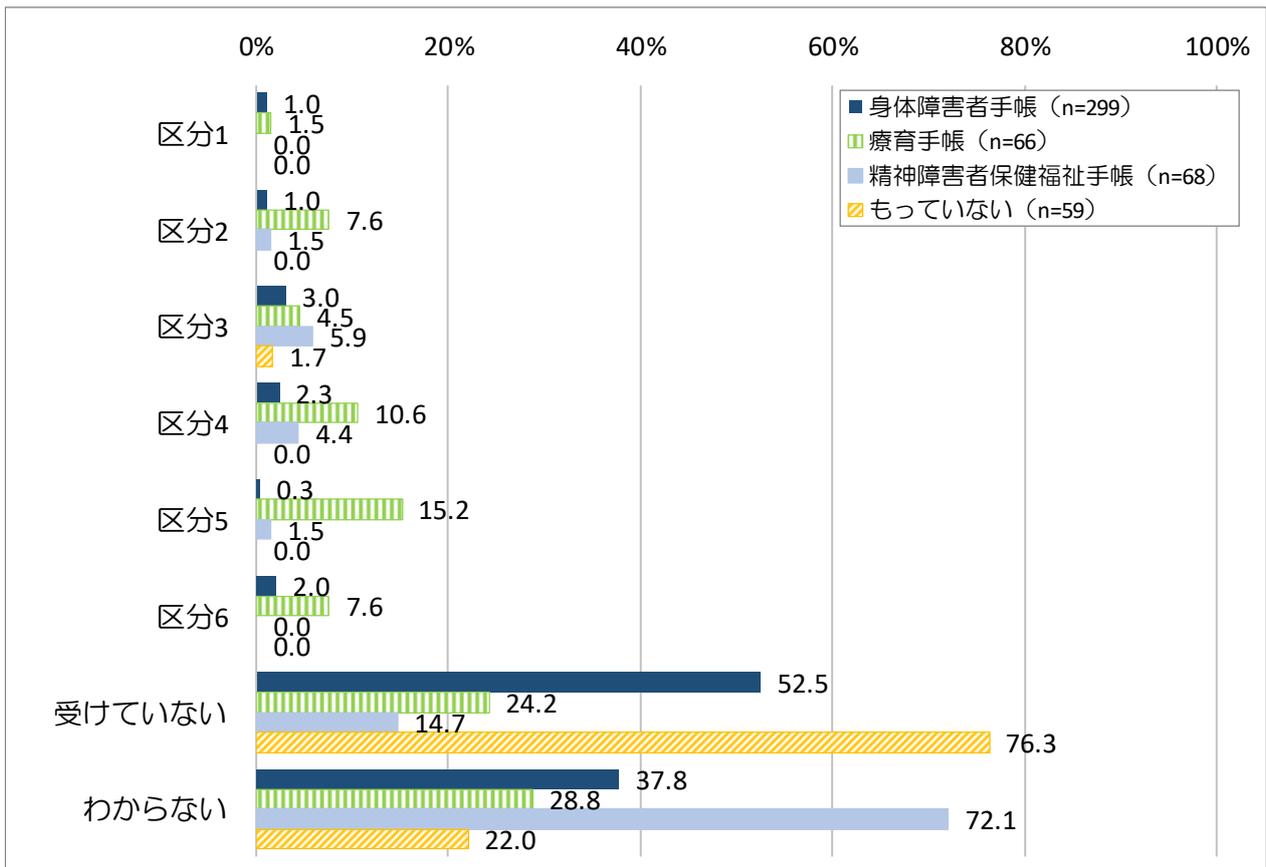
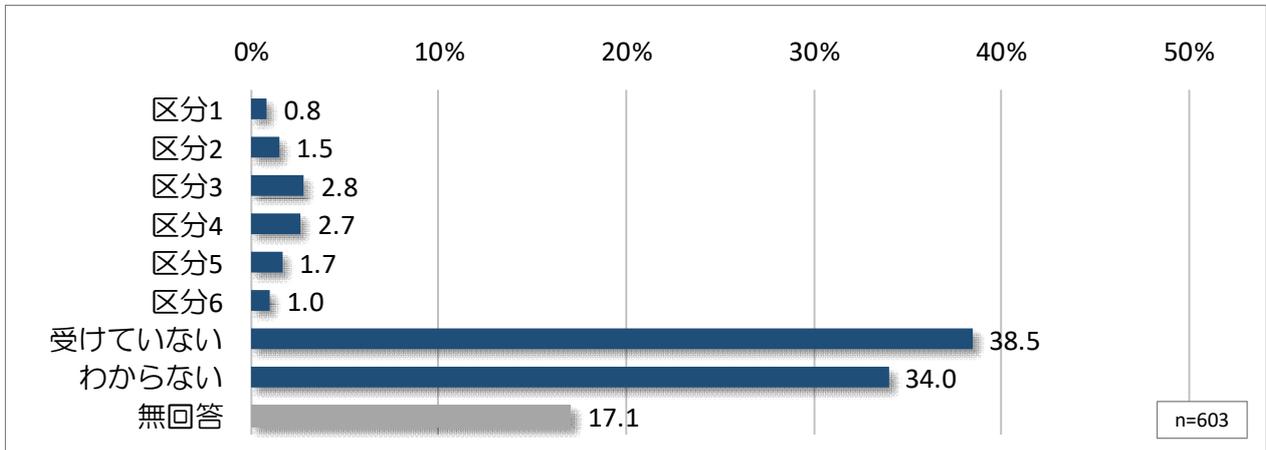


■ 障害福祉サービス等の利用について

問 28 障害支援区分

障害支援区分の認定を受けていますか

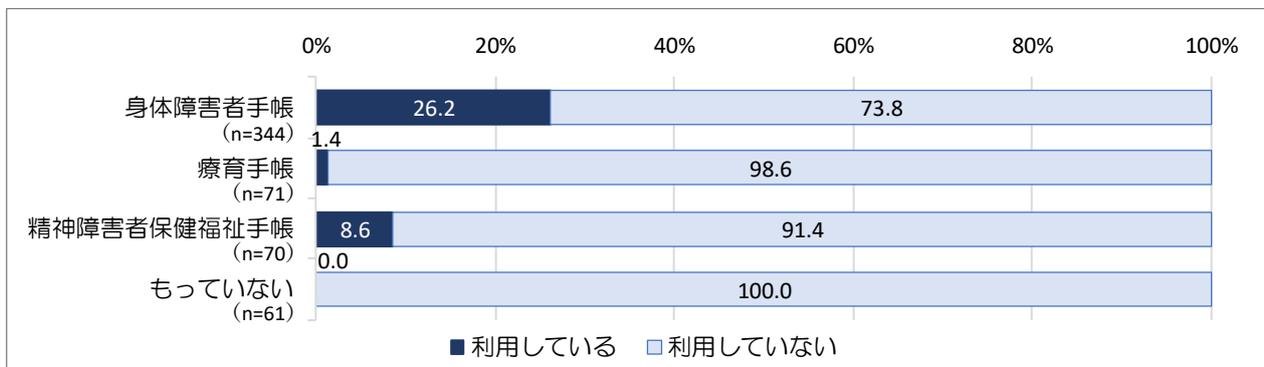
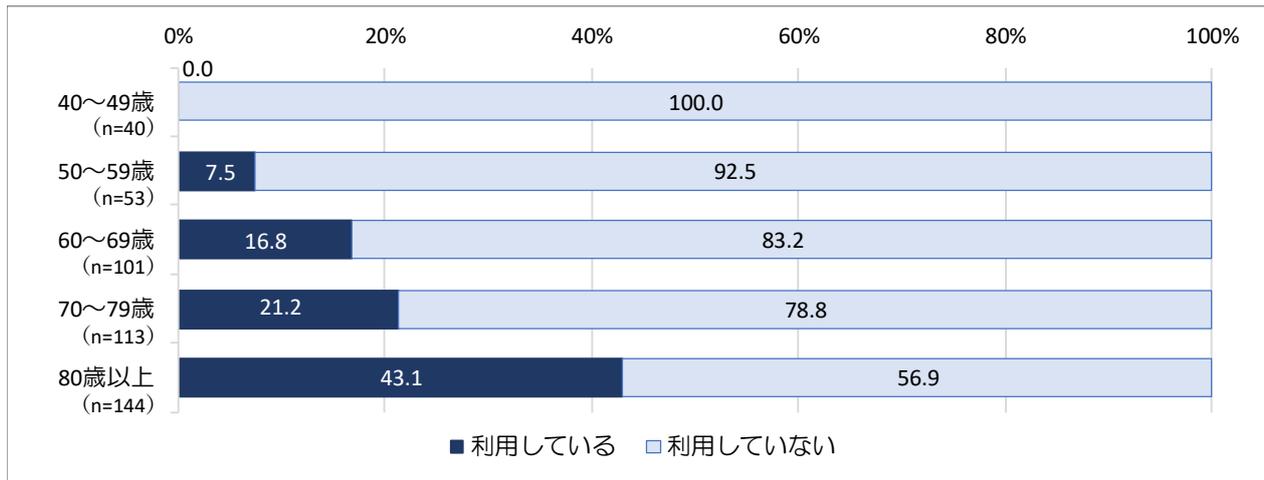
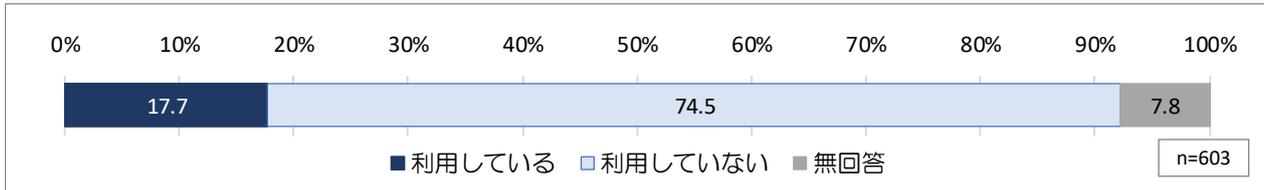
支援「区分3」が2.8%、「区分4」が2.7%などとなっています。



問 29 介護保険サービスの利用

介護保険によるサービスを利用していますか

「利用している」が17.7%、「利用していない」が74.5%となっています。

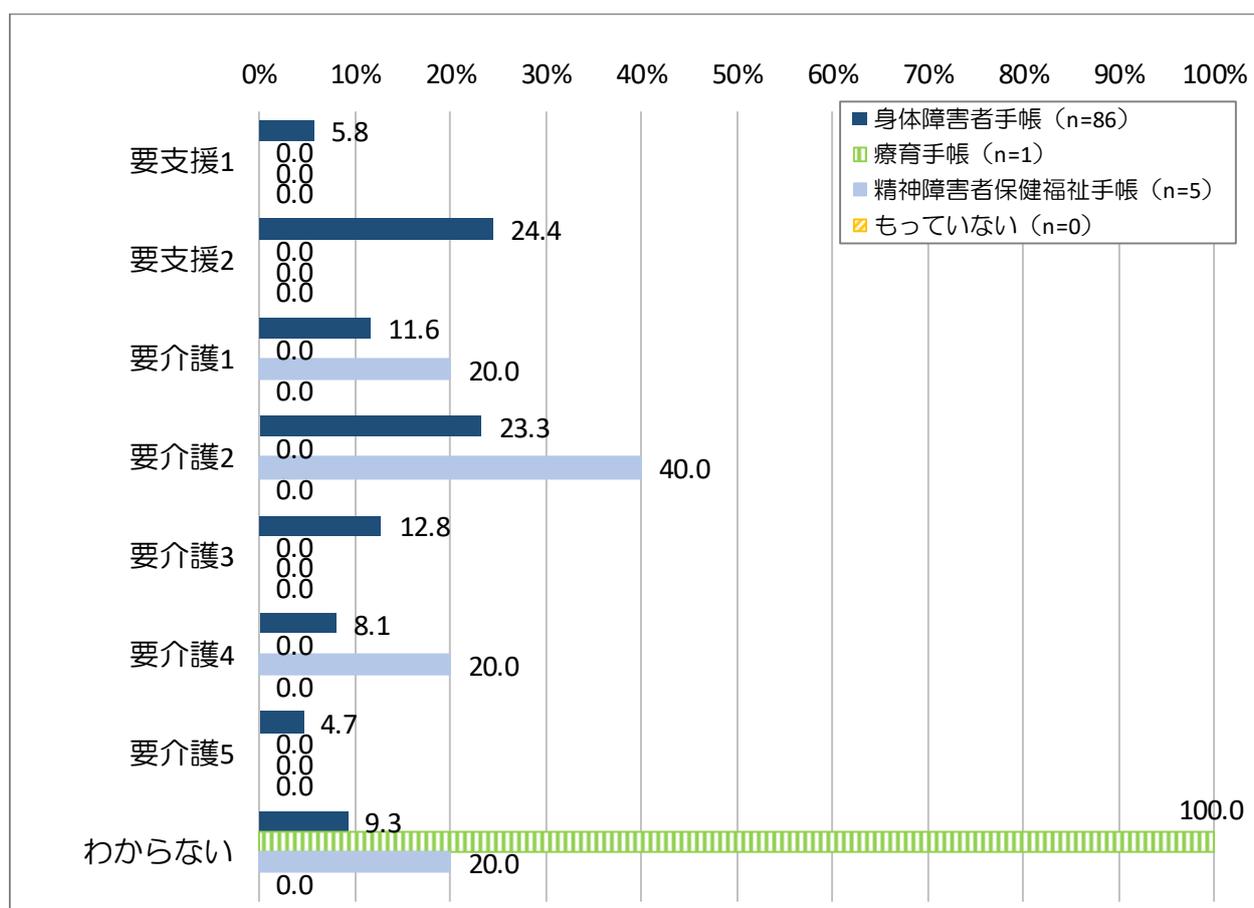
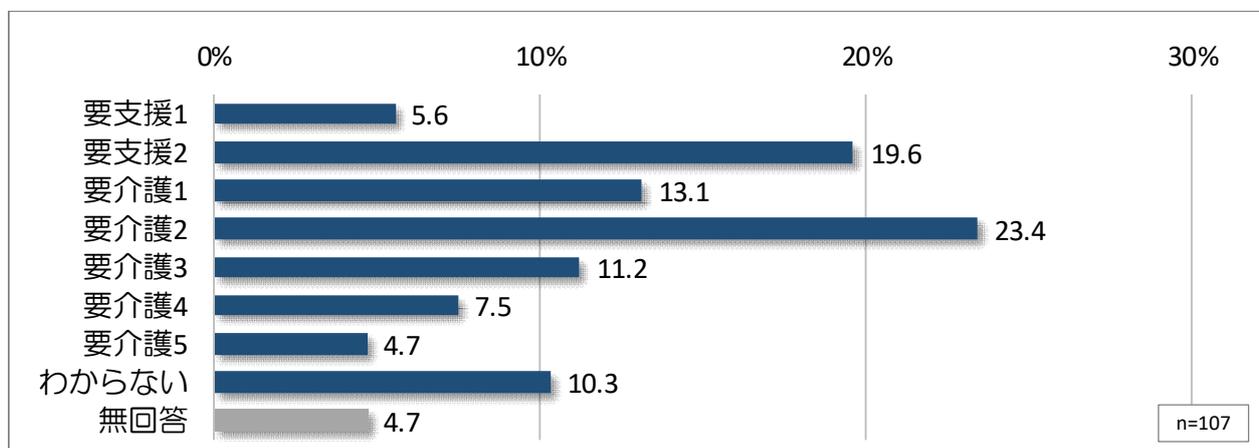


問 29 で「利用している」と回答した方にかがいます

問 30 要介護度

該当する要介護度はどれですか

「要介護 2」が 23.1%、「要支援 2」が 19.4%などとなっています。



問 31 サービスの利用状況と利用意向

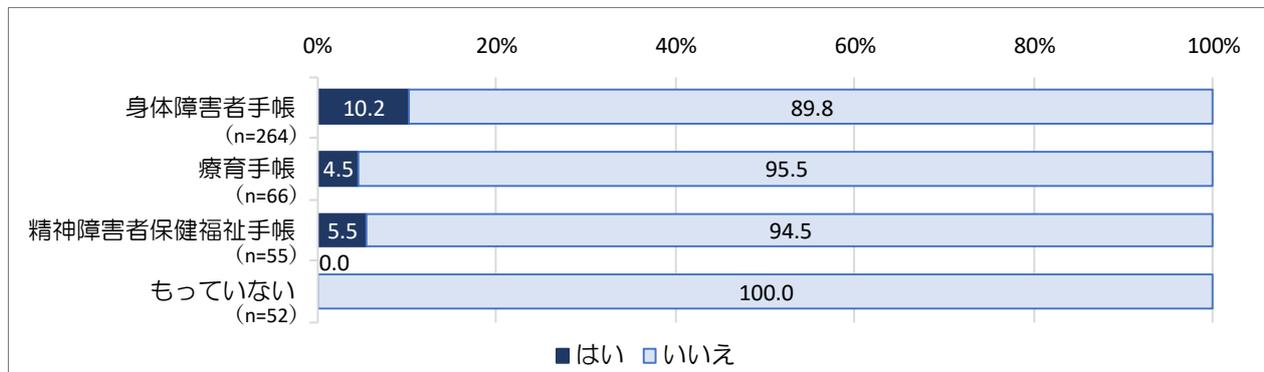
次のサービスを利用していますか、また、今後利用したいと考えますか

【障害福祉サービス】

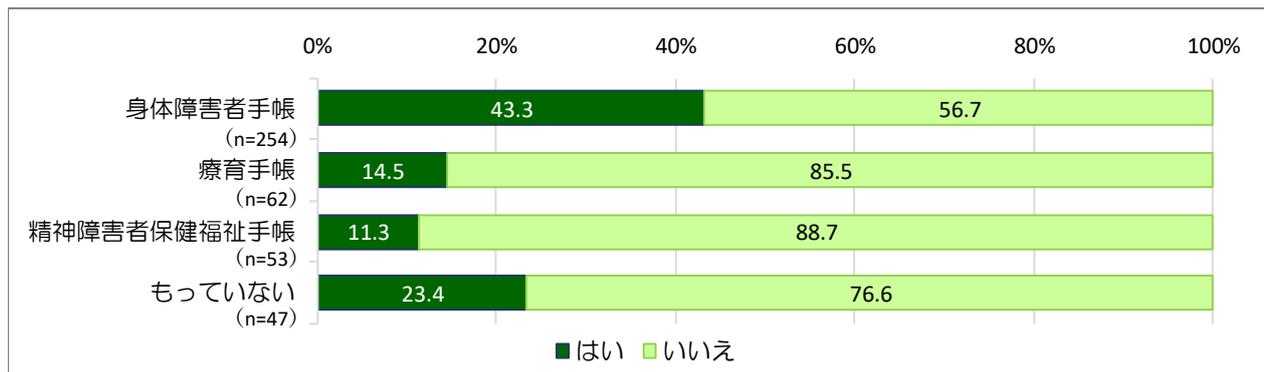
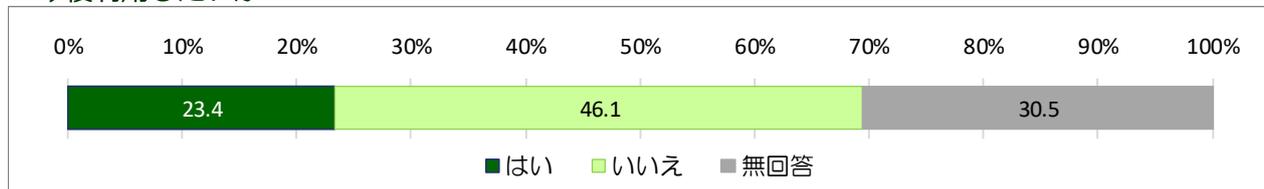
① 居宅介護（ホームヘルパー）

自宅で入浴や排泄、食事などの介助を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



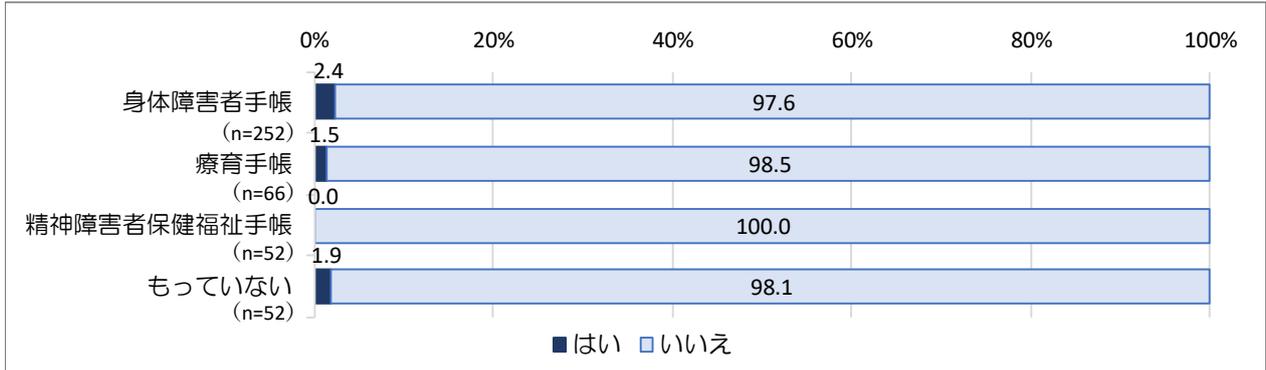
■ 今後利用したいか



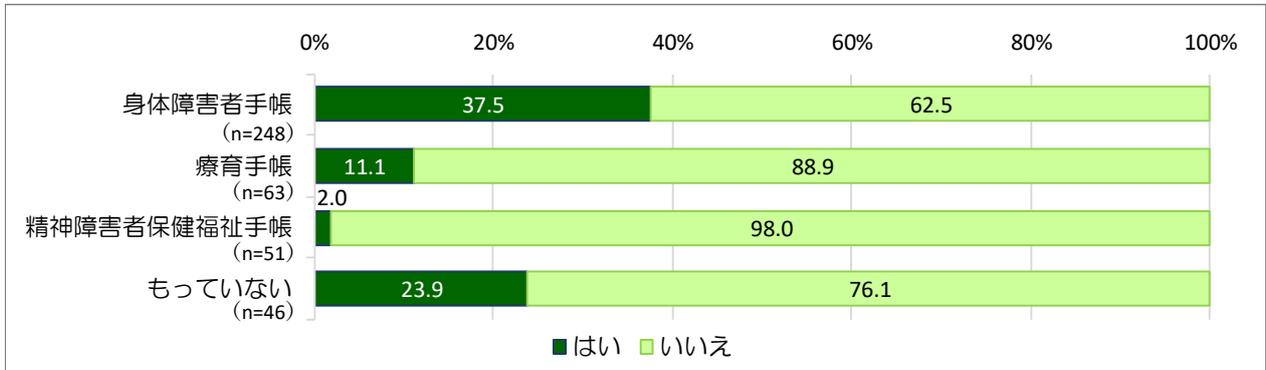
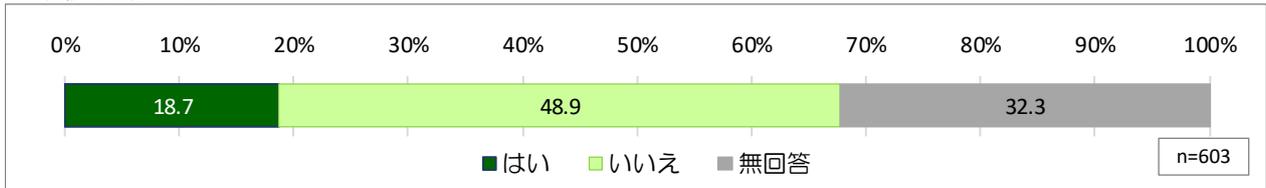
② 重度訪問介護

重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排泄、食事等の介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



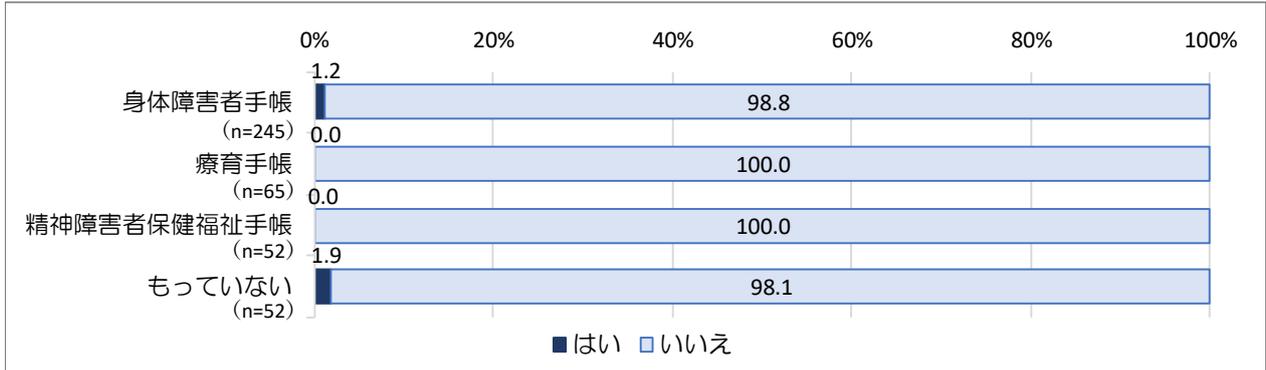
■ 今後利用したいか



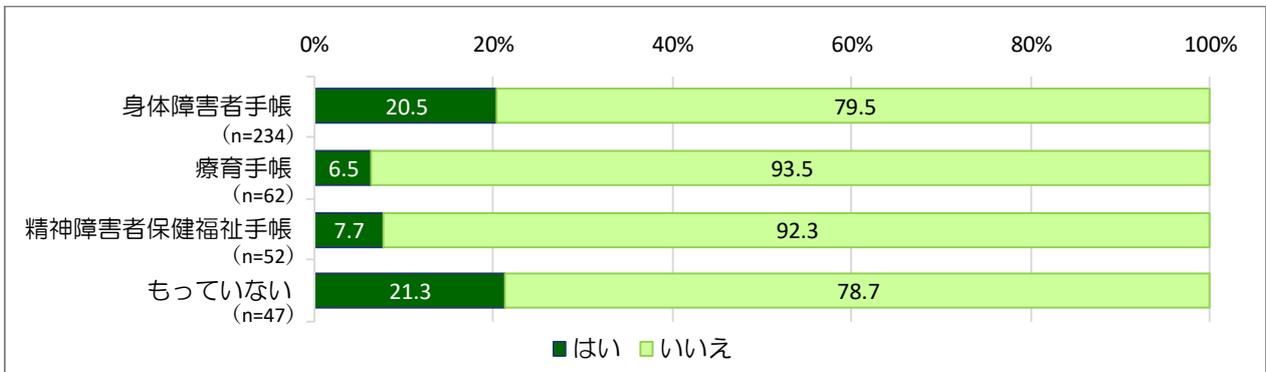
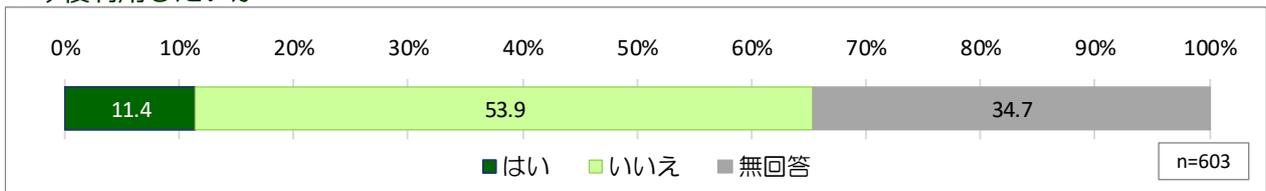
③ 同行援護

視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。

■ 現在利用しているか



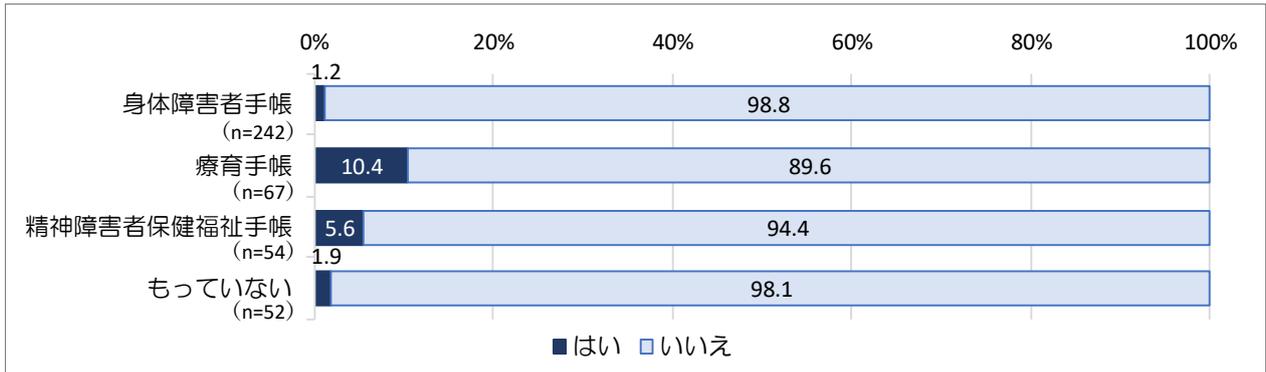
■ 今後利用したいか



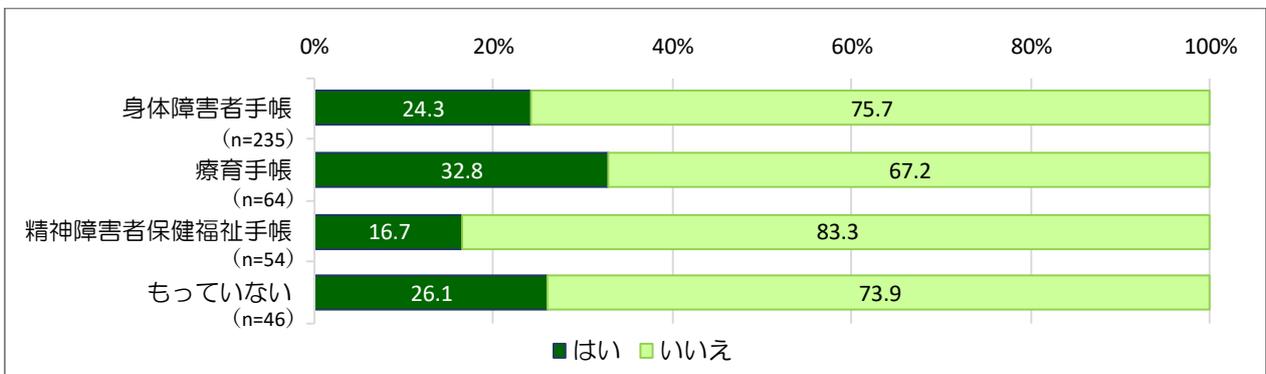
④ 行動援護

知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するときに必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。

■ 現在利用しているか



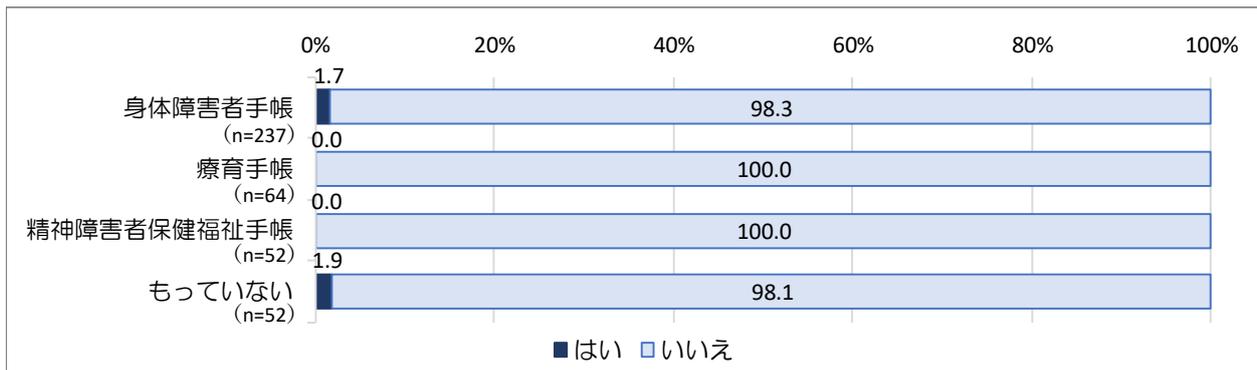
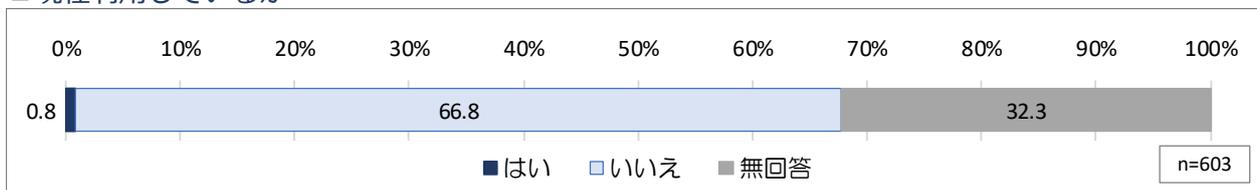
■ 今後利用したいか



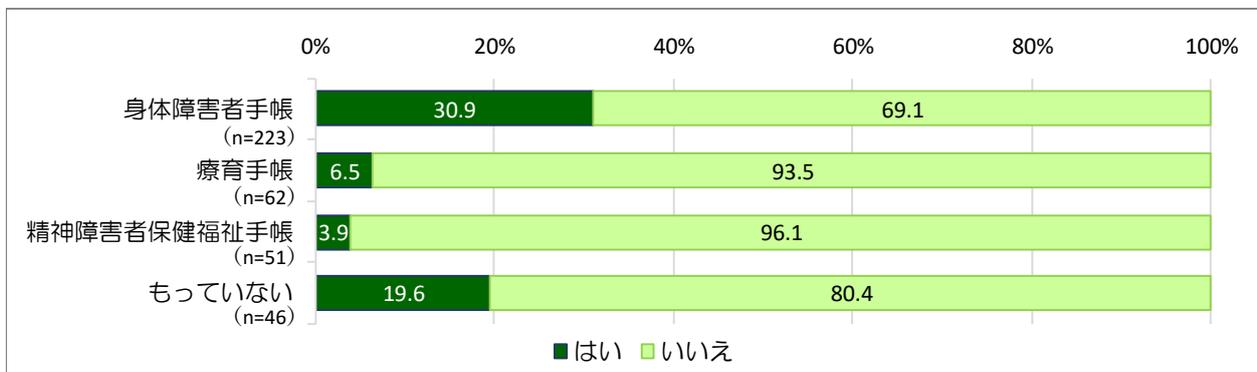
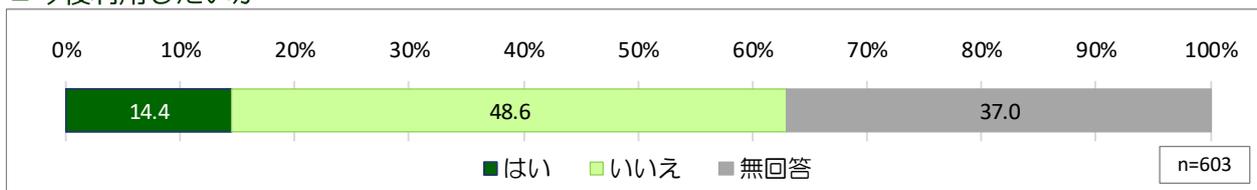
⑤ 重度障害者等包括支援

常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。

■ 現在利用しているか



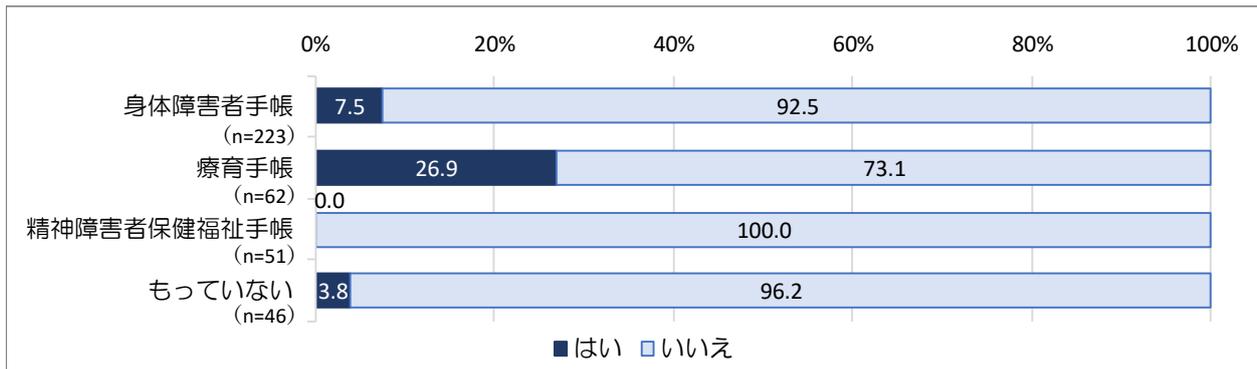
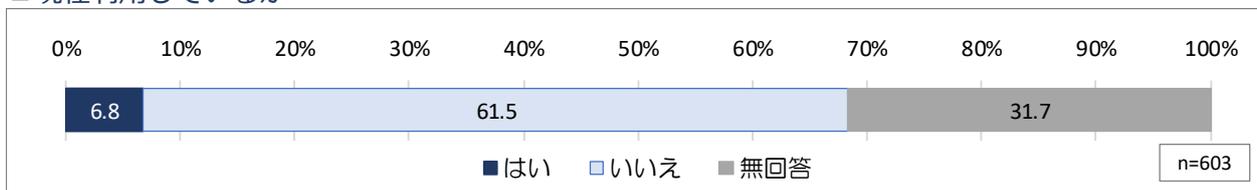
■ 今後利用したいか



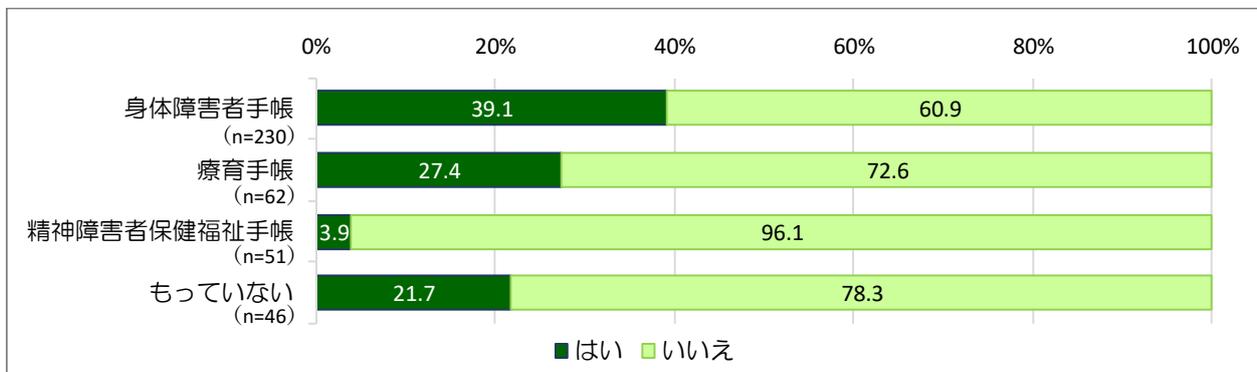
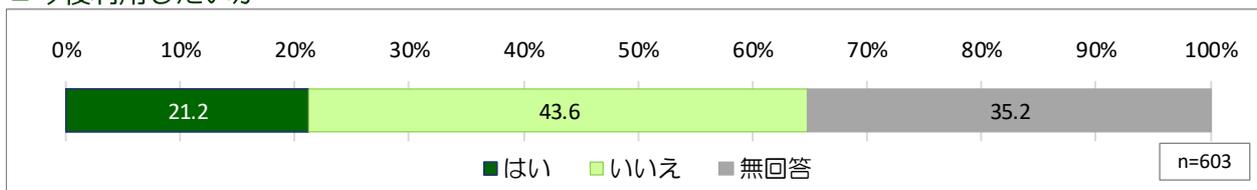
⑥ 生活介護

常に介護が必要な方に、施設で入浴や排泄、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。

■ 現在利用しているか



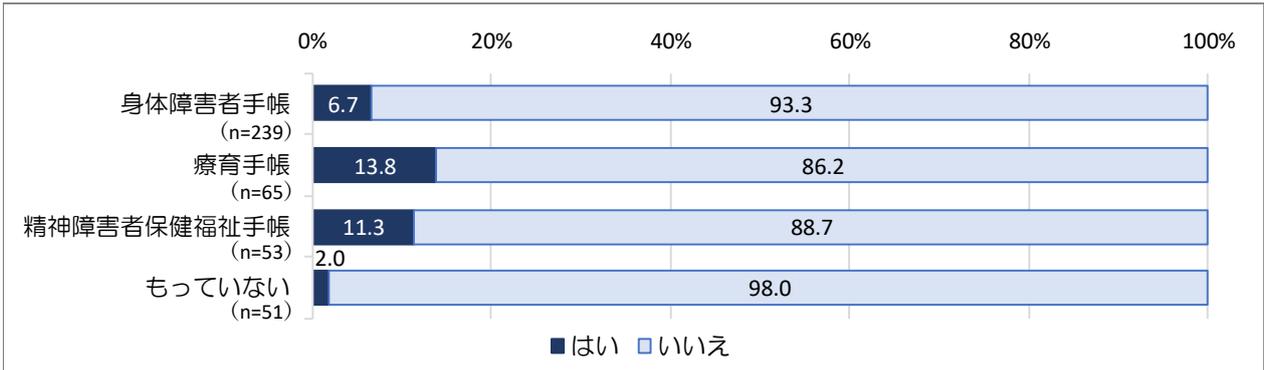
■ 今後利用したいか



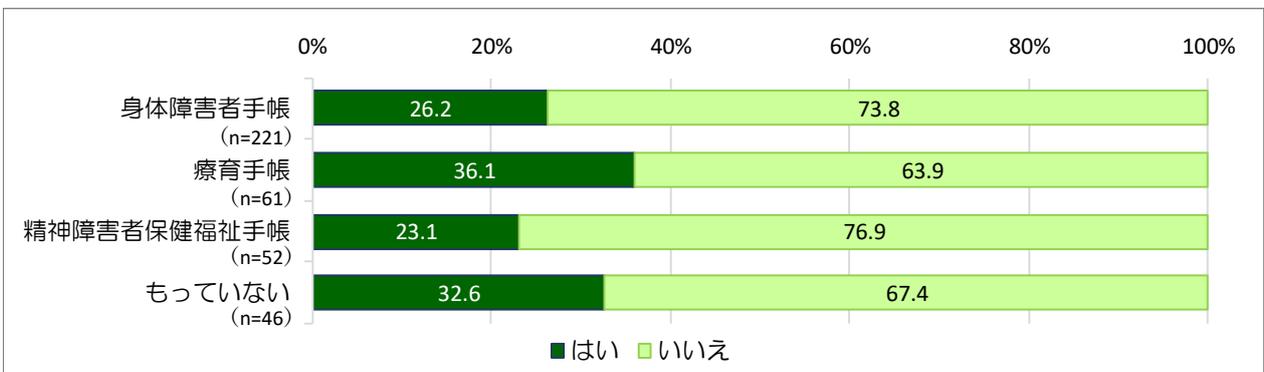
⑦ 自立訓練（機能訓練、生活訓練）

自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



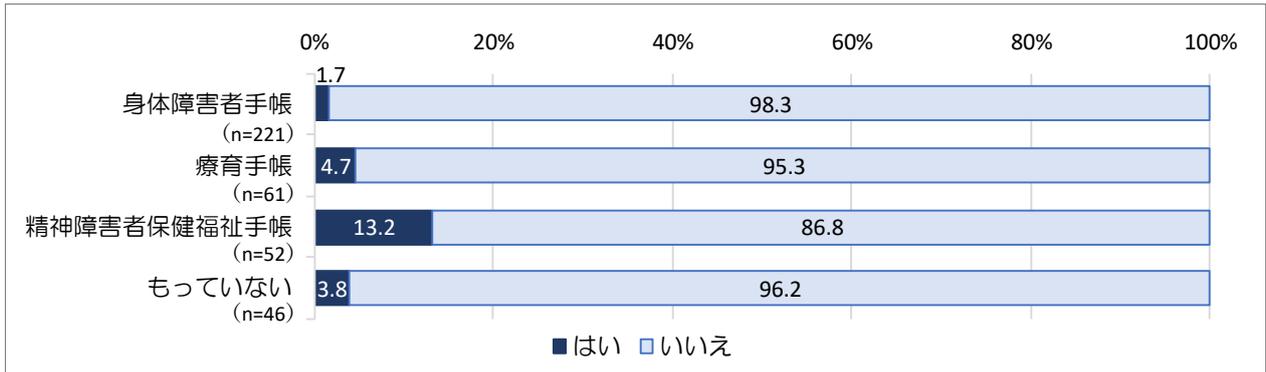
■ 今後利用したいか



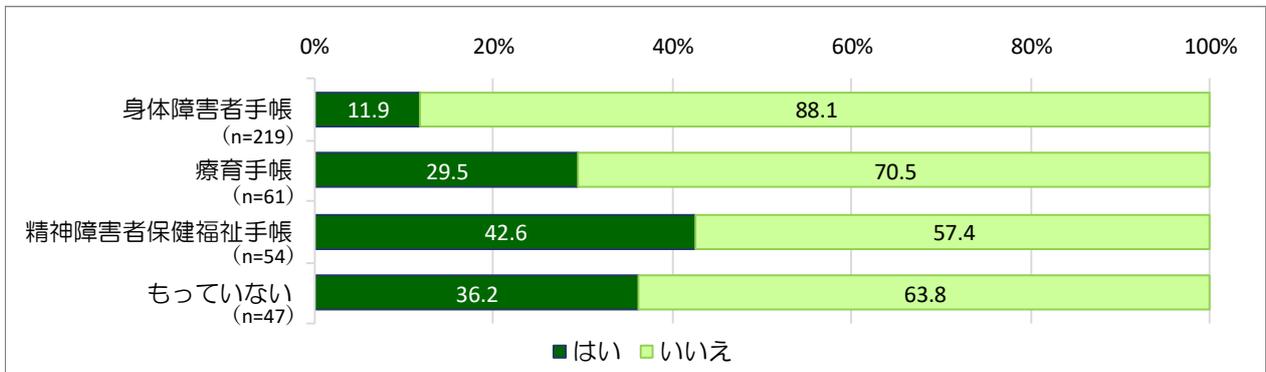
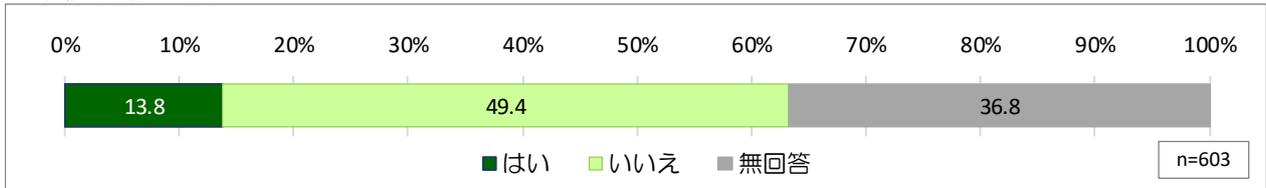
⑧ 就労移行訓練

通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識および能力の向上のための訓練を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



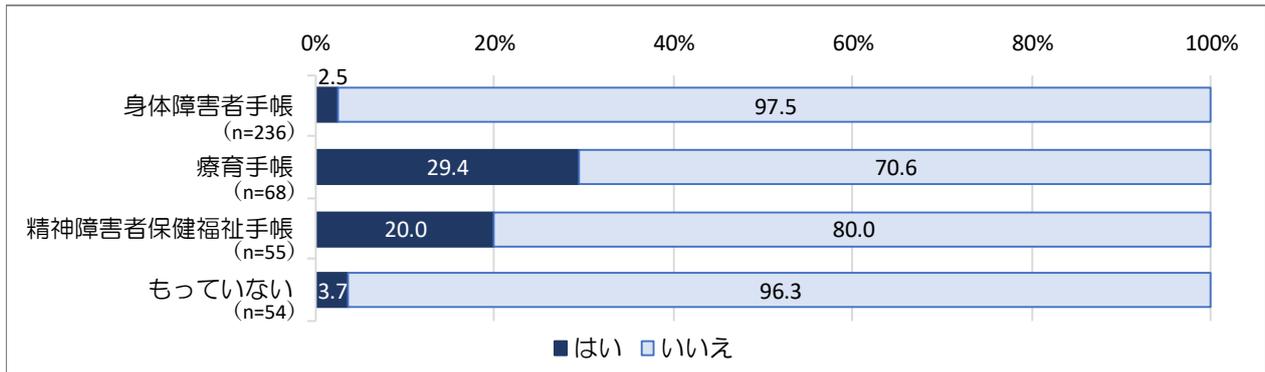
■ 今後利用したいか



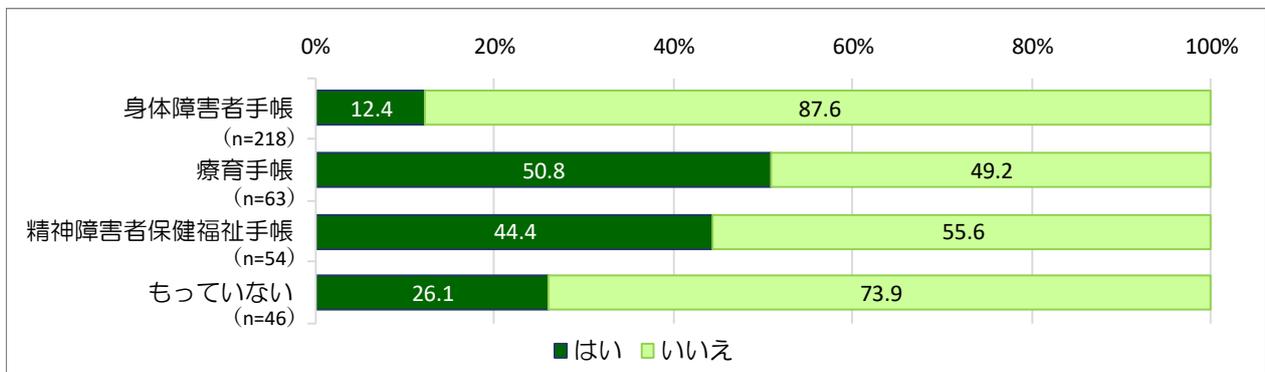
⑨ 就労継続支援（A型、B型）

通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動、その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



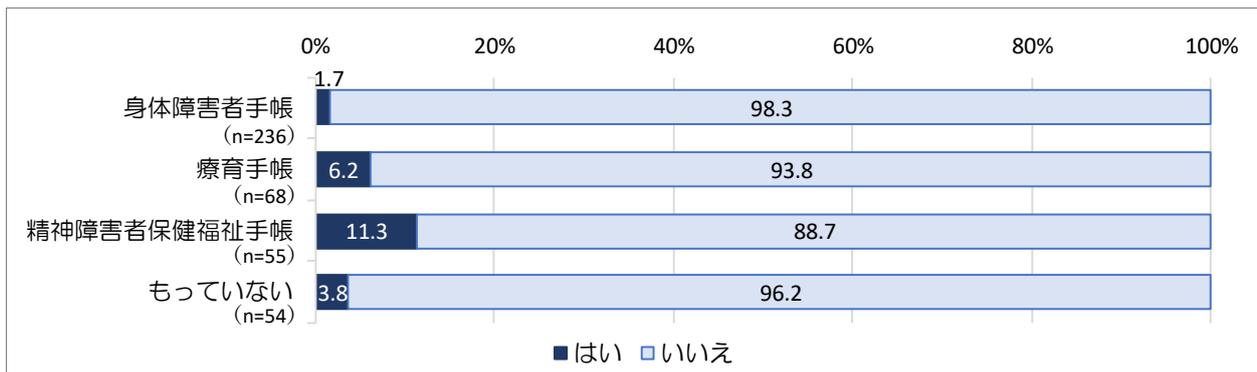
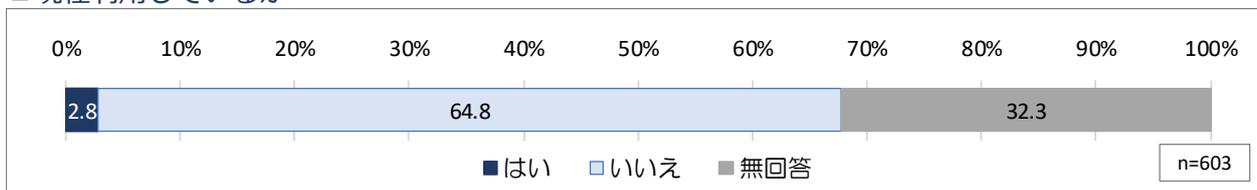
■ 今後利用したいか



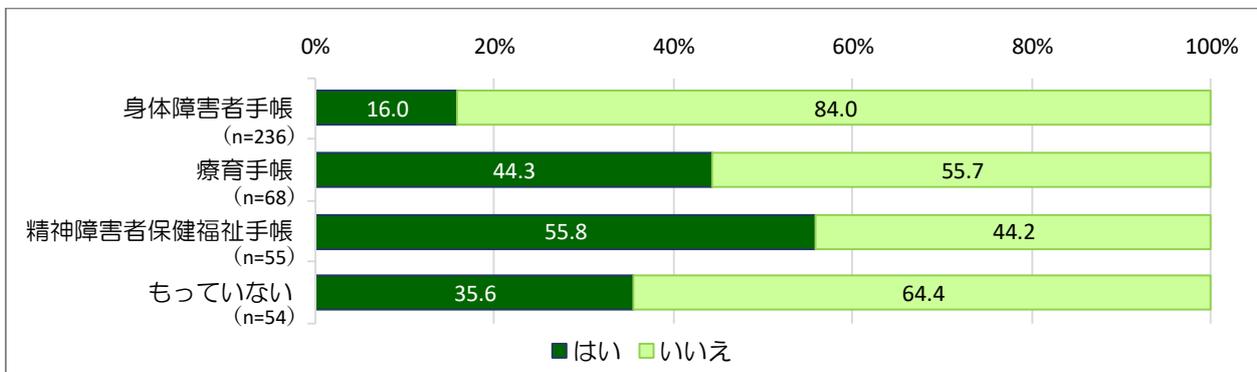
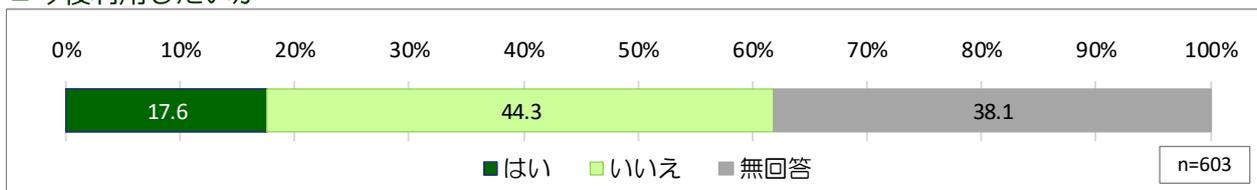
⑩ 就労定着支援

障害者の就労や就労に伴って生じている生活面での課題を解決し、長く働き続けられるようサポートする支援です。

■ 現在利用しているか



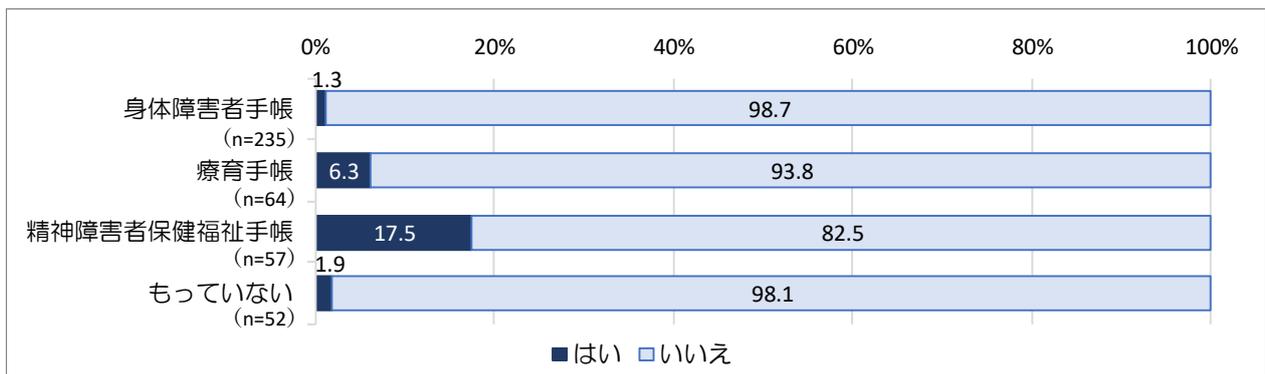
■ 今後利用したいか



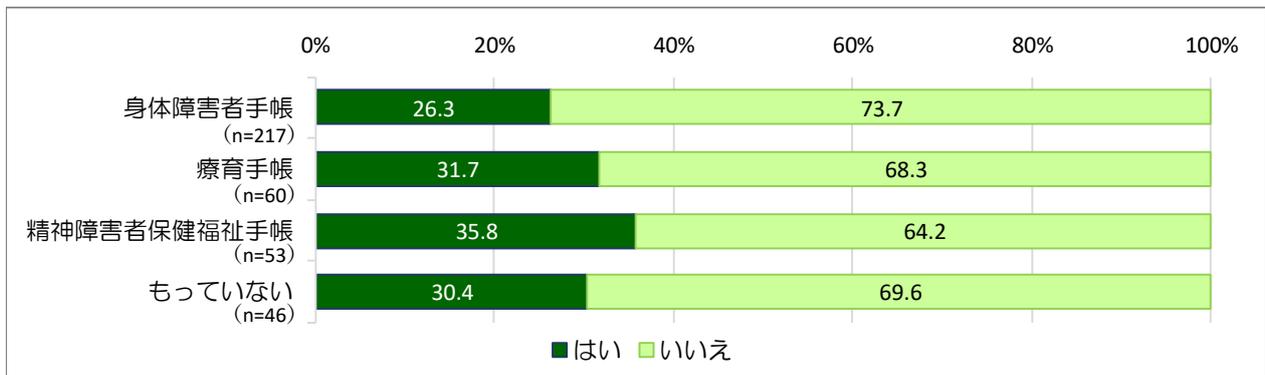
⑪ 自立生活援助

施設またはグループホームを利用していた障害者で、地域での一人暮らしを希望する人に、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、定期的な巡回訪問や相談対応に必要な情報の提供や助言等の援助を行うサービスです。

■現在利用しているか



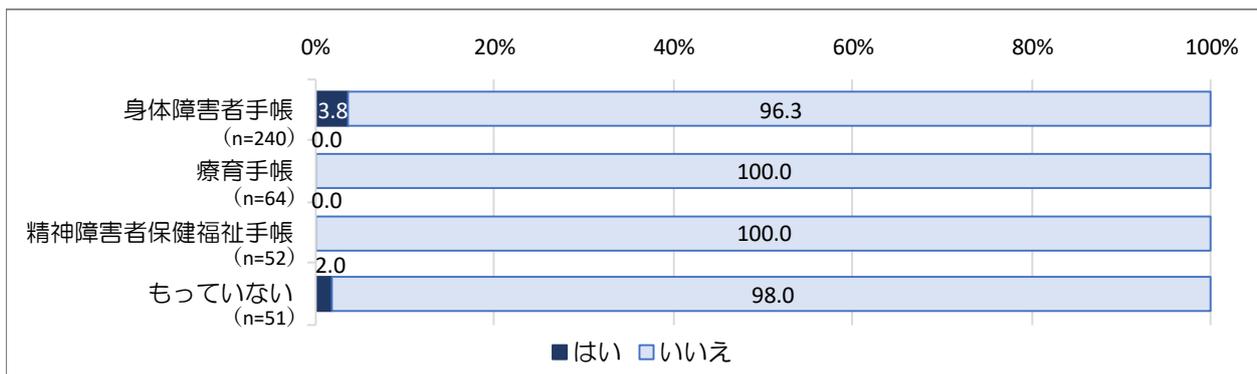
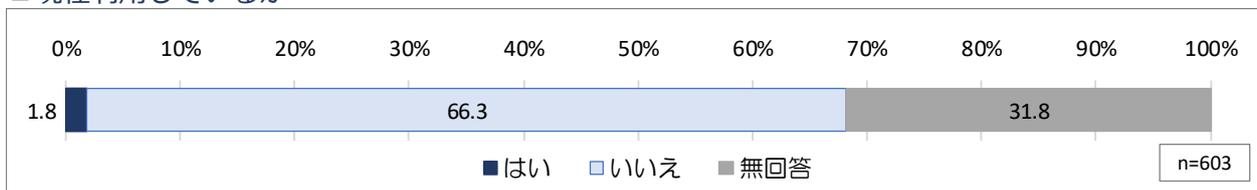
■今後利用したいか



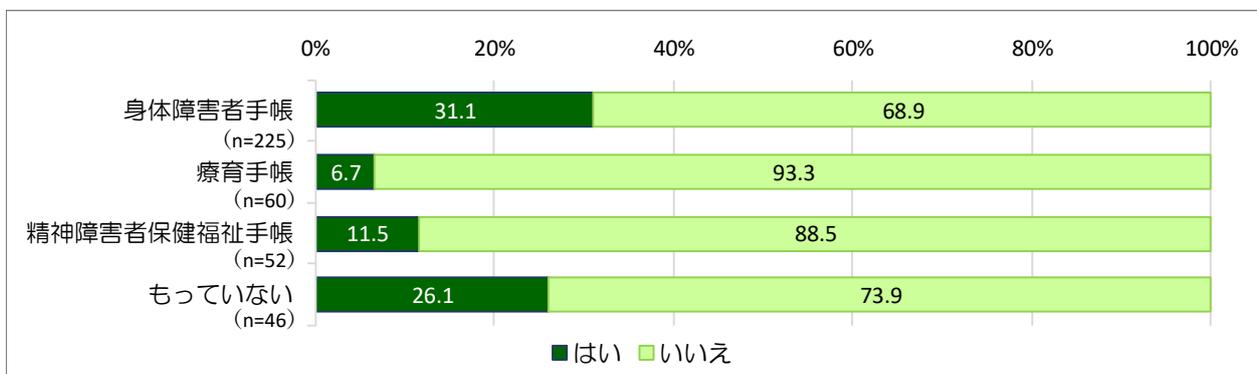
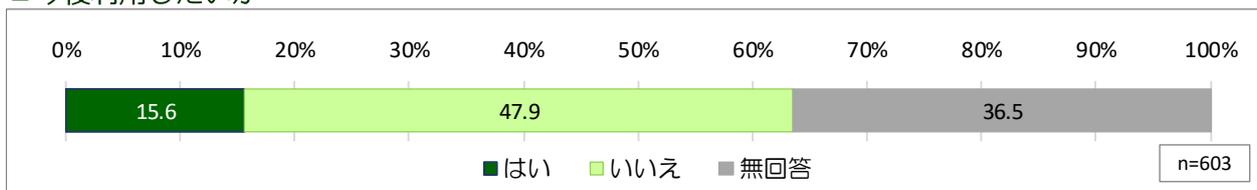
⑫ 療養介護

医療が必要な方で、常に介護が必要な方に、主に昼間に病院等で機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。

■ 現在利用しているか



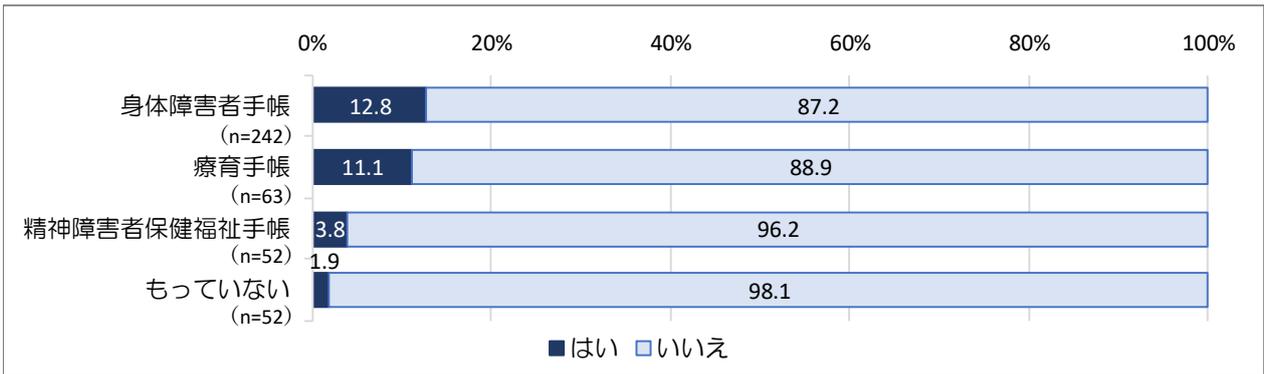
■ 今後利用したいか



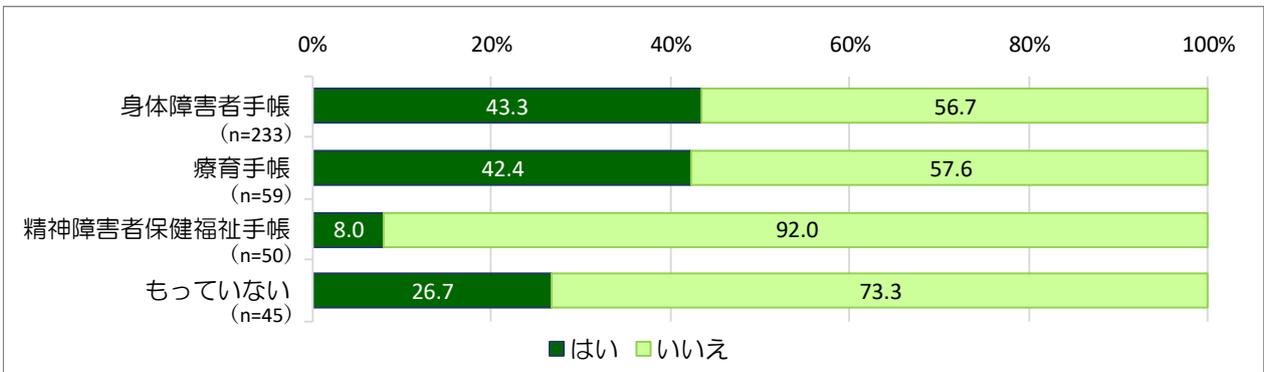
⑬ 短期入所（ショートステイ）

在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場合などに、障害者（児）が施設に短期入所し、入浴、排泄、食事の介助などを行うサービスです。

■ 現在利用しているか



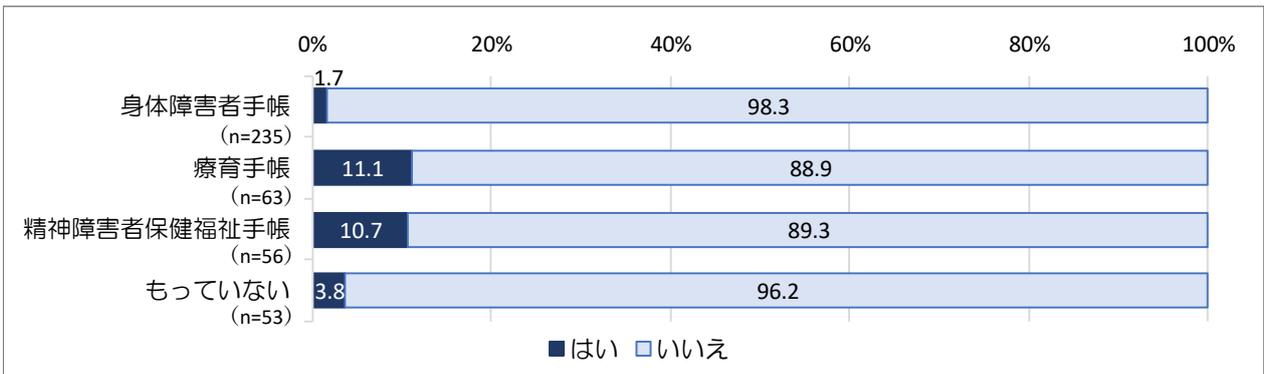
■ 今後利用したいか



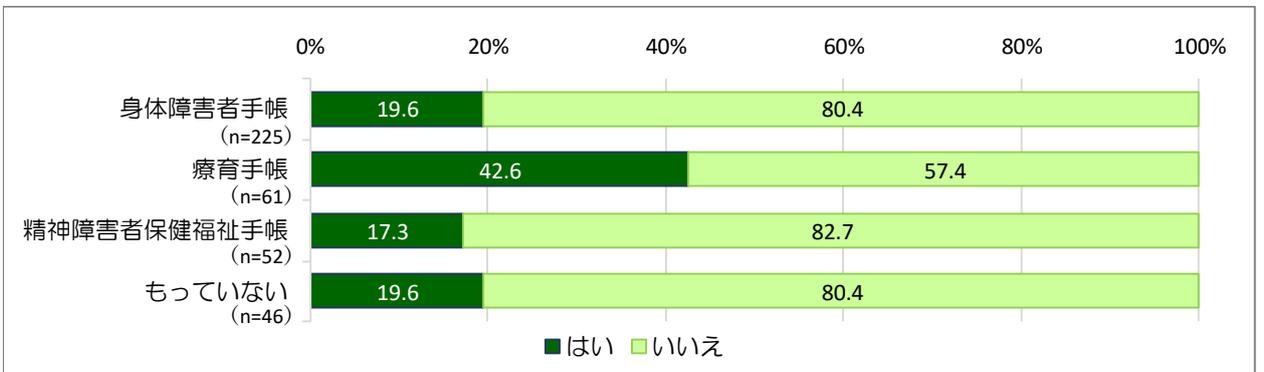
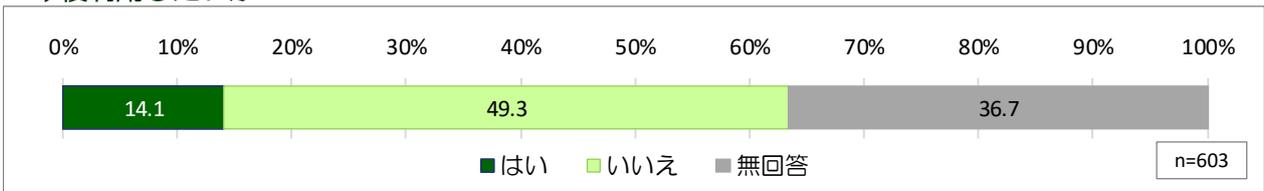
⑭ 共同生活援助（グループホーム）

夜間や休日に共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



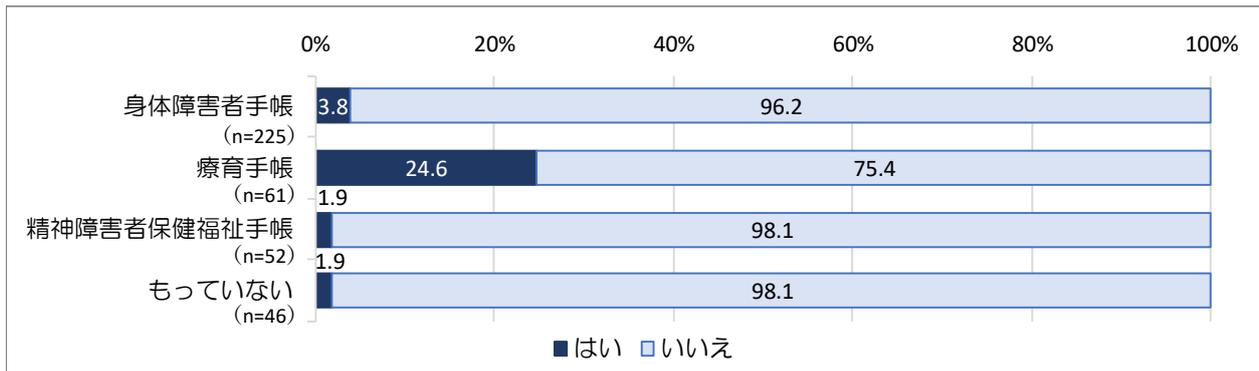
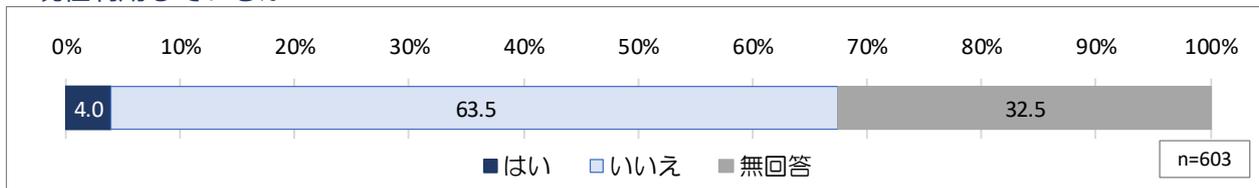
■ 今後利用したいか



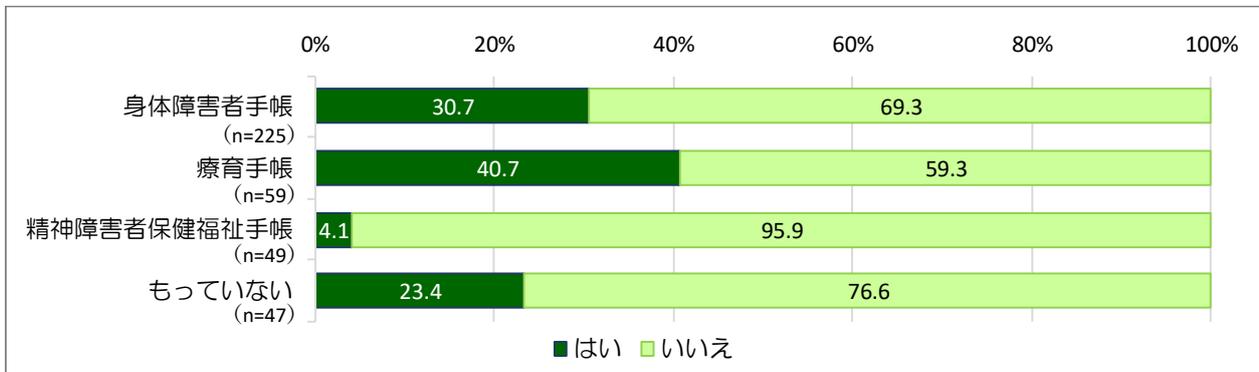
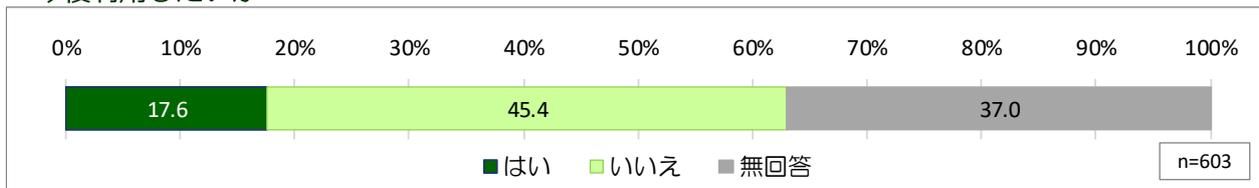
⑮ 施設入所支援

主として夜間、施設に入所する障害者（児）に対し、入浴、排泄、食事の介助などの支援を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



■ 今後利用したいか

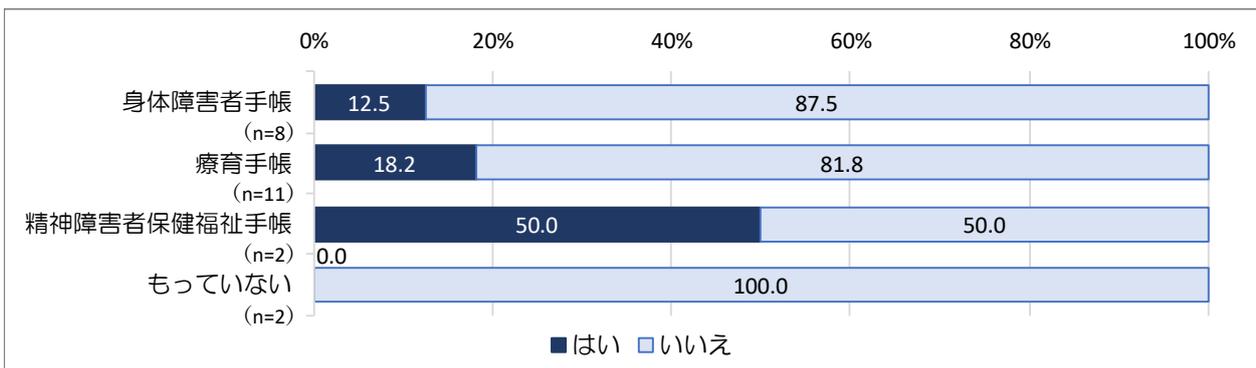
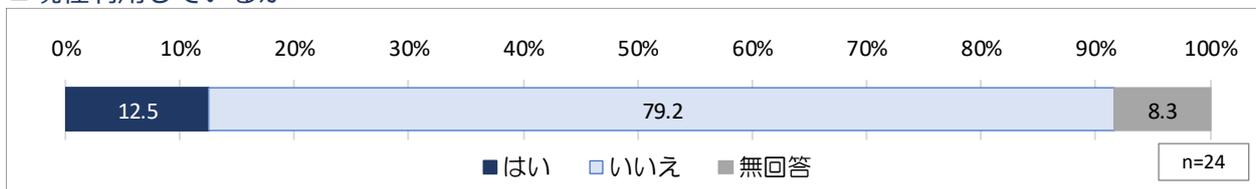


【障害児福祉サービスなど】

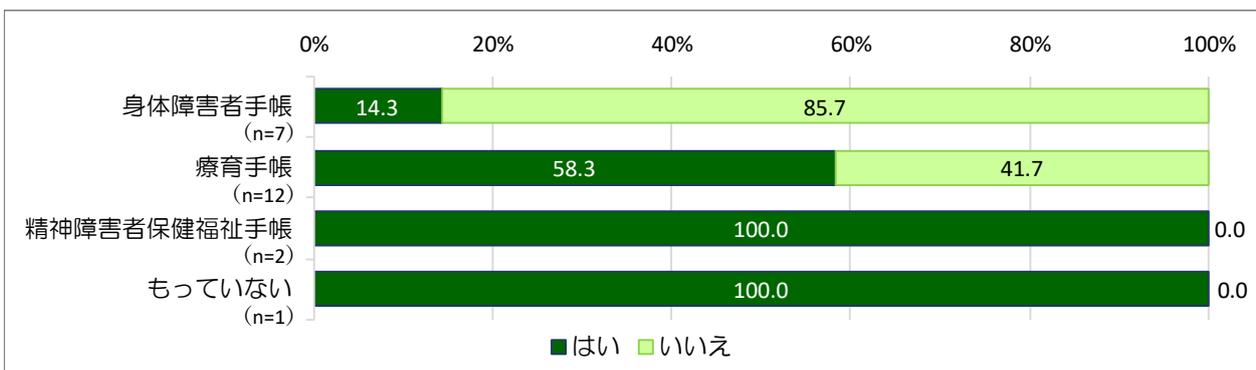
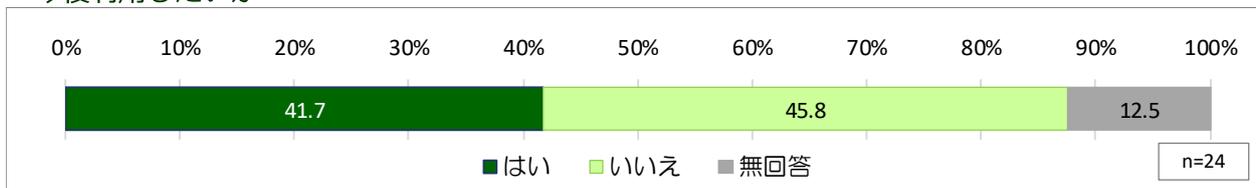
⑩ 児童発達支援（通所型）

日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



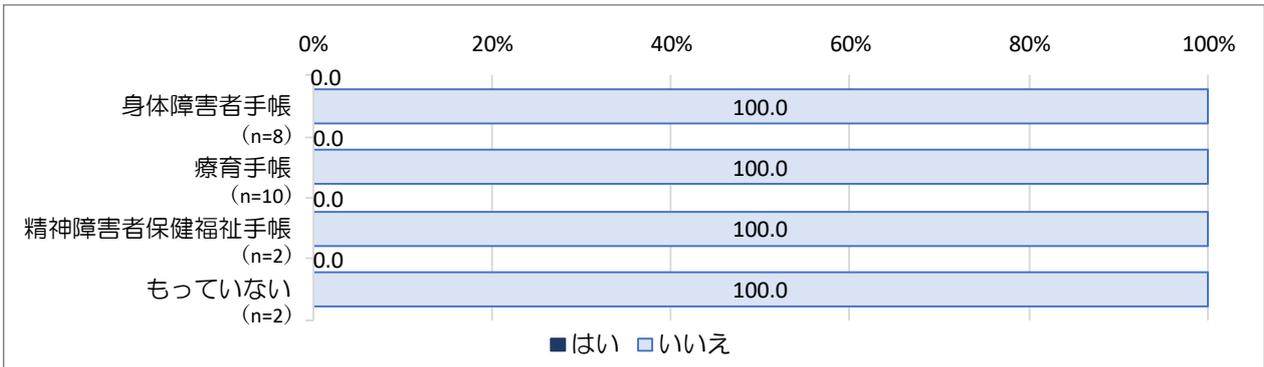
■ 今後利用したいか



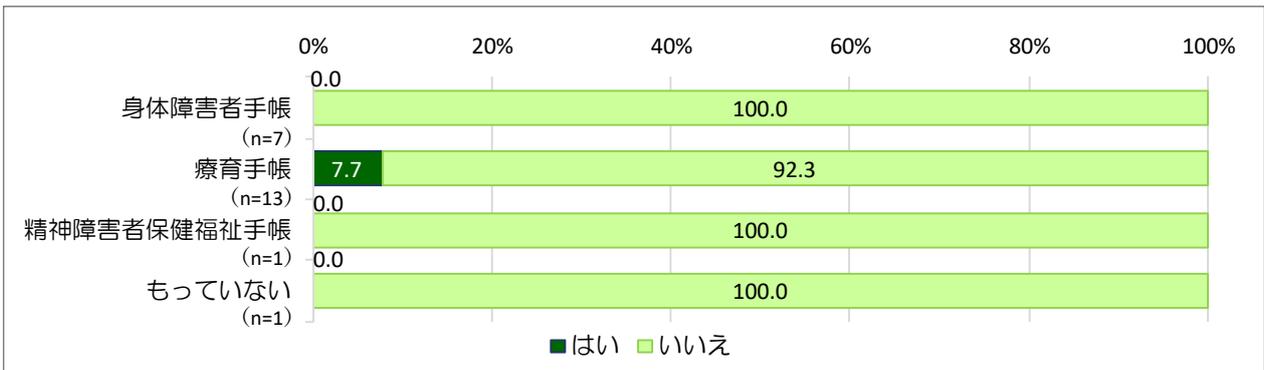
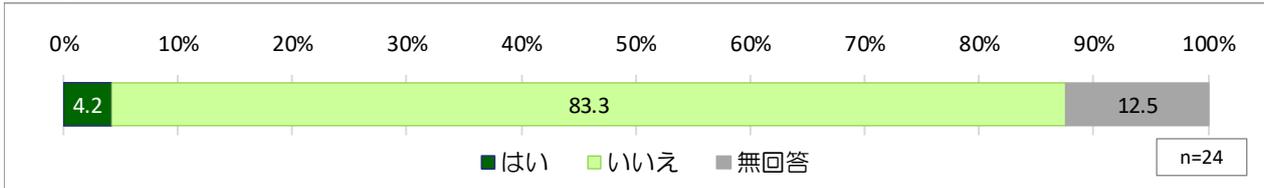
⑰ 居宅訪問型児童発達支援

外出することが著しく困難な障害児に対して、発達支援が提供できるよう、障害児の居宅を訪問して日常生活での基本的な動作の指導、知識技能の付与などの支援を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



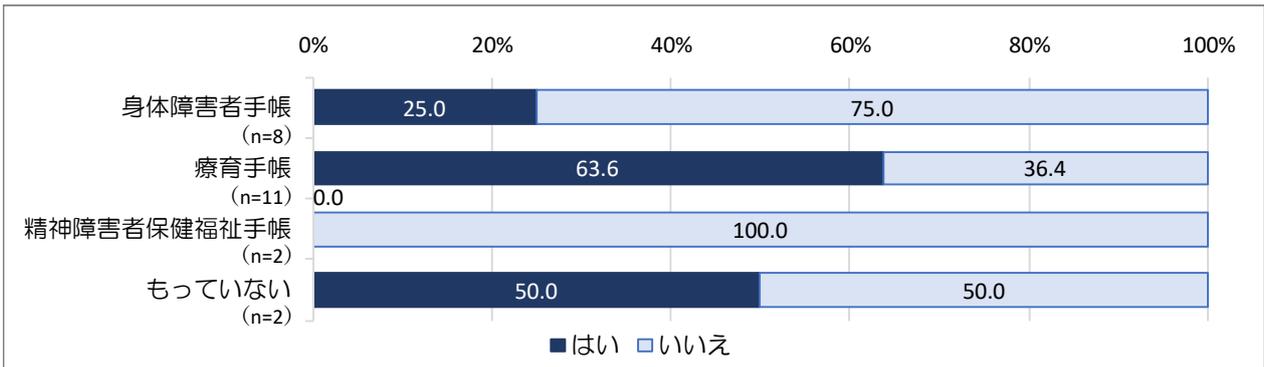
■ 今後利用したいか



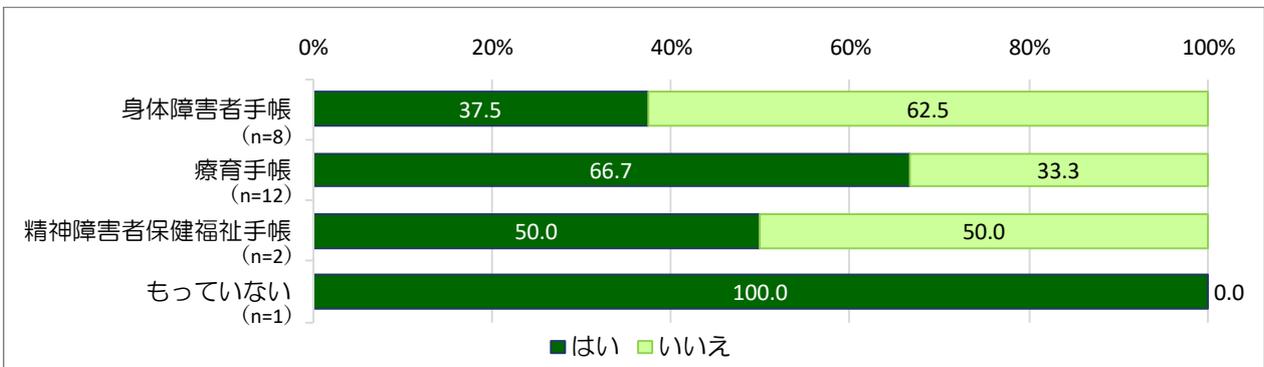
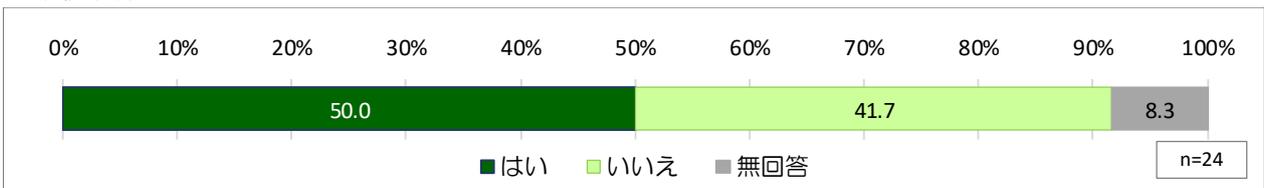
⑱ 放課後等デイサービス

学校の授業終了後や学校の休校日に通所等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。

■ 現在利用しているか



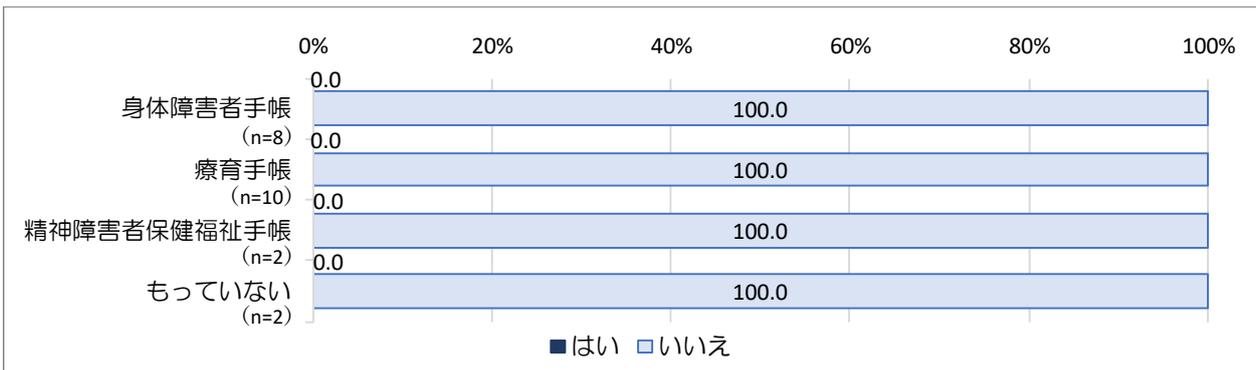
■ 今後利用したいか



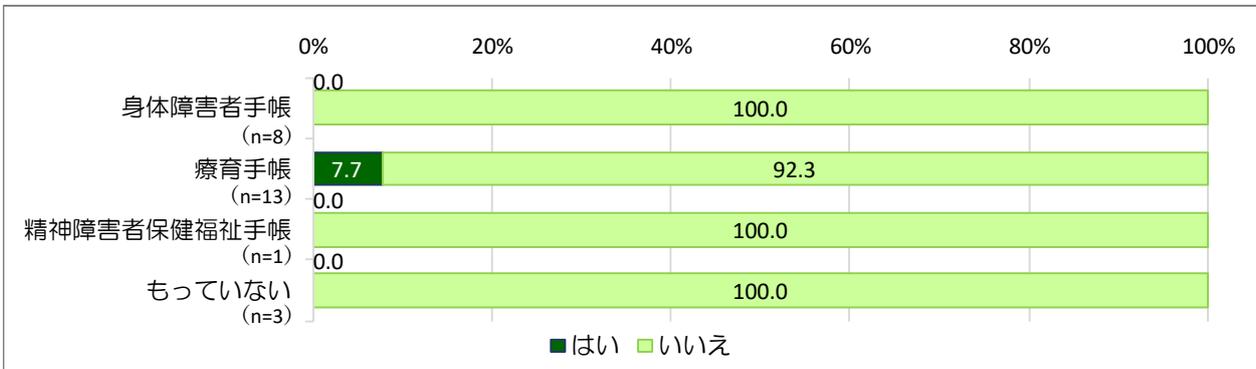
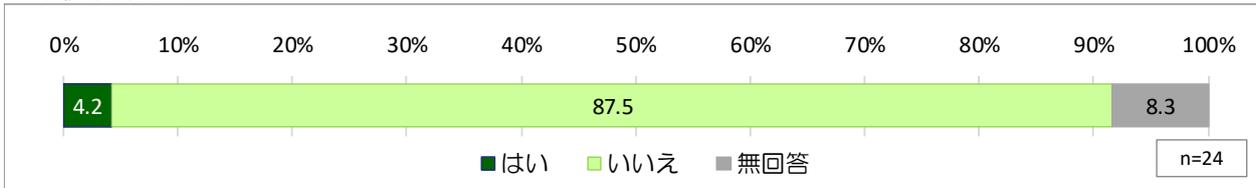
⑭ 保育所等訪問支援

保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行います。

■ 現在利用しているか



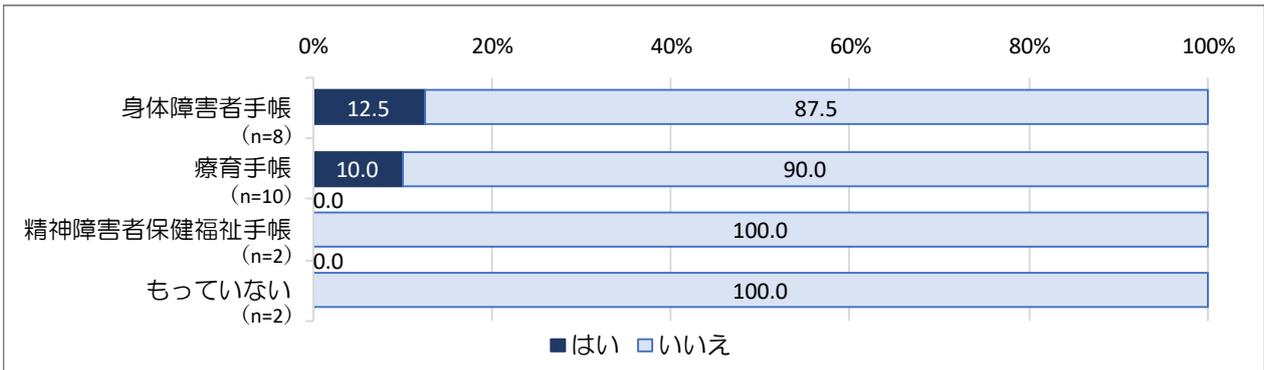
■ 今後利用したいか



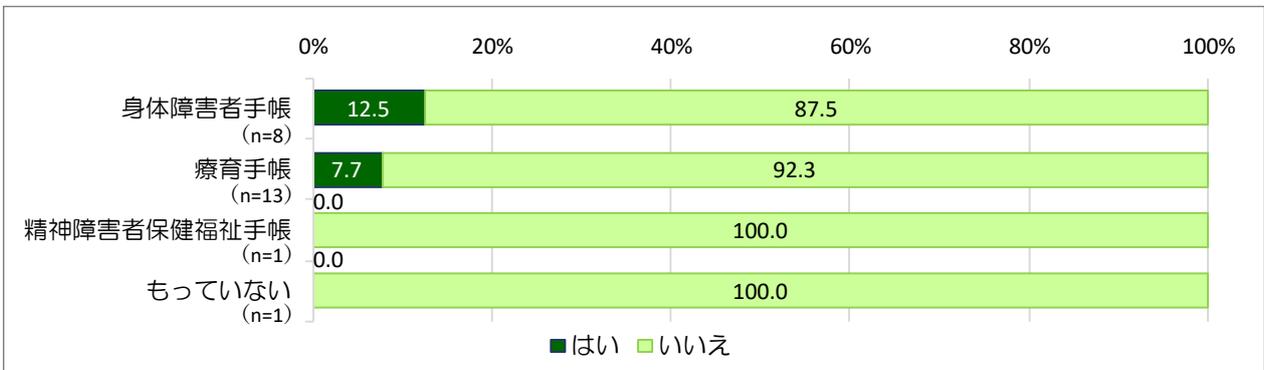
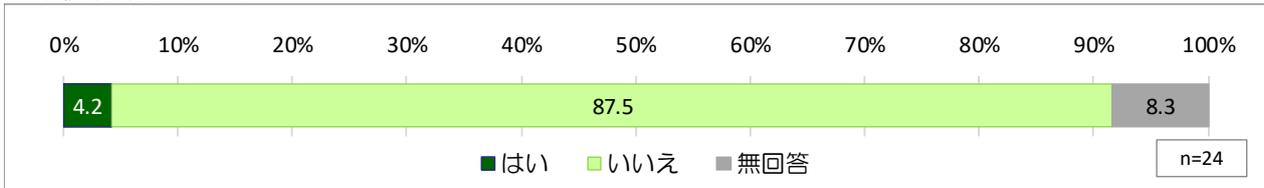
⑳ 軽・中等度聴覚障害支援

身体障害者手帳の交付対象とならない、軽・中等度難聴児のコミュニケーション能力の向上や言語の発達を目的に補聴器購入費の助成を行います。

■ 現在利用しているか



■ 今後利用したいか

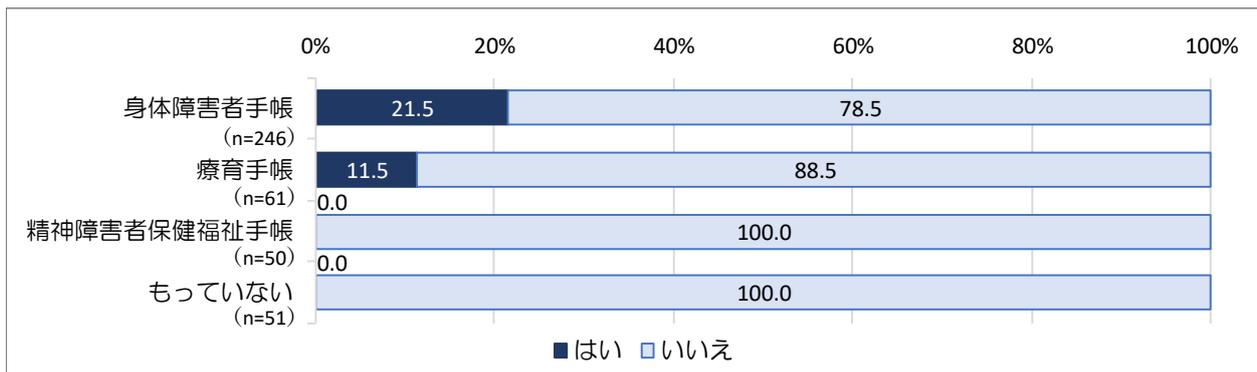


【地域生活支援事業など】

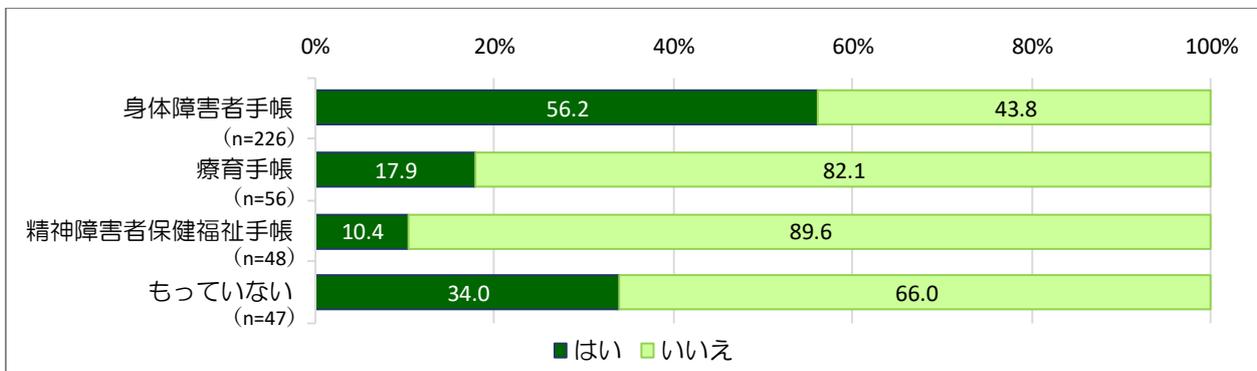
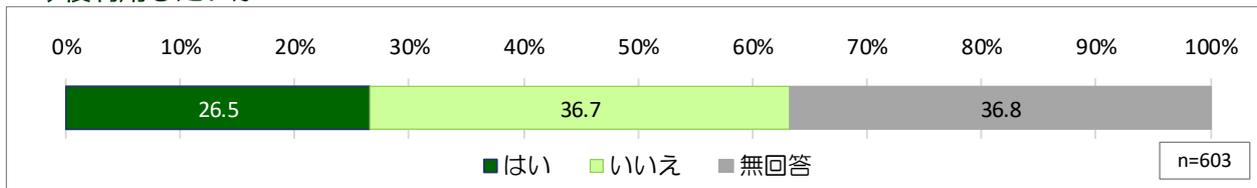
② 補装具

車いすや補聴器等の補装具を支給します。

■ 現在利用しているか



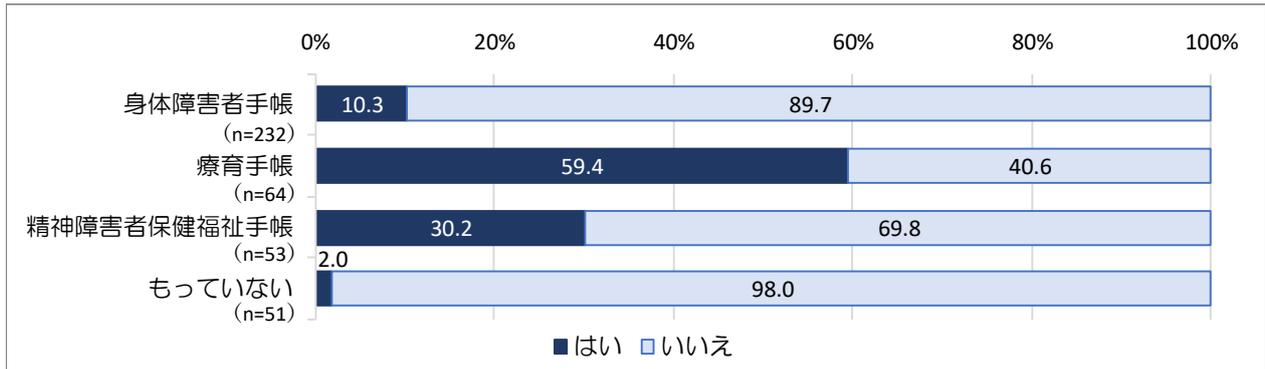
■ 今後利用したいか



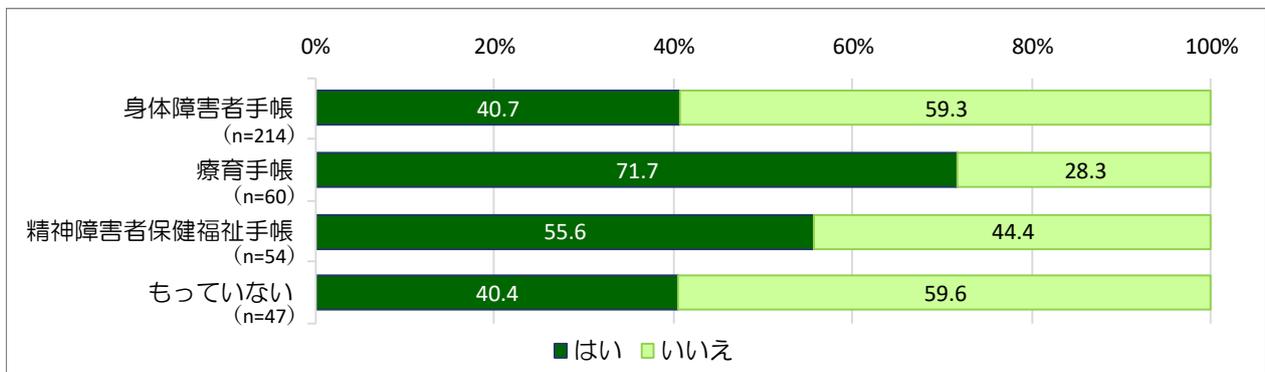
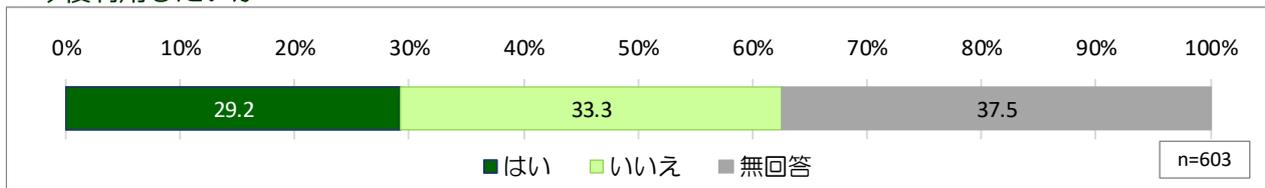
② 相談支援

障害者（児）等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。

■ 現在利用しているか



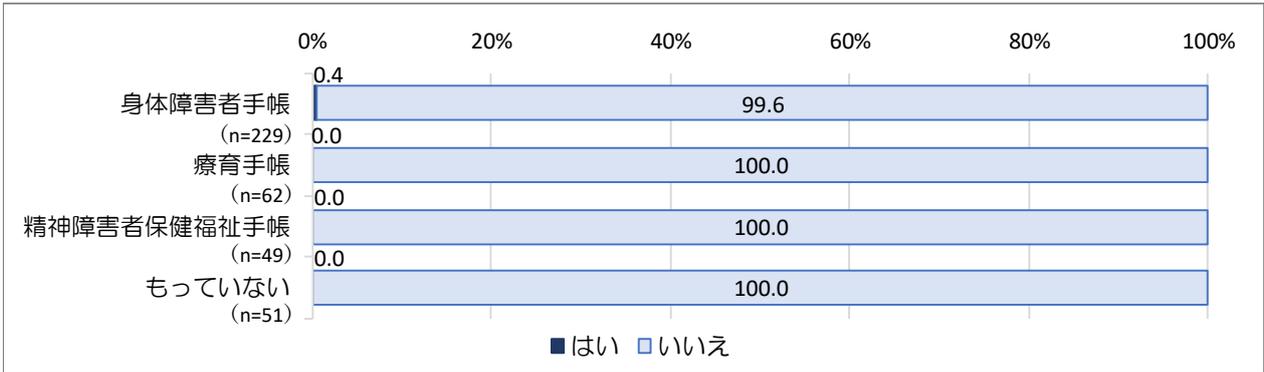
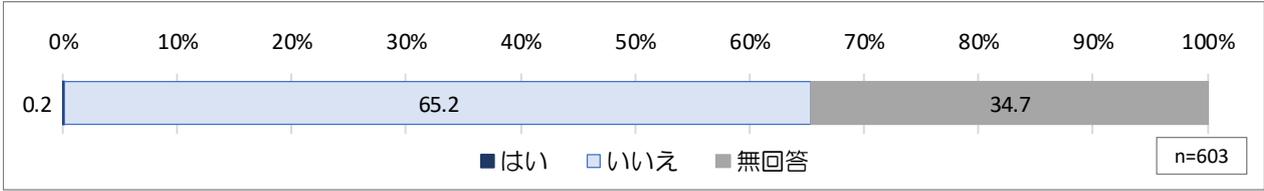
■ 今後利用したいか



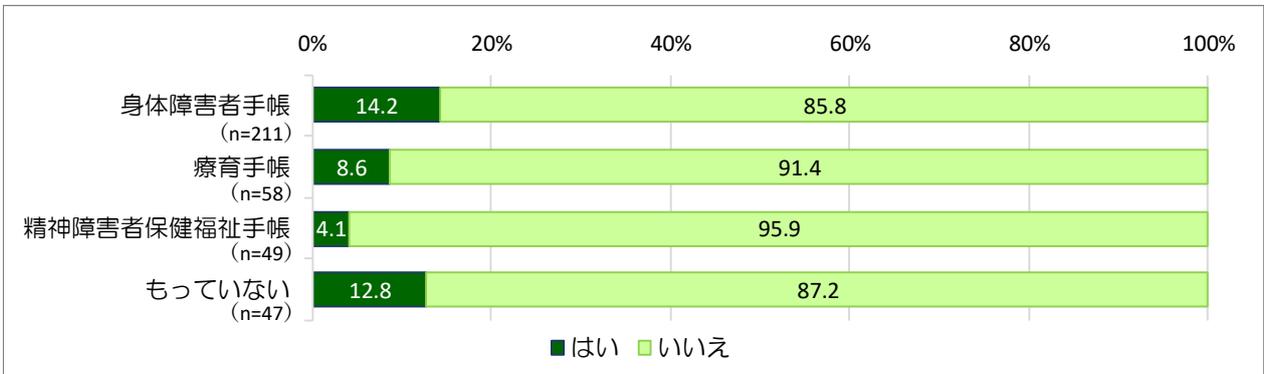
② コミュニケーション支援

意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者等を派遣します。

■ 現在利用しているか



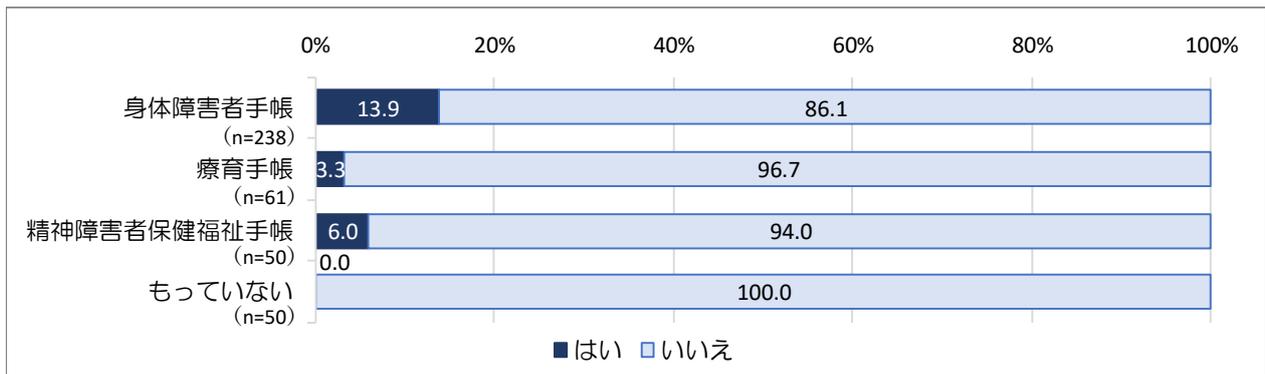
■ 今後利用したいか



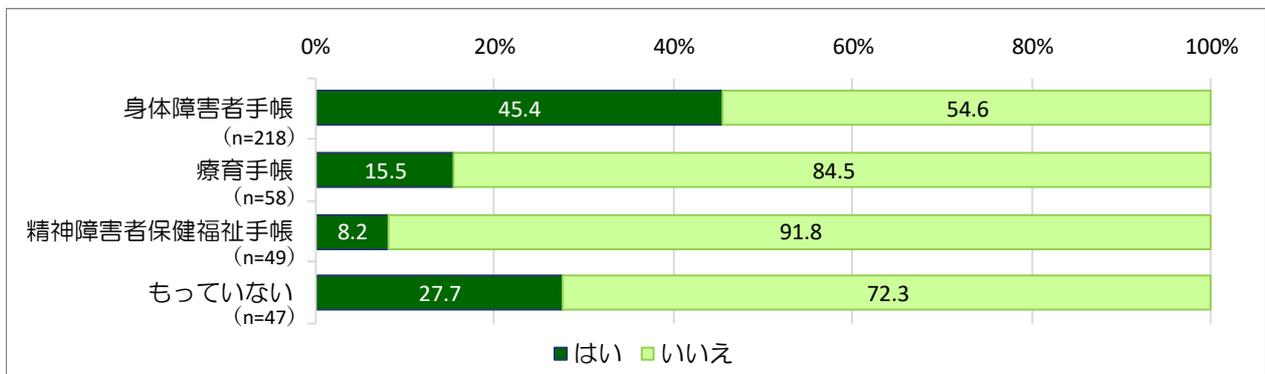
⑳ 日常生活用具給付または貸与

重度障害者に対し、自立支援用具の給付・貸与を行います。

■ 現在利用しているか



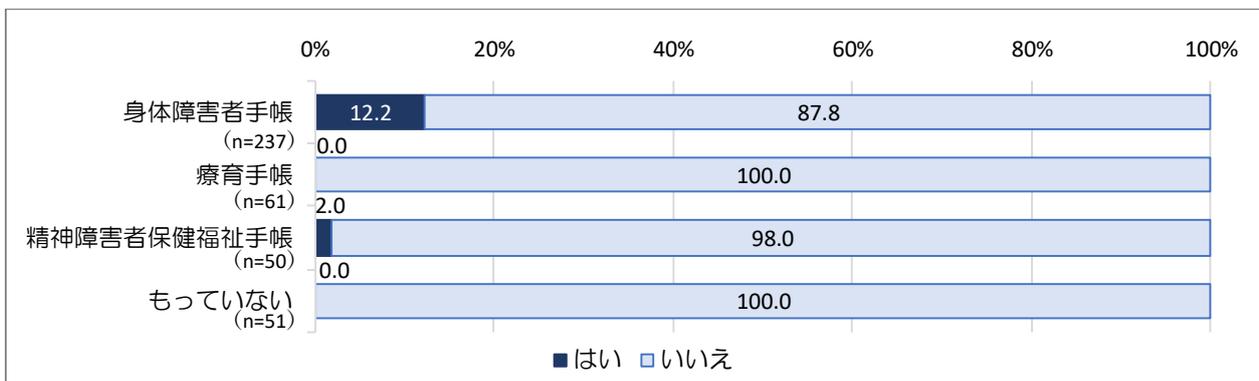
■ 今後利用したいか



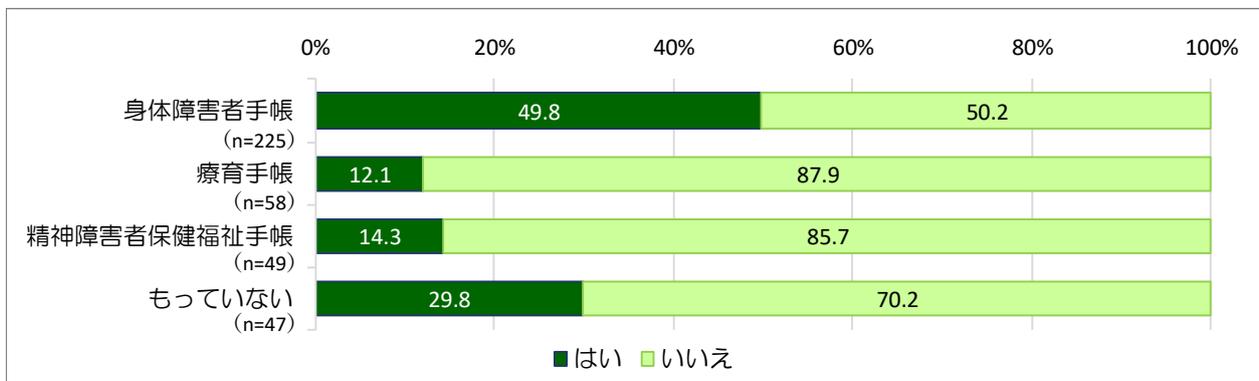
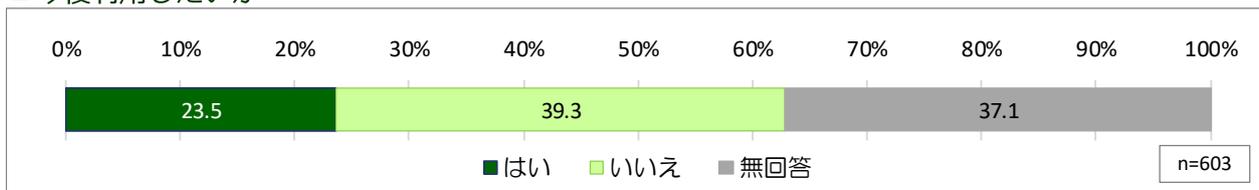
㊦ 住宅改修費給付

在宅の重度身体障害者等が段差解消など住宅改修する際の工事費を給付します。

■ 現在利用しているか



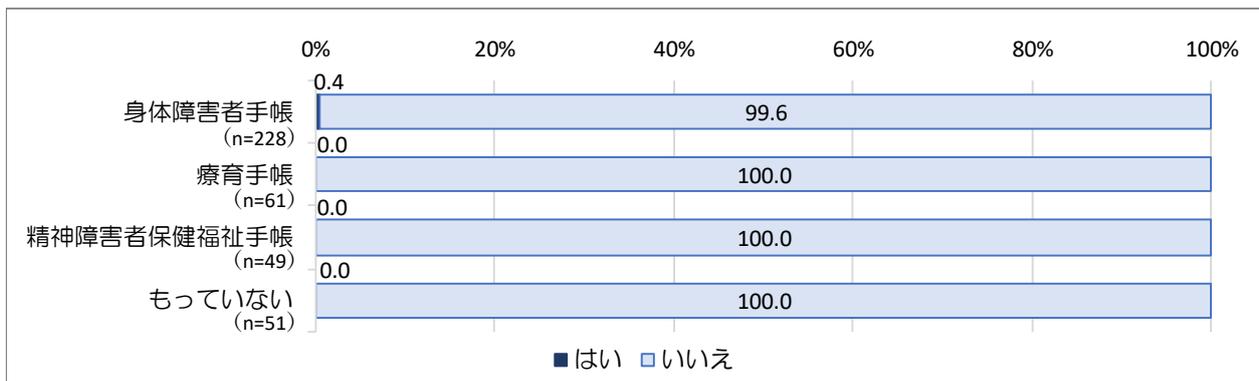
■ 今後利用したいか



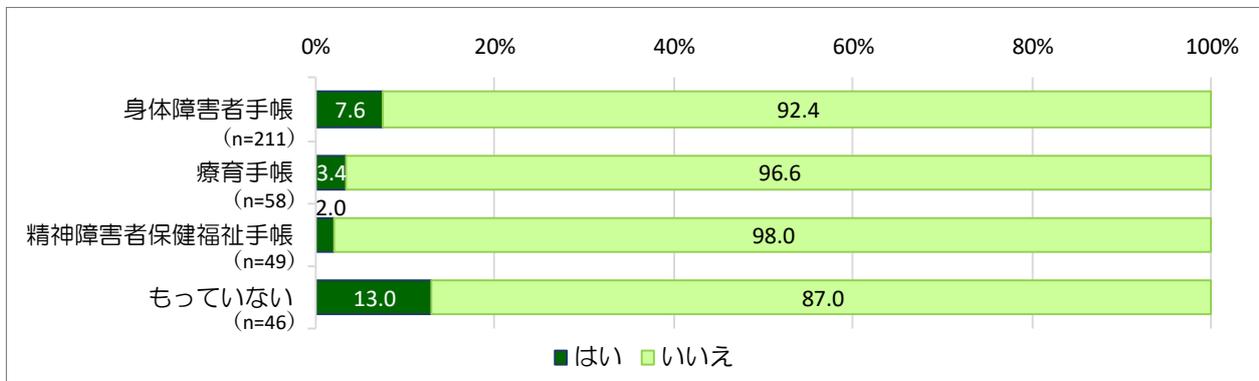
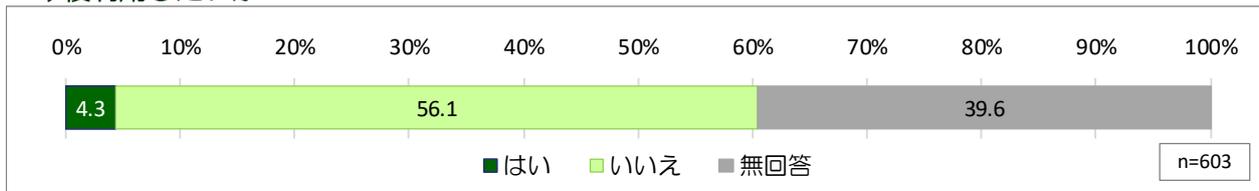
㊦ 点字図書給付

情報入手を容易にするため、視覚障害者に点字図書を給付します。

■ 現在利用しているか



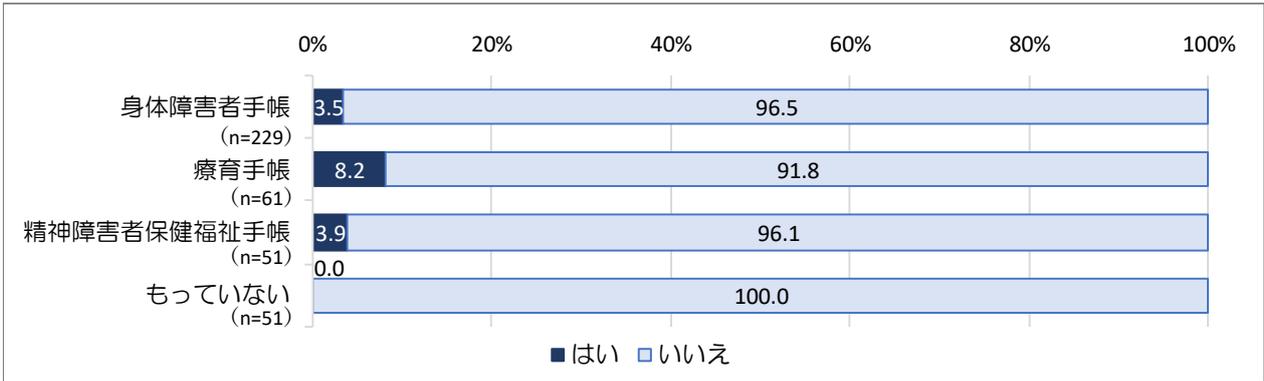
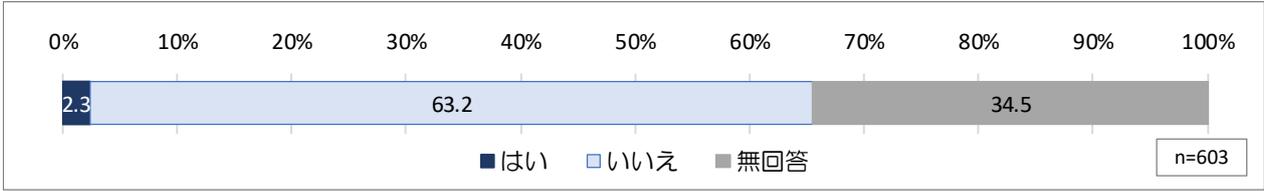
■ 今後利用したいか



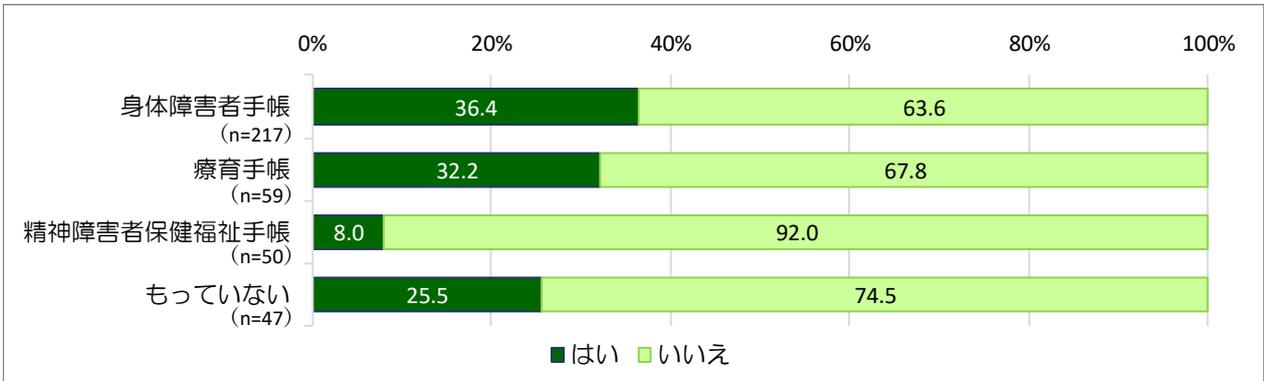
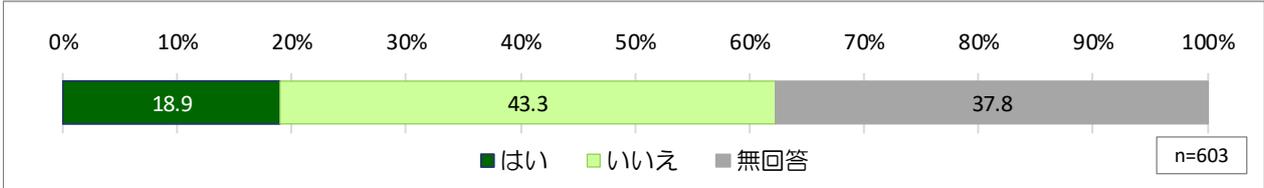
㊦ 移動支援

移動が困難な障害者に対し、ガイドヘルパーが行う外出の支援サービスです。

■ 現在利用しているか



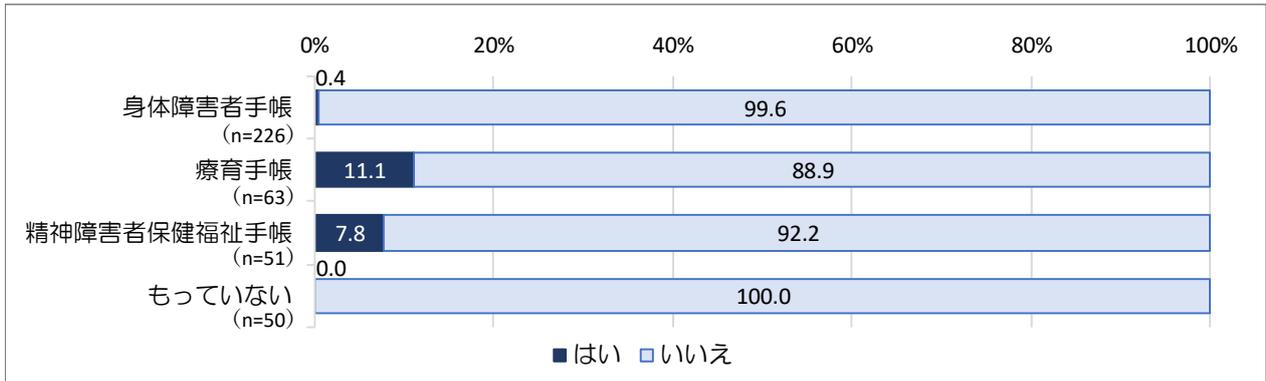
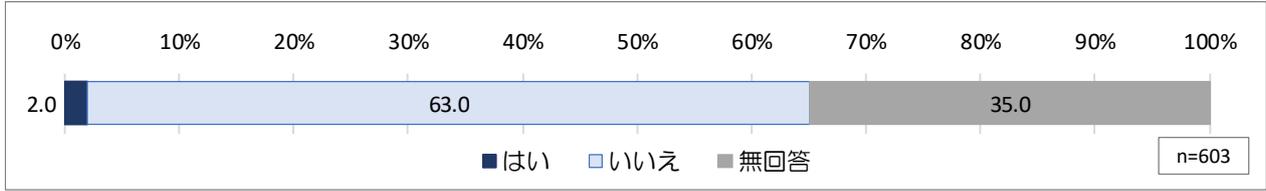
■ 今後利用したいか



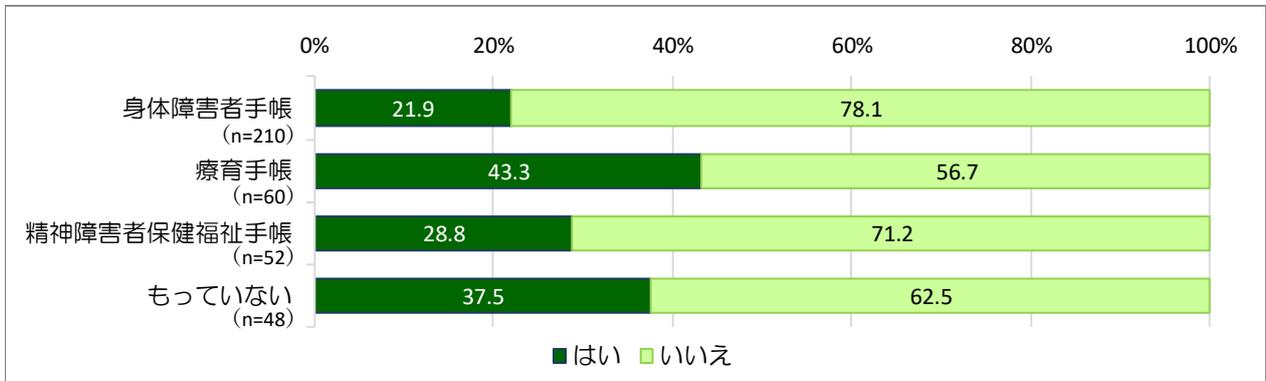
㊸ 地域活動支援センター

障害者に、創作活動や生産活動の機会の提供や、社会との交流を促進します。

■ 現在利用しているか



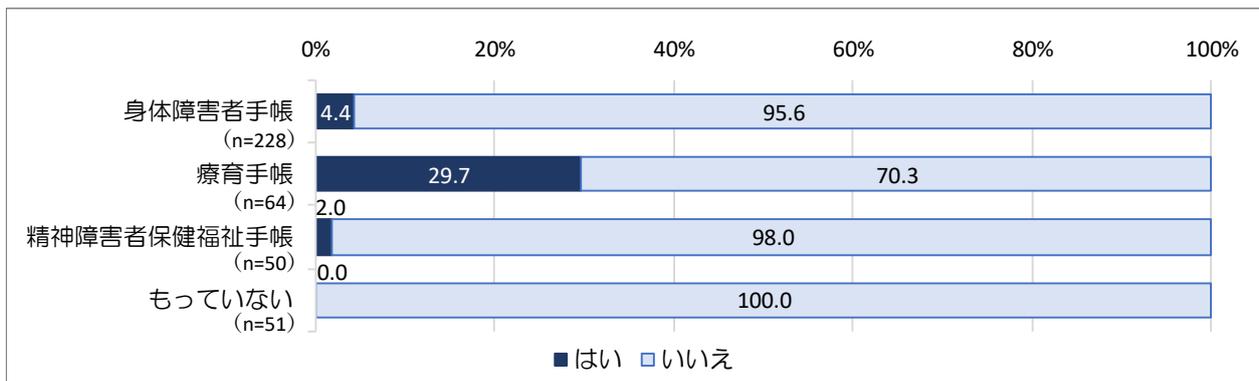
■ 今後利用したいか



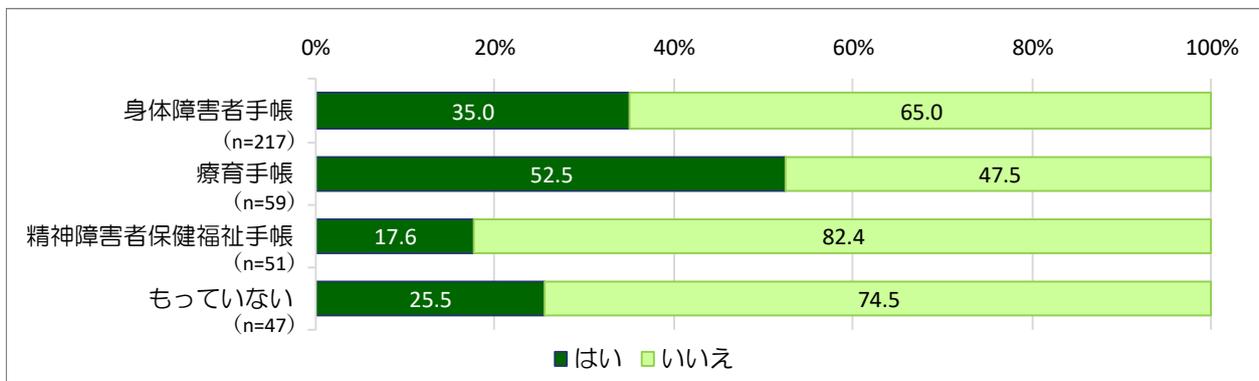
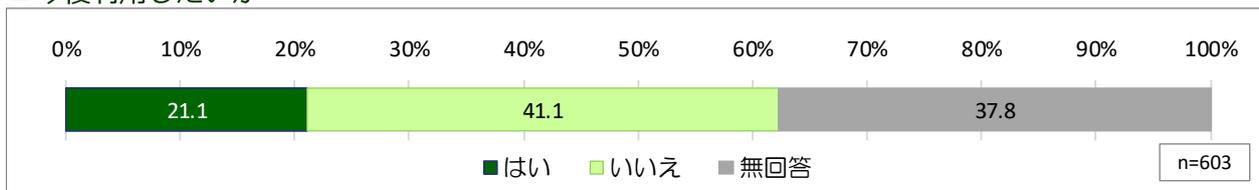
② 日中一時支援

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。

■ 現在利用しているか



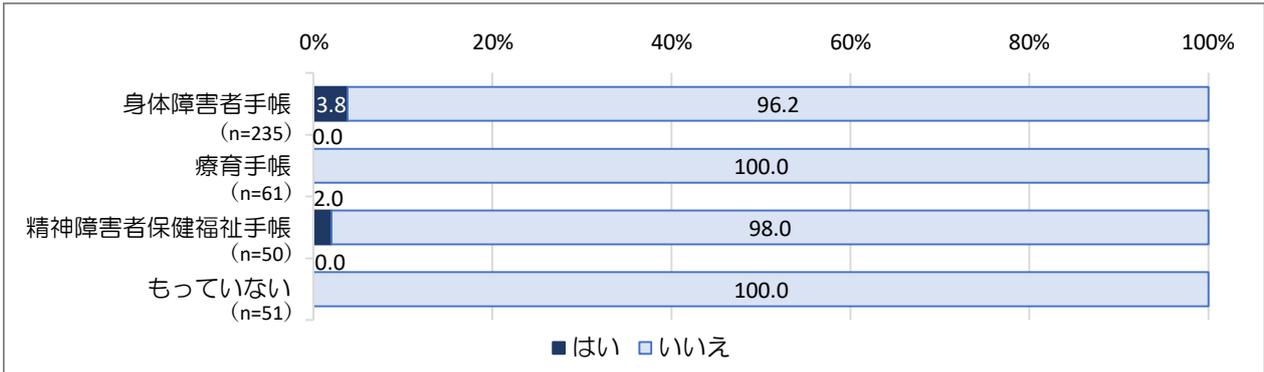
■ 今後利用したいか



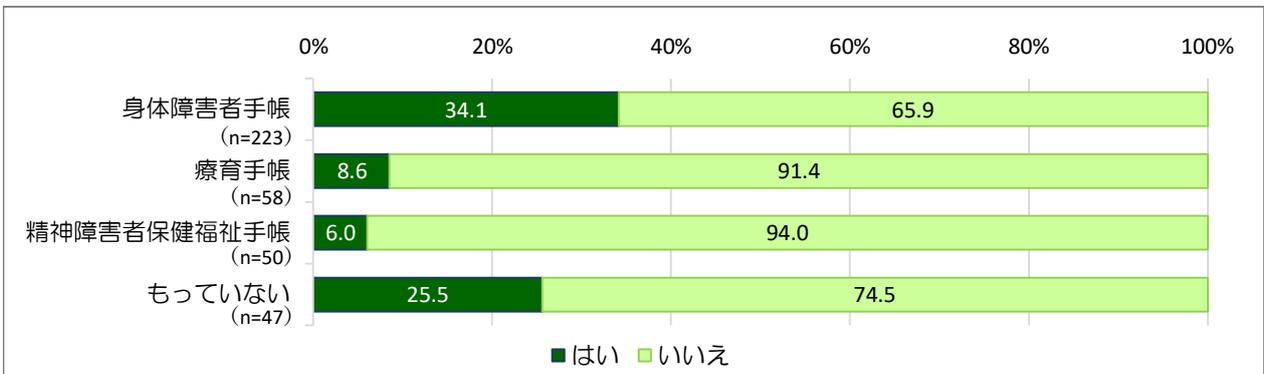
③⑩ 訪問入浴

重度心身障害者へ、訪問による入浴サービスを提供し、身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図るサービスです。

■ 現在利用しているか



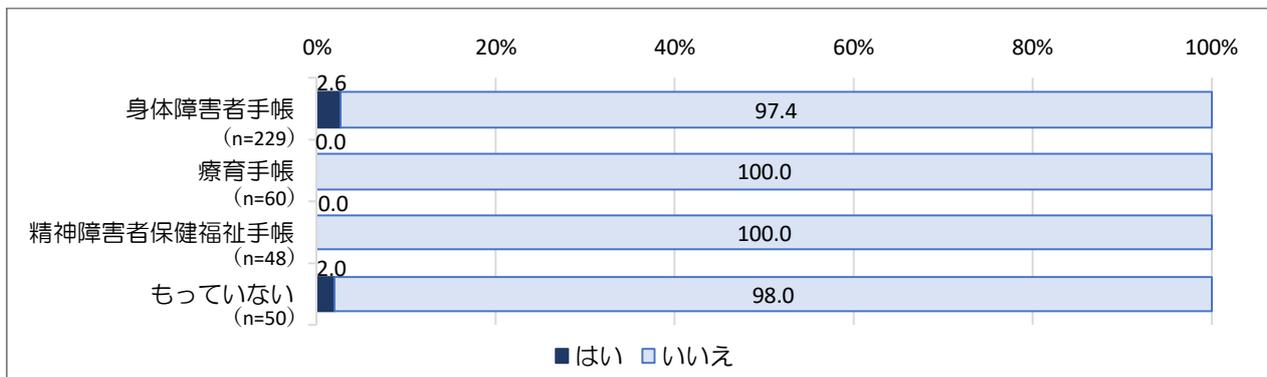
■ 今後利用したいか



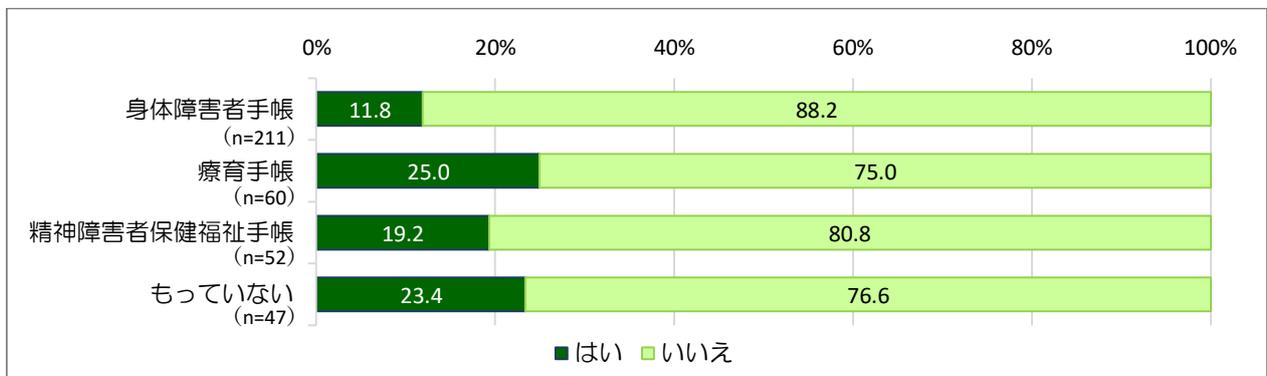
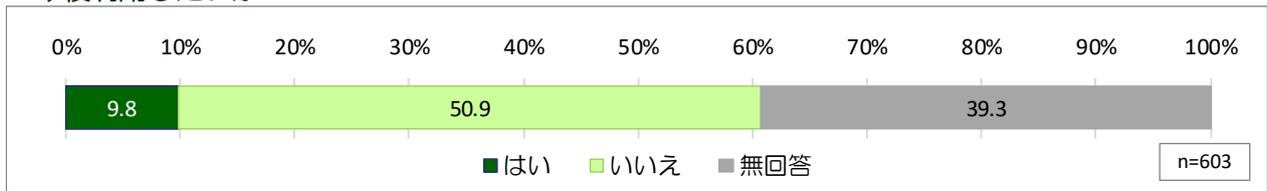
③① 自動車運転免許取得助成

運転免許証の取得に要する費用を助成します。

■ 現在利用しているか



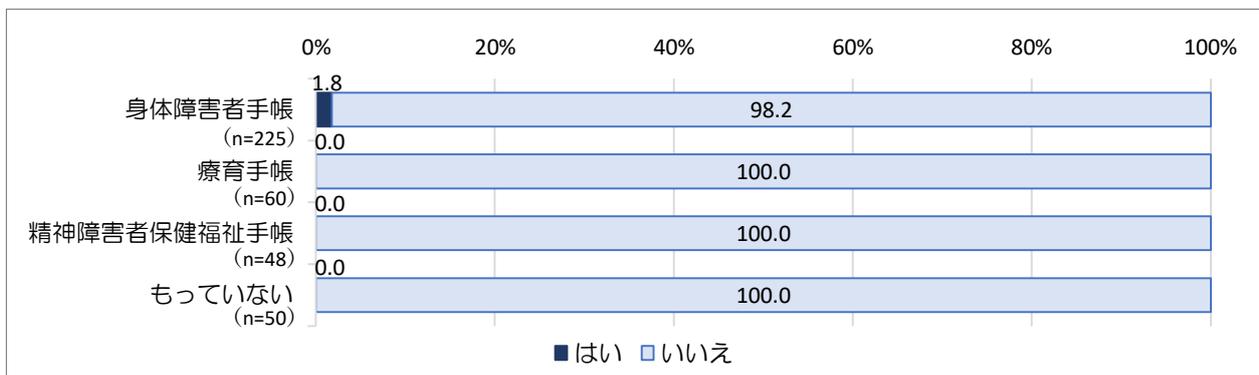
■ 今後利用したいか



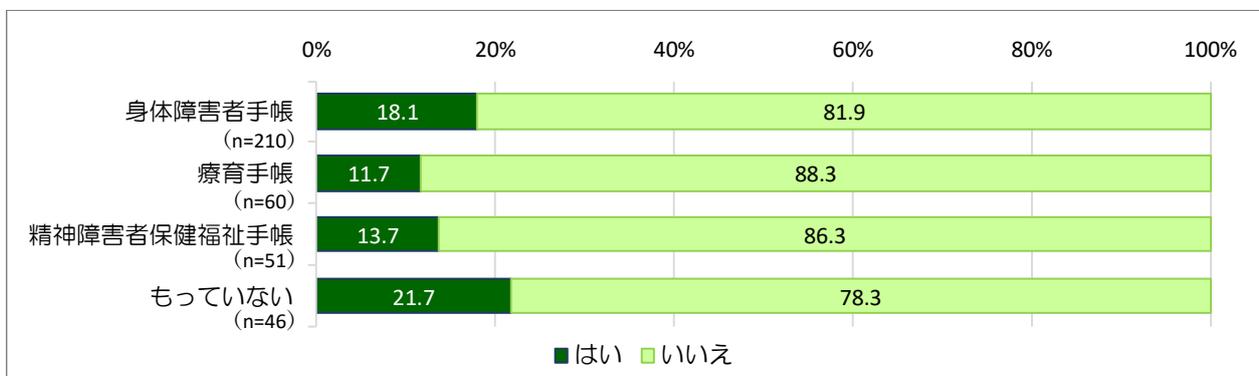
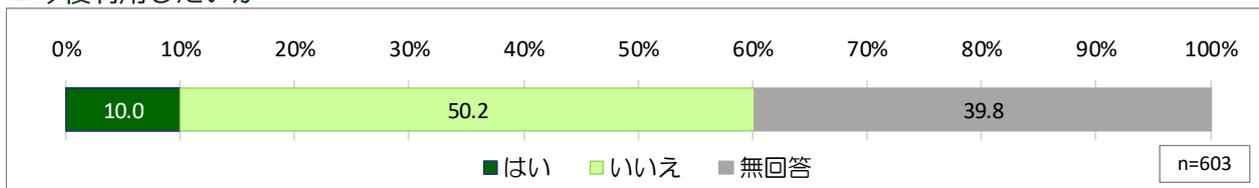
③ 身体障害者用自動車改造費助成

自らが所有し運転する自動車を改造する費用を助成します。

■ 現在利用しているか



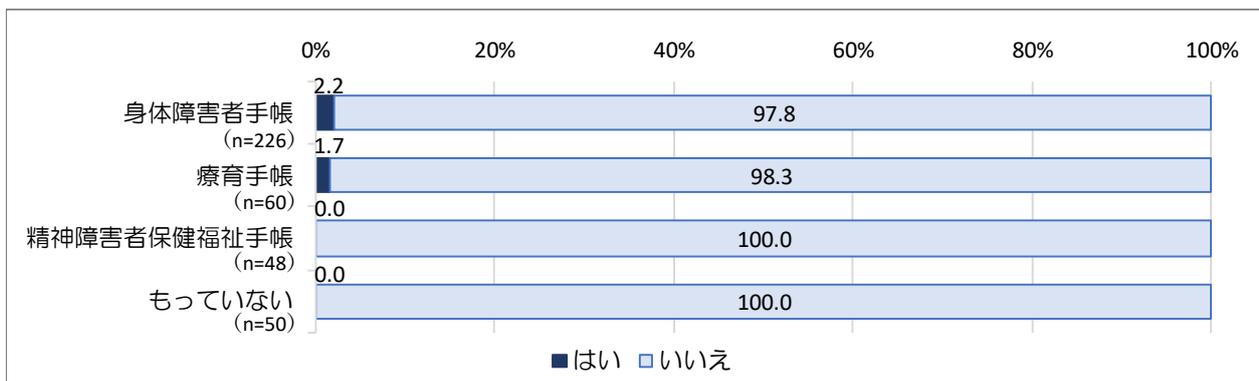
■ 今後利用したいか



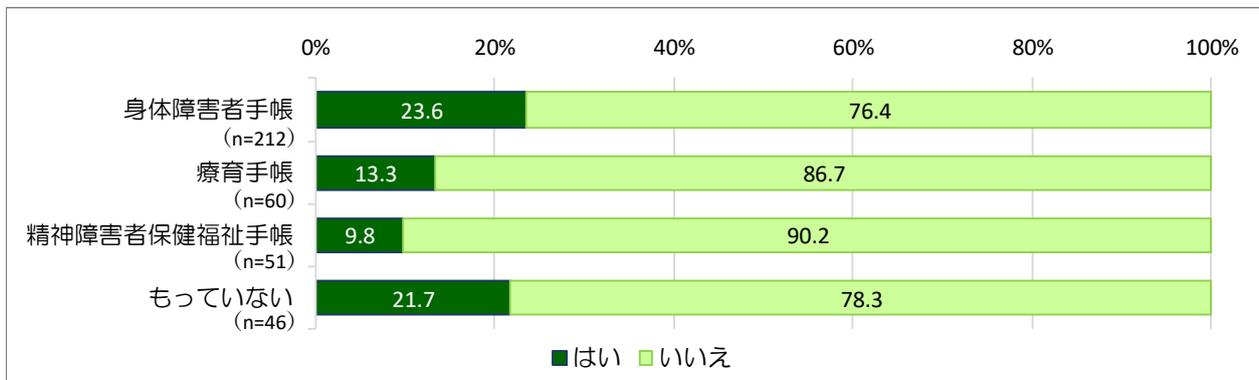
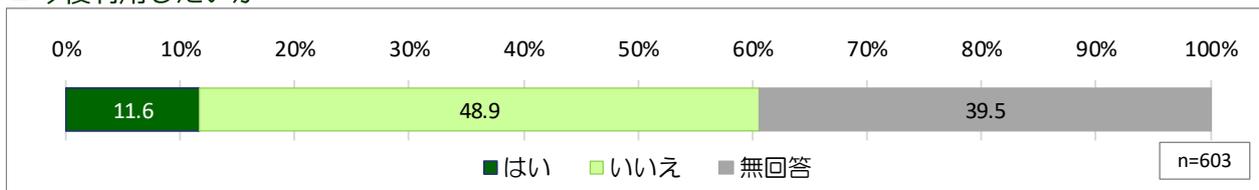
③ 身体障害者介助用自動車改造費助成

障害者の外出を容易にするために、自動車を改造する費用を助成します。

■ 現在利用しているか



■ 今後利用したいか

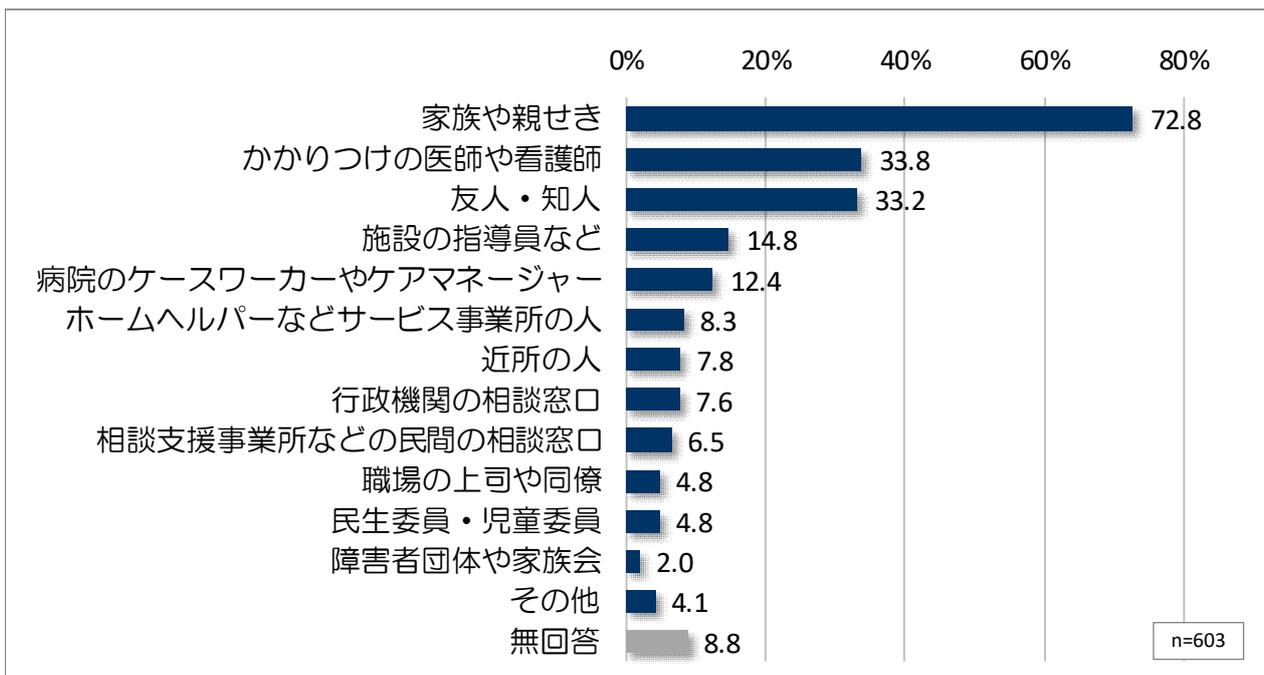


■相談相手について

問 32 相談相手

悩みや困ったことをどなたに相談しますか

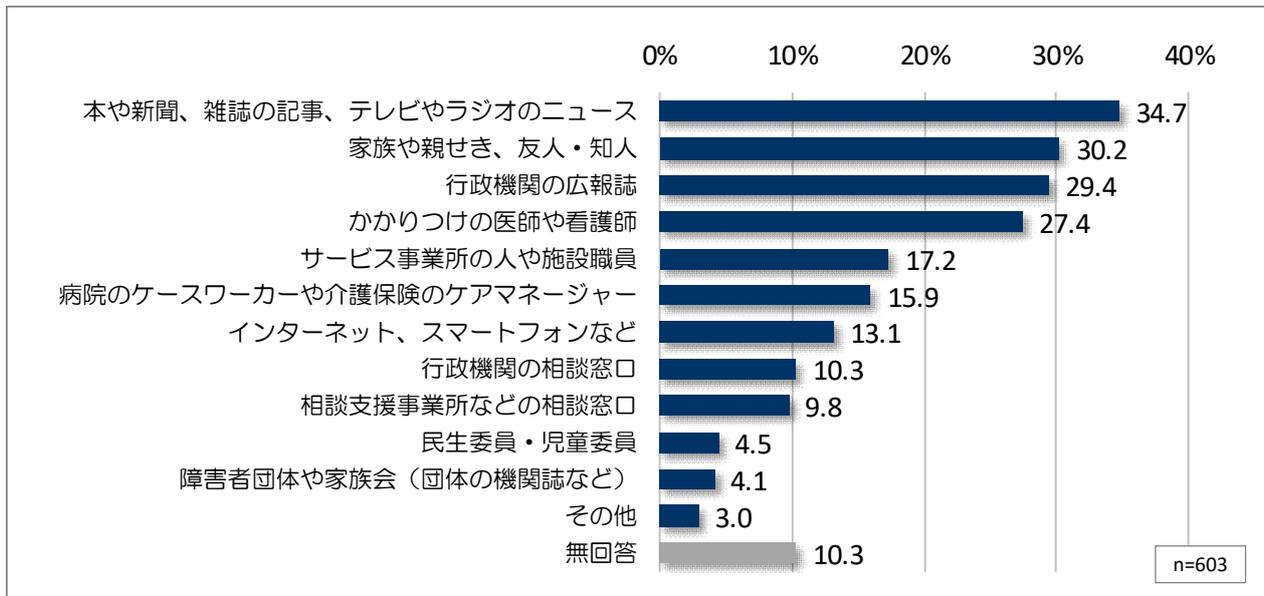
「家族や親せき」が72.8%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が33.8%、「友人・知人が」33.2%などとなっています。



問 33 福祉サービスなどに関する情報

障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知りますか（複数回答）

「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が34.7%と最も高く、次いで「家族や親せき、友人・知人」が30.2%、「行政機関の広報誌」が29.4%、「かかりつけの医師や看護師」が27.4%などとなっています。

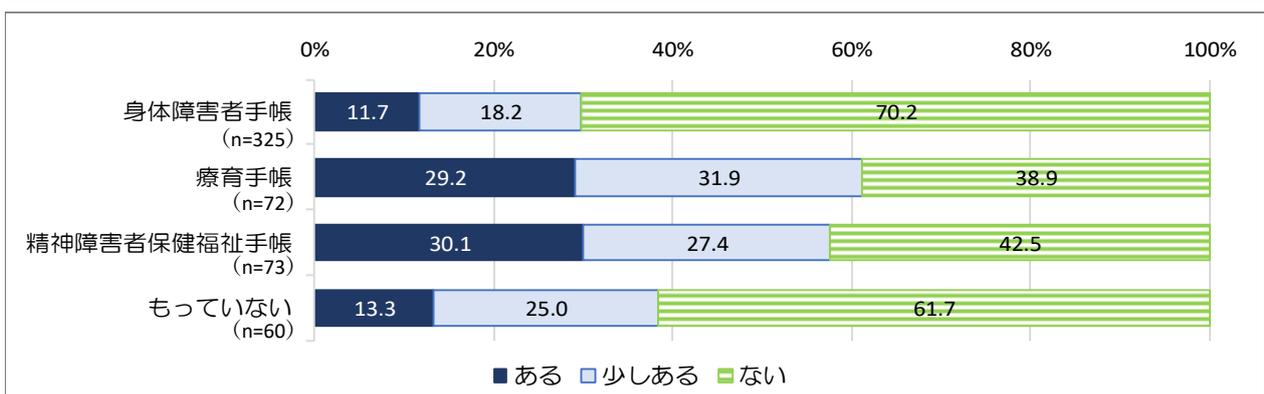
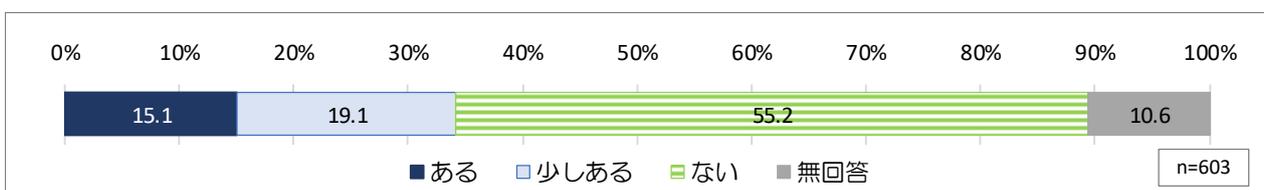


■ 権利擁護について

問 34 障害による差別

障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか

「ある」が15.1%、「少しある」が19.1%で、合わせると34.2%となっています。

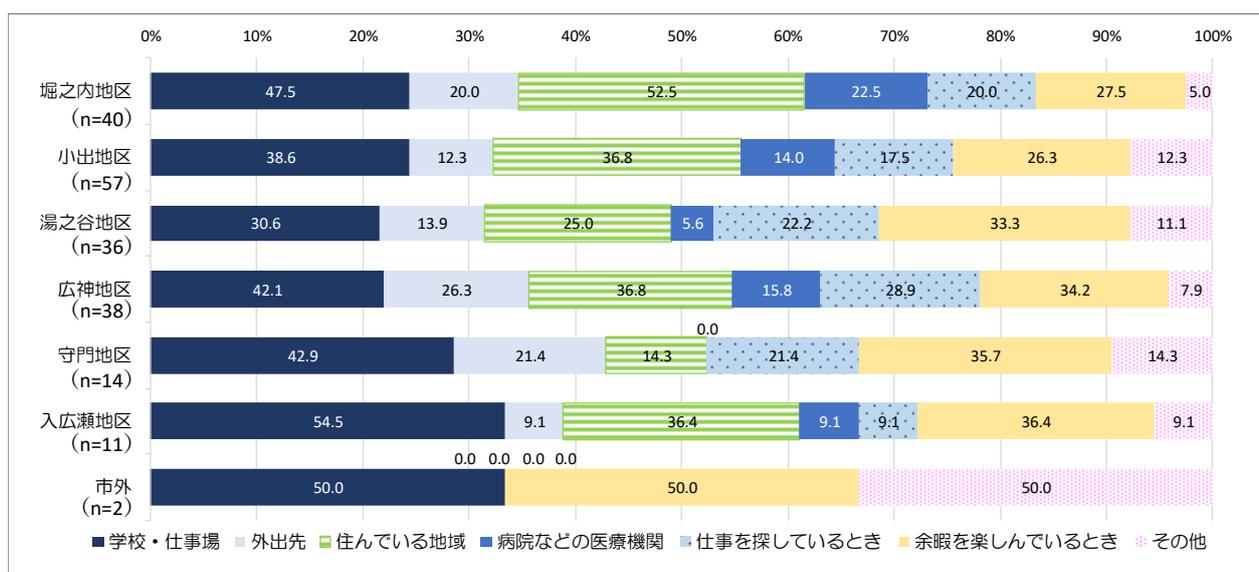
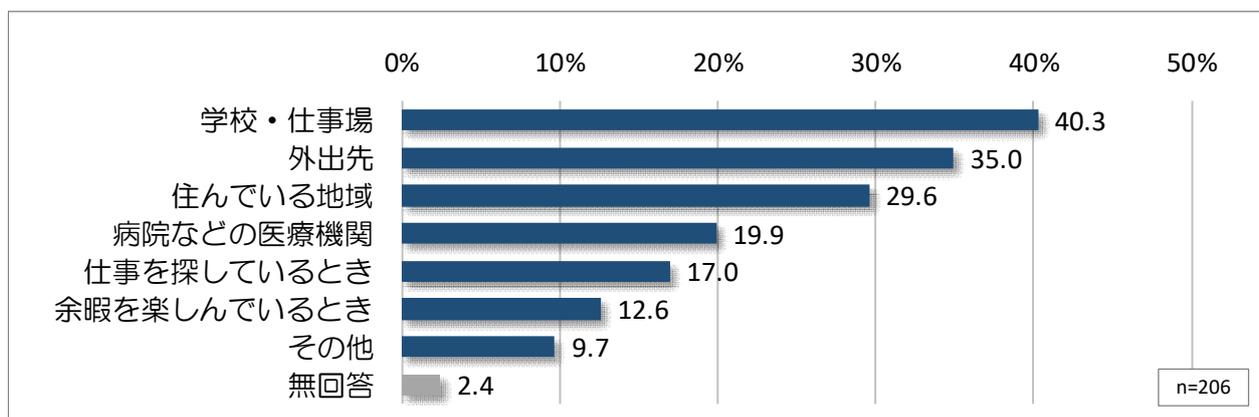


問 34 で「ある」または「少しある」と回答した方にうかがいます

問 35 差別された場

どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか（複数回答）

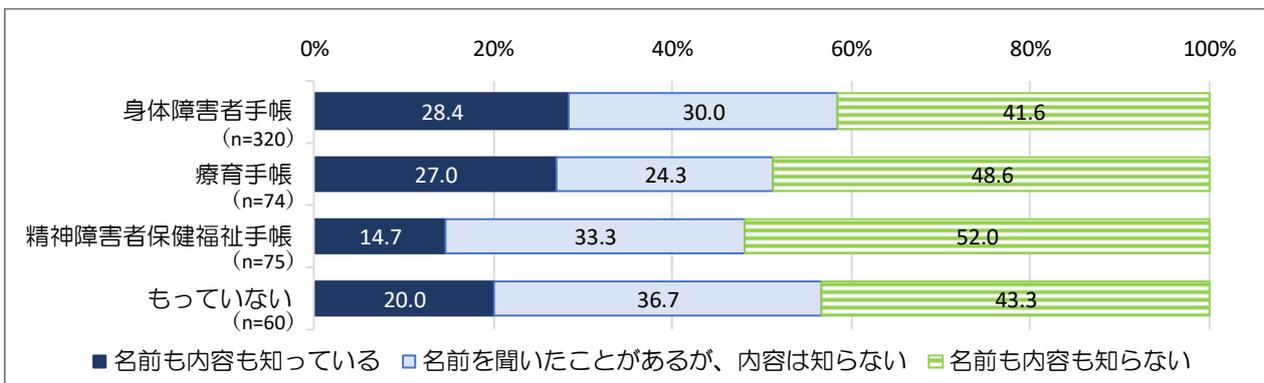
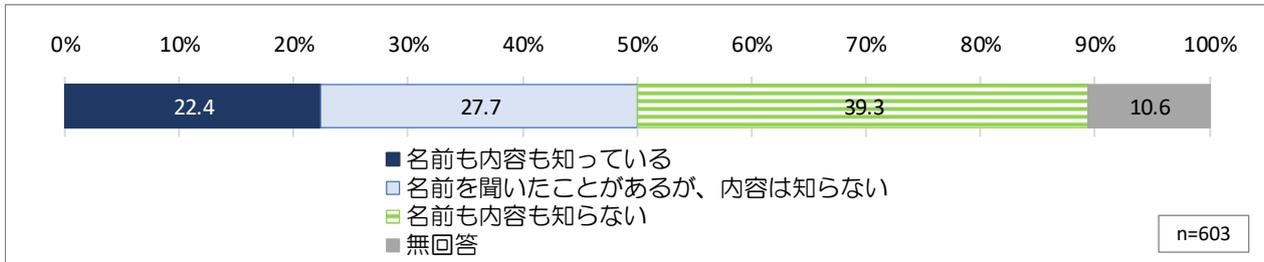
「学校・仕事場」が 40.3%と最も高く、次いで「外出先」が 35.0%、「住んでいる地域」が 29.6%などとなっています。



問 36 成年後見制度の認知度

成年後見制度についてご存じですか

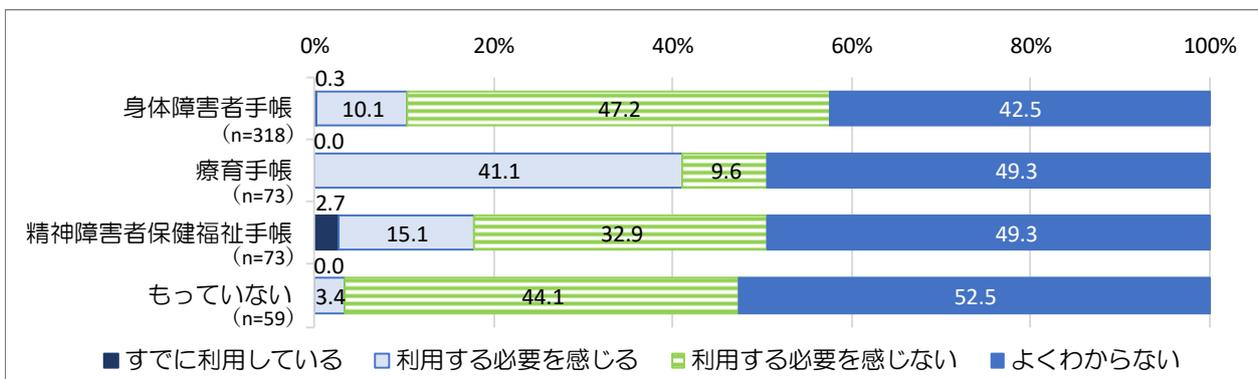
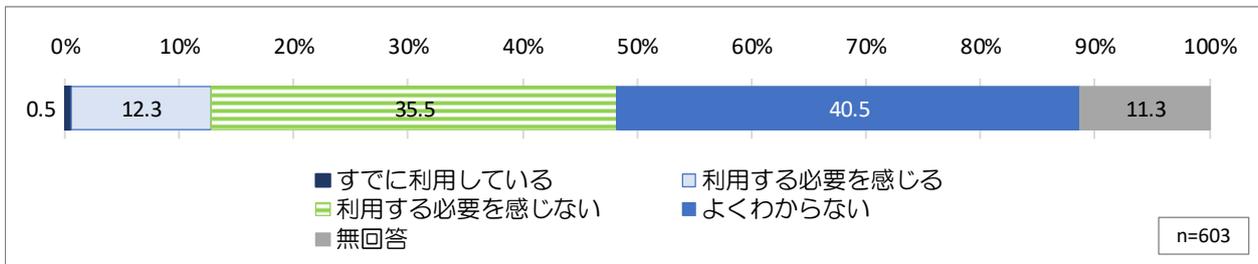
「名前も内容も知っている」は 22.4%で、「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が 27.7%、「名前も内容も知らない」が 39.3%となっています。



問 37 成年後見制度の利用について

あなたやあなたの支援者は成年後見制度を利用する必要を感じますか

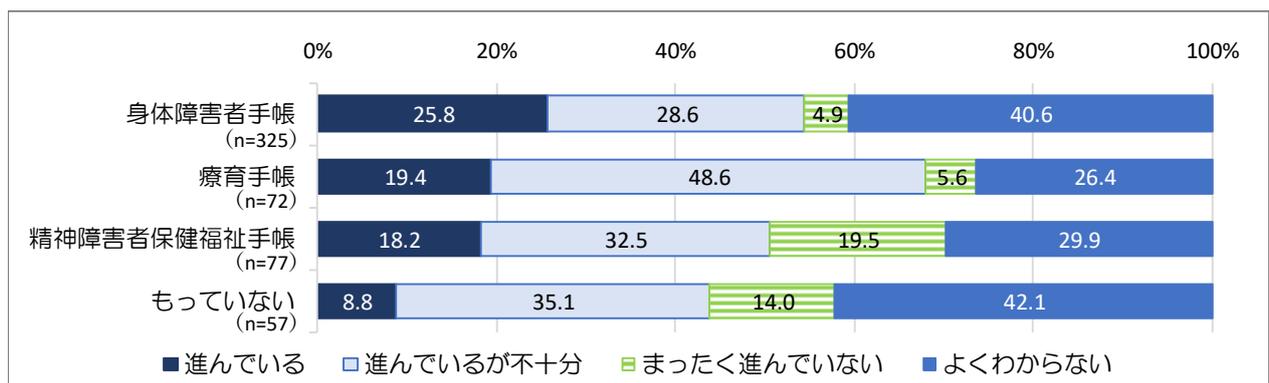
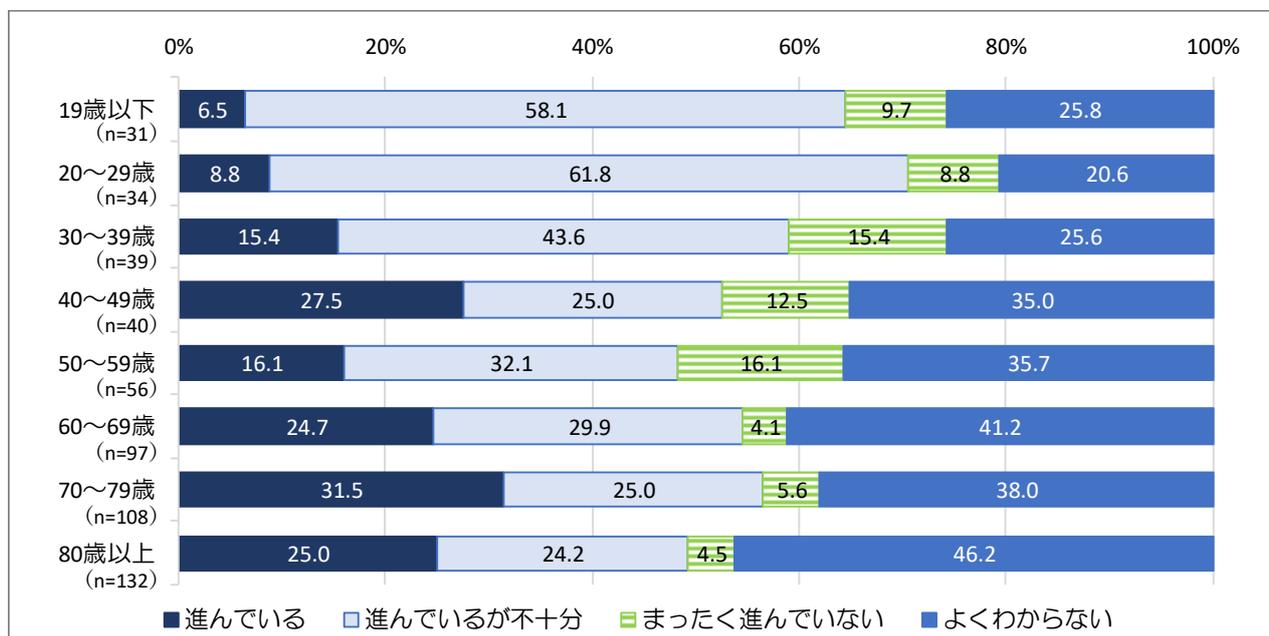
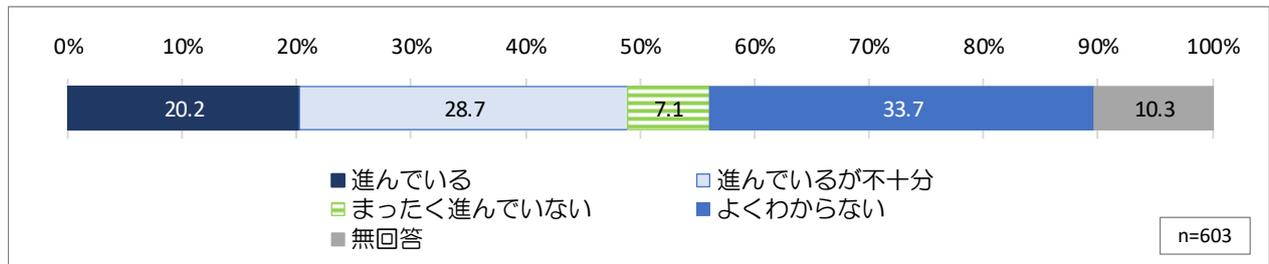
「すでに利用している」は 0.5%となっています。「利用する必要がある」は 12.3%、「利用する必要を感じない」は 35.5%で、「よくわからない」が 40.5%となっています。



問 38 障害に対する周囲の理解

障害に対する周囲の人の理解が進んでいると思いますか

「進んでいる」が20.2%、「進んでいるが不十分」が28.7%、「まったく進んでいない」が7.1%となっています。

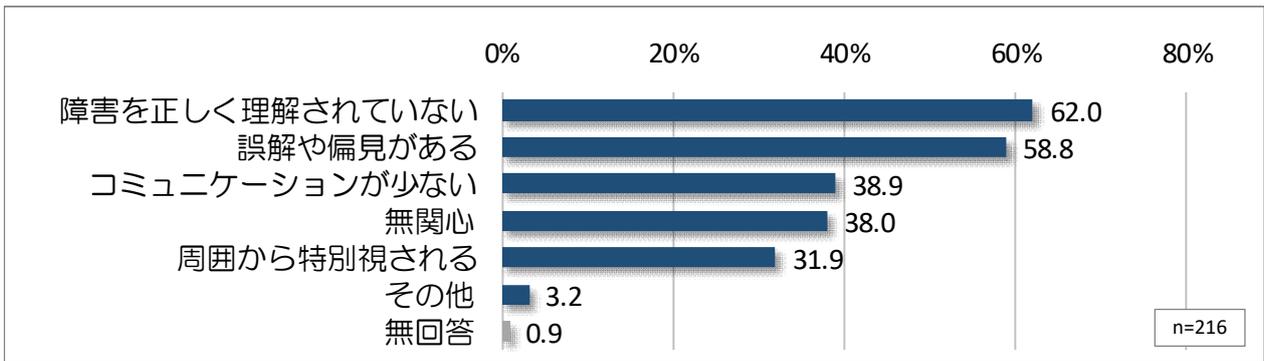


問 38 で「進んでいるが不十分」または「まったく進んでいない」と回答した方にうかがいます

問 39 理解が進んでいないと思う理由

そう思われる理由は何ですか（複数回答）

「障害を正しく理解されていない」が 62.0%、「誤解や偏見がある」が 58.8%などとなっています。

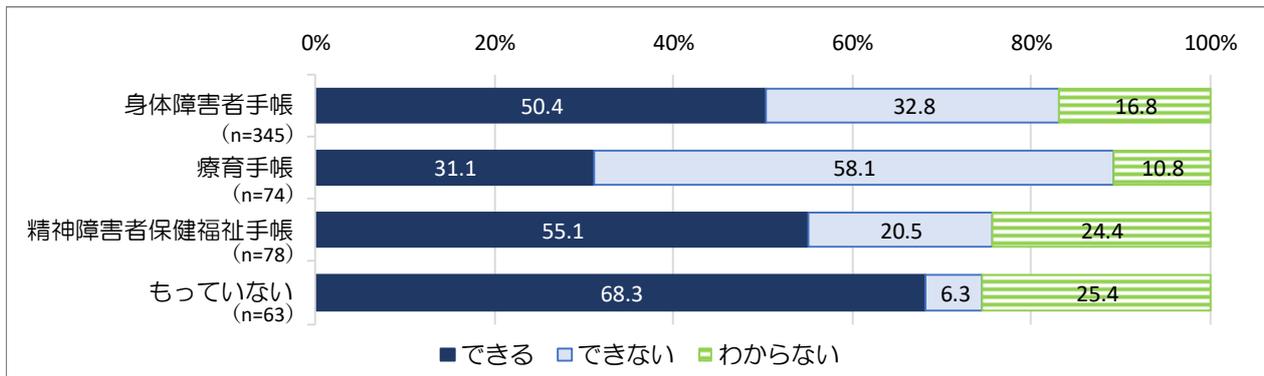


■ 災害時の避難等について

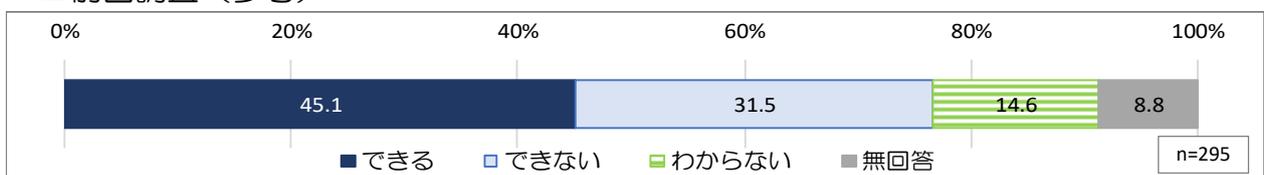
問 40 一人で避難できるか

火事や地震等の災害時に一人で避難できますか

「できる」が 48.6%、「できない」が 29.0%となっています。



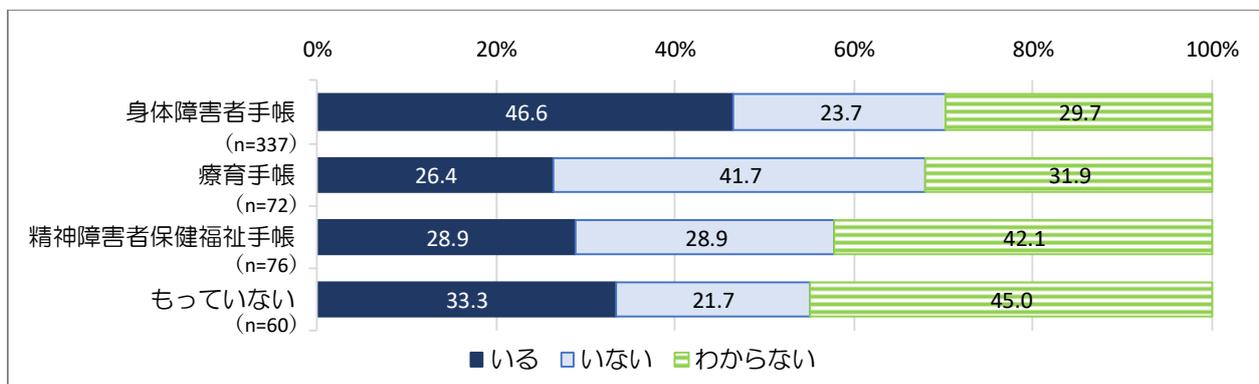
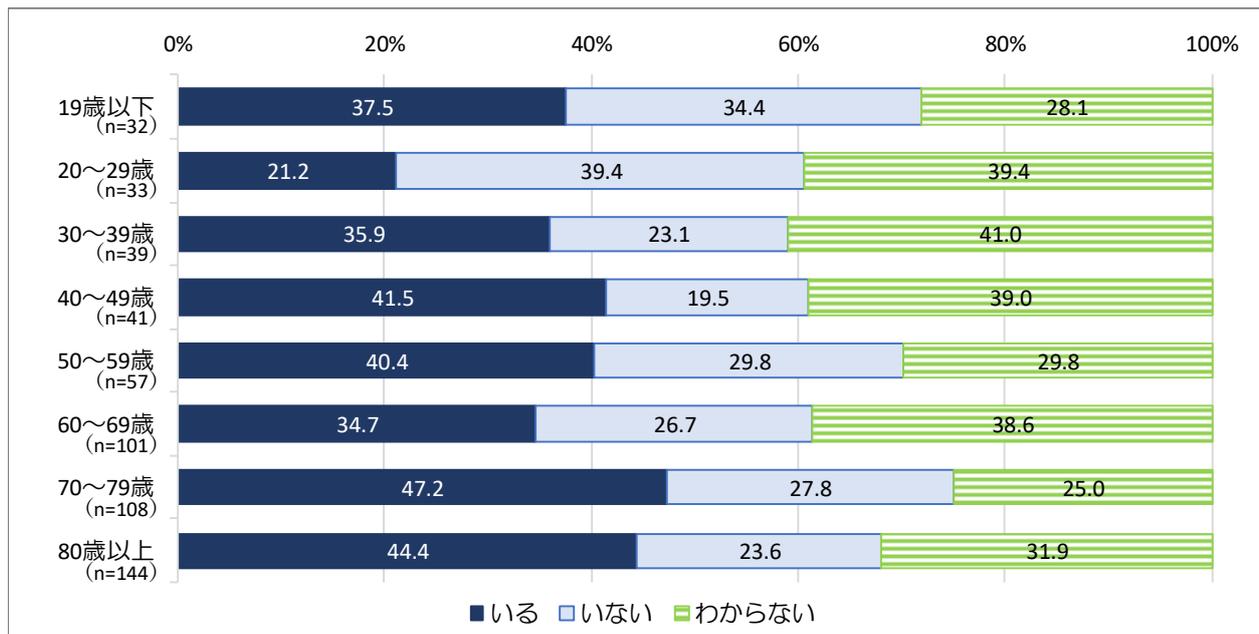
■ 前回調査（参考）



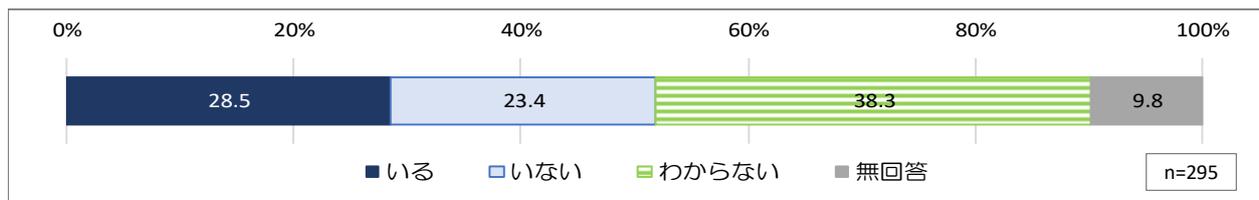
問 41 助けてくれる人の有無

家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか

「いる」が37.0%、「いない」が24.7%となっています。



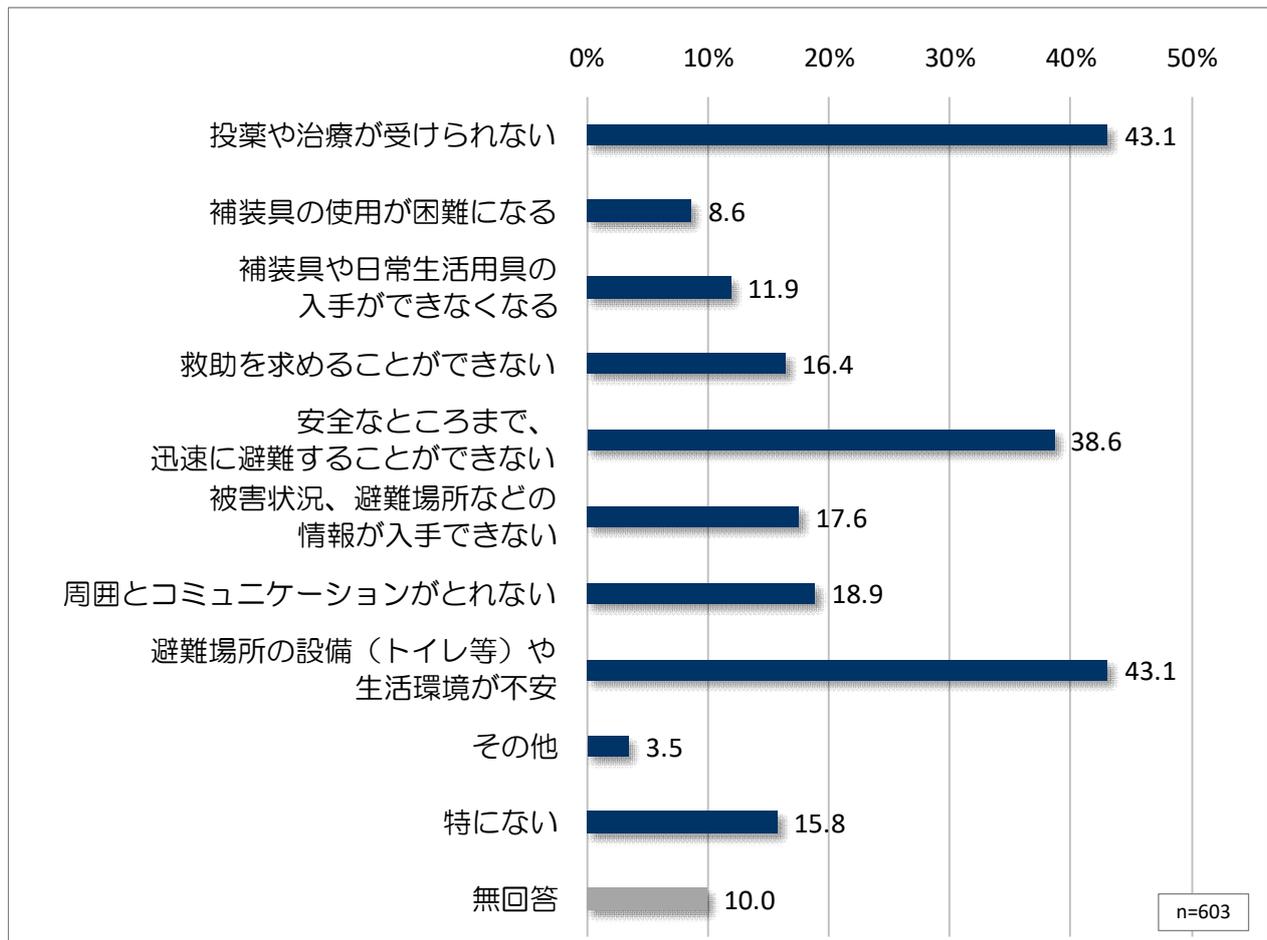
■ 前回調査 (参考)

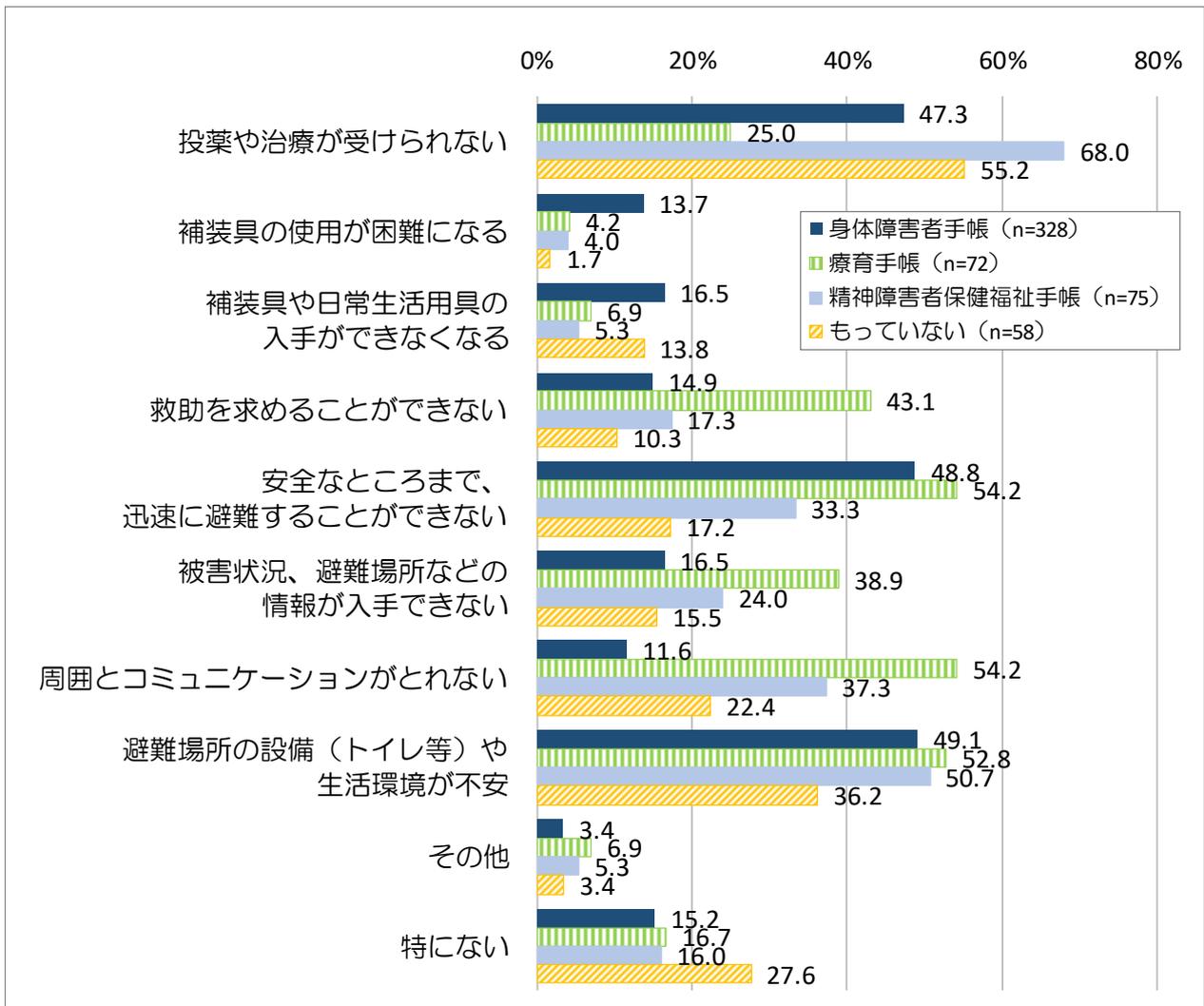


問 42 災害時に困ること

火事や地震等の災害時に困ることは何ですか（複数回答）

「投薬や治療が受けられない」と「避難場所の設備や生活環境が不安」がともに 43.1%と最も高く、次いで「安全なところまで迅速に避難することができない」が 38.6%などとなっています。

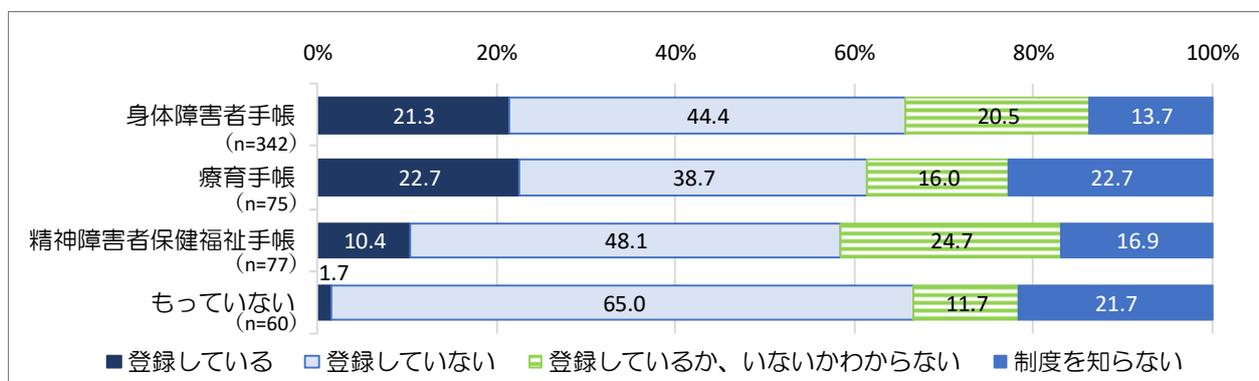
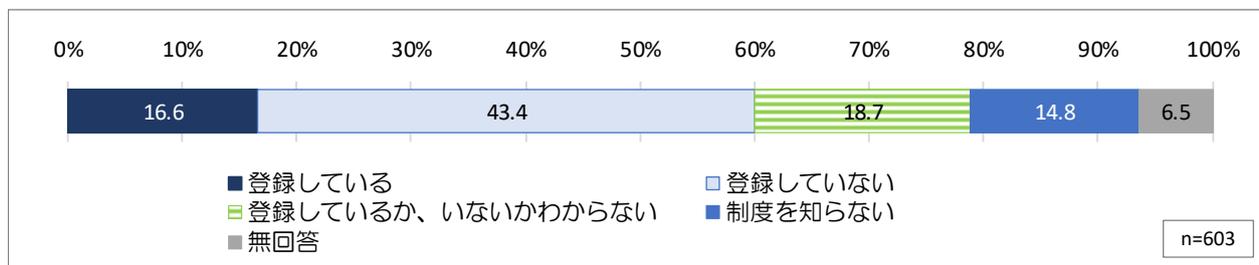




問 43 災害時避難行動要支援者名簿

災害時避難行動要支援者名簿に登録していますか

「登録している」が16.6%、「登録していない」が43.4%となっています。一方で「制度を知らない」が14.8%となっています。



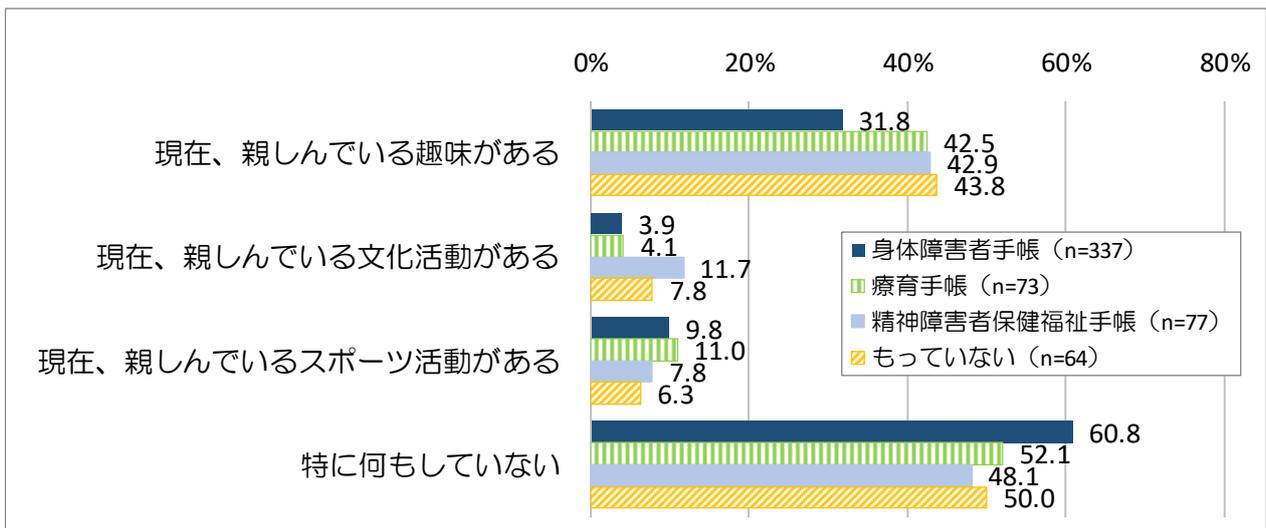
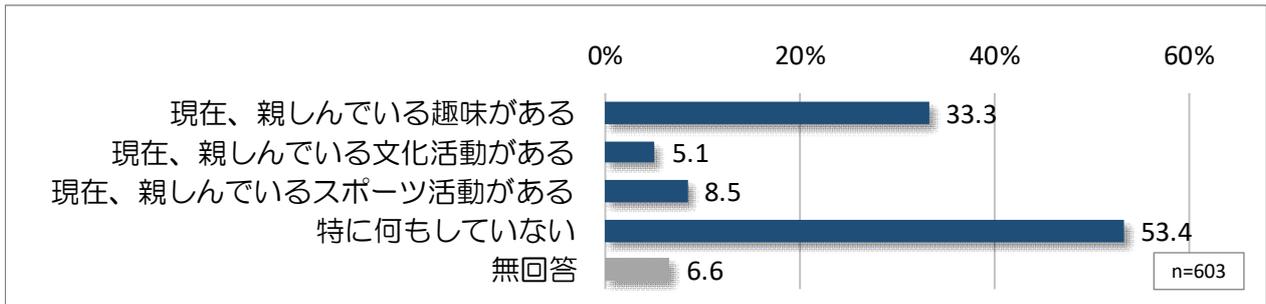
※災害時避難行動要支援者名簿とは、災害時に自力で避難することが困難な方の氏名や住所などを記載した名簿です。市町村が整備し、災害時に民生委員・児童委員、自治会などが避難支援や安否確認を行う際に利用します。

■ 趣味や余暇の過ごし方

問 44 趣味や文化・スポーツ活動

趣味や文化・スポーツに親しんでいますか（複数回答）

「現在、親しんでいる趣味がある」が33.3%、「現在、親しんでいる文化活動がある」が5.1%、「現在、親しんでいるスポーツ活動がある」が8.5%となっていますが、「特に何もしていない」が53.4%と最も高くなっています。

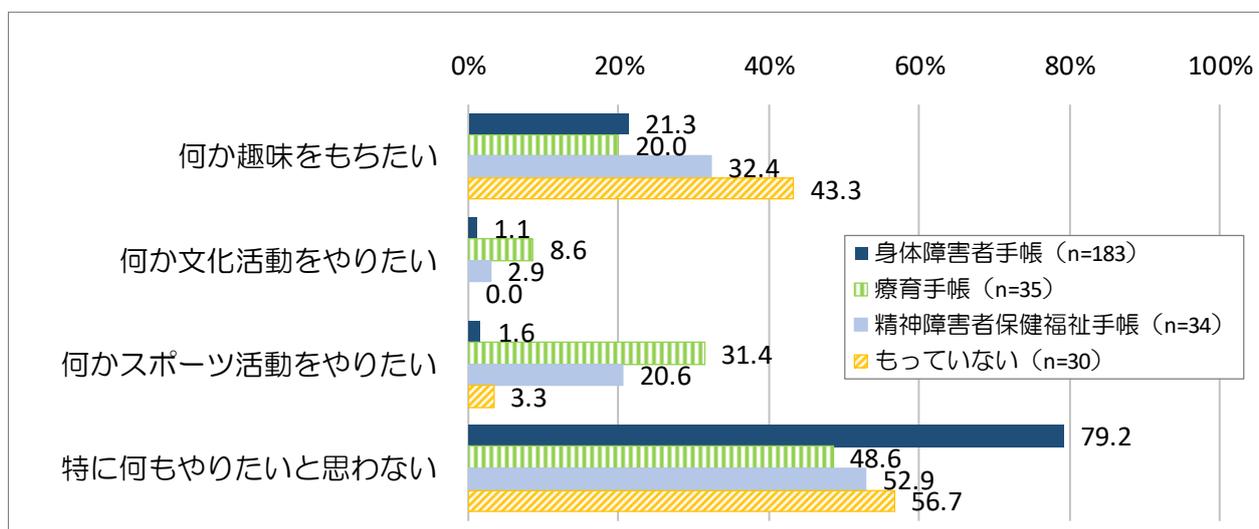
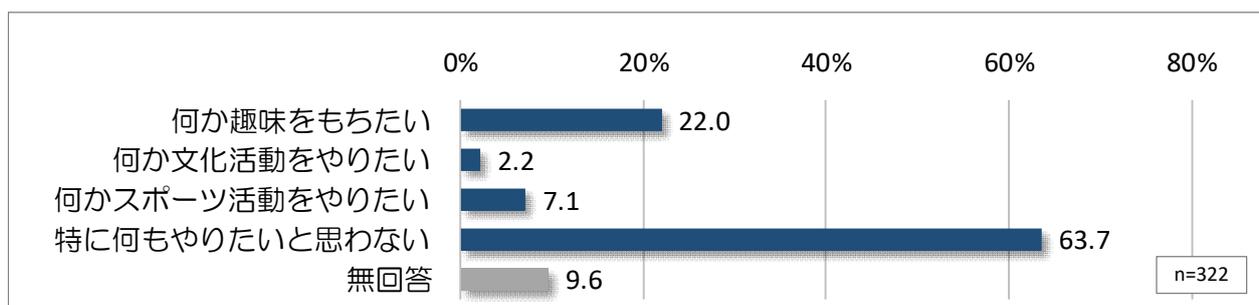


問 44 で「特に何もしていない」と回答した方にうかがいます

問 45 やってみたいと思うこと

何かやってみたいと思うことがありますか（複数回答）

「何か趣味をもちたい」が22.0%、「何かスポーツ活動をやりたい」が7.1%となっていますが、「何か文化活動をやりたい」は2.2%で、「特に何もやりたいと思わない」が63.7%と最も高くなっています。

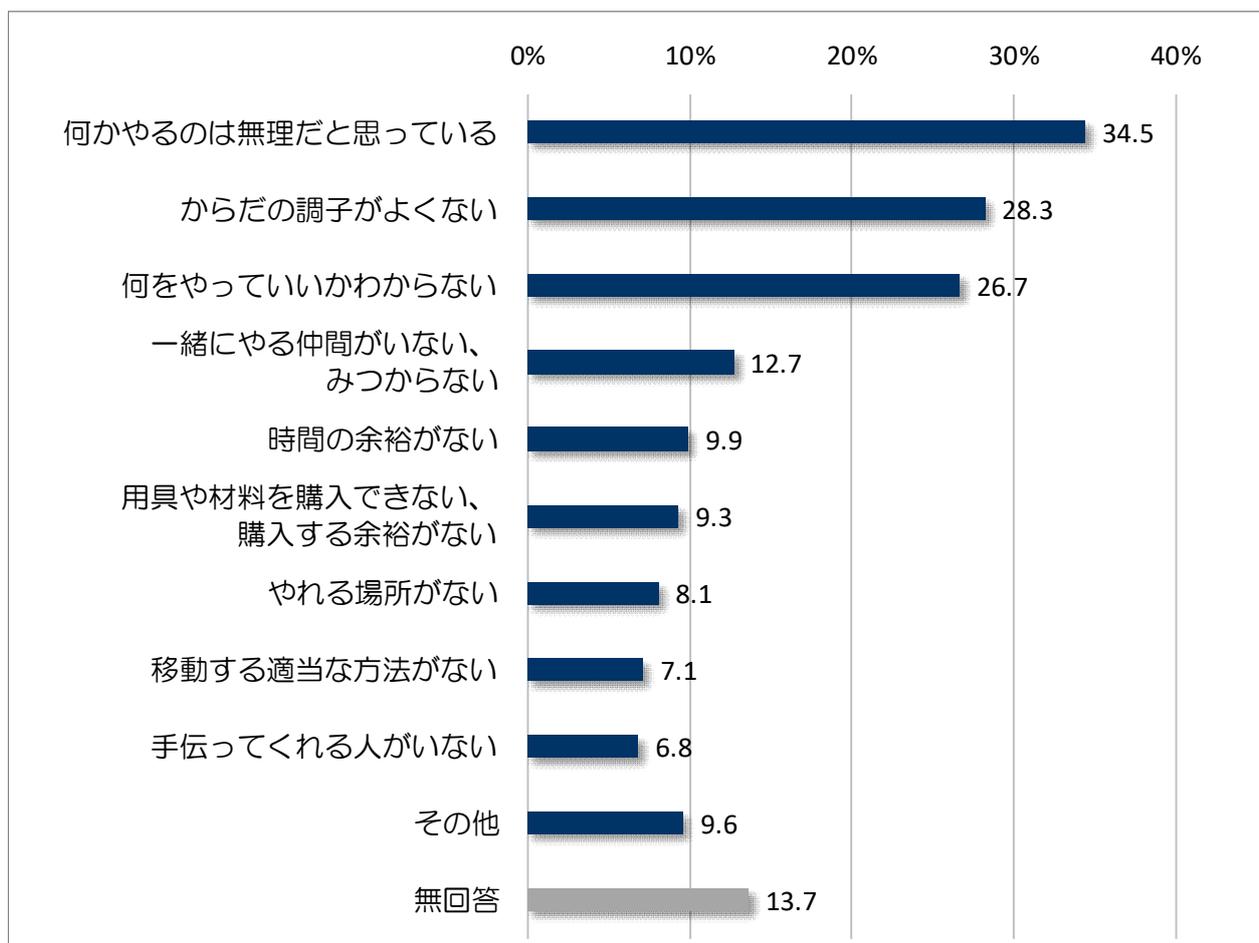


問 44 で「特に何もしていない」と回答した方にうかがいます

問 46 できない理由

今すぐできない理由はありますか（複数回答）

「何かやるのは無理だと思っている」が 34.5%と最も高く、次いで「からだの調子がよくない」が 28.3%、「何をやっていいかわからない」が 26.7%などとなっています。



■自由意見

障害福祉サービスや行政の取り組みについて、
ご意見がありましたら自由にご記入ください

自由意見を主な意見内容として整理しています。

	主な意見内容	概ね件数
1	財政・サービス	27
2	生活・サービス支援	19
3	相談体制の充実	16
4	障害、障害者について	15
5	調査票の内容について	11
6	移動手段	10
7	就労支援等	9
8	将来について	6
9	介助や通院のために仕事を休むこと	3
10	その他	18

【財政・サービス】

- ・障害者手帳の級に関係なく軽度でも手帳のある人の支援はみんな同じ支援が受けられるようにしてほしい。
- ・補聴器具について種類はいろいろあるので自分に合うものを作りたいと思いますが、どうしても市の方で決めたのでなくても助成はできないのでしょうか？全額個人負担だけよりも助成金を利用できるとありがたいと思います。
- ・療育、ろう学校乳幼児教室などに通う場合の交通費補助。他市では社協から出るなど工夫して保護者の負担軽減があります。

【生活・サービス支援】

- ・障害者は家の前の公道の除雪ができないので、行政で何とかしてほしい。
- ・入院やアパートの入居などで、保証人に身寄りがいなくても入院や入居ができるようにしていただきたい。

【相談体制の充実】

- ・福祉サービスがどのようなものがあるか、どこでどのように受けられるかとか、何かわかりやすく表しているものがあるとありがたい。
- ・もう少し市役所の福祉課の場所など（仕切りや声の大きさ）に配慮が欲しいです。

【障害、障害者について】

- ・まずは行政の中から理解を深めていただき、味方であってほしいと思います。
- ・近隣の市は特別支援学校を市が運営していて活発に活動している様子があるが、魚沼市の子は県立に通わなくてはならず、地域や周囲の理解や関心がとても薄い。

【調査票の内容について】

- 高次脳機能障害の自分ではすべてのアンケートを読んで理解するのは大変でした。家族と一緒に記入しました。

【移動手段】

- タクシー券を増やしてください。

【就労支援等】

- 内職や在宅ワークの情報を知りたい。

【将来について】

- 将来介助が困難になった時入所できる施設等が見つけられるか不安です。

【介助や通院のために仕事を休むこと】

- 介護のために有休消化をしまい自分のための有休使用が無くなることも、ストレス解消ができず、と思います。

【その他】

- 災害時に助けにきてもらえないのではないかと不安です。地域に知り合いがいません。
- 行政窓口の職員さんの対応がとても親切丁寧で感謝しております。

■ 調査結果のまとめ

◇ 主な介助者について

主な介助者は、身体障害者手帳の所持者では「配偶者」、療育手帳、精神障害者健康福祉手帳の所持者は「父母・祖父母・兄弟」が最も高くなっています。

◇ 平日の日中の過ごし方について

平日の過ごし方については、「会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が 22.6%となっています。「自宅で過ごしている」は全体で 43.4%と最も高く、手帳別で見ると身体障害者手帳の所持者が最も高く 57.8%で、年齢構成が高いことがうかがえます。

◇ 就労状況について

主な収入を得ている方で「給料・賃金（工賃）」、「自営業の収入・家の手伝い」を合わせ 26.8%、日中の過ごし方で「会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が 22.6%「福祉施設、通所の事業所等に通っている」が 10.3%となっています。今後「会社勤めや、自営業、家業などの収入を得て仕事をしている」以外の方の就労希望は 23.3%と就労意欲がうかがえます。手帳別にみると、特に精神障害者保険福祉手帳の所持者で 59.3%、療育手帳の所持者で 47.4%と高くなっています。

職業訓練などを受けたいことについては、全体で 14.4%となっていますが、年代別では 19 歳以下が 69.0%、30 歳台が 41.2%、40 歳台が 41.7%と高くなっています。

就労支援で必要だと思うことについては、多岐にわたっていますが、障害者理解や障害の理解がそれぞれ 36.2%、34.2%と高く、職場の理解などが働きやすい環境であることがうかがえます。

◇福祉サービスについて

福祉サービスについては、ほぼすべてのサービスについて「現在、利用しているか」より「今後、利用したいか」の方の割合が高く、全体で利用希望が高いサービスは15%以上でみると、「居宅介護（ホームヘルパー）」、「生活介護」、「短期入所（ショートステイ）」、「補装具」、「相談支援」、「日常生活用具給付または貸与」、「住宅改修費給付」「日中一時支援」となっています。

◇相談先について

悩みや困りごとの相談先は、身近な相談相手である「家族や親せき」が最も高くなって、次いで「かかりつけの医師や看護師」、「友人・知人」となっています。

◇災害時の避難について

火事や地震等の災害時に「一人で避難できない」方が29.0%、「わからない」と回答した方が17.4%となっていることから、一人で避難できるかを不安に思っている方が多いと考えられます。